

舉ス

尙第五十一回議會ニ於テ政友本黨ヨリ離脱シテ同交會(二十六名)ヲ組織セル議員中常任委員タル者アリタルモ委員ノ資格ニ異動ナク其ノ後辭任者アリタルトキ其ノ補闕ハ同交會所屬議員ヨリ之ヲ選出セリ(大正十五年一月二十三日)又同議會中同交會所屬議員ハ立憲政友會ニ入黨セルモ常任委員ノ取扱ニ付テハ上記ノ場合ニ同シ

參看 一四〇號、一四三號、一四八號、六七七號

衆第四五條

一三八 常任委員選舉ノ結果ハ當日之ヲ議院ニ報告ス

各部ニ於テ常任委員ノ選舉ヲ終レルトキハ議長ハ當日其ノ結果ヲ議院ニ報告スルヲ例トス但シ第十回議會ニ於テハ當日豫算委員ノミヲ報告シ(速記録三頁)他ノ常任委員ハ散會後ニ選舉ヲ行ヘルヲ以テ次會ニ之ヲ報告セリ

參看 二五九號

衆第五〇條
衆第五一條

一三九 常任委員長及理事互選ノ結果ハ當日衆議院公報ヲ以テ報告ス

常任委員長及理事互選ノ結果ハ議長其ノ報告ヲ受ケタル當日若ハ次ノ會議日ニ於テ之ヲ報告シタリシモ第二十五回議會ヨリ議場報告ヲ省略シ當日衆議院公報ヲ以テ報告スルコトトナレリ
議場報告ヲ省略スル場合ト雖速記録ニハ報告事項中ニ掲載ス

參看 二五九號

衆第二〇條
衆第四四條

一四〇 臨時議會ニ於テ常任委員ノ選舉、常任委員長及理事ノ互選ヲ省略シ前議會通繼續ス

臨時議會ニ於テハ議席及部屬ハ前議會ノ通繼續スヘキモノナルモ常任委員ニ付テハ斯ノ如キ規定ナキヲ以テ臨時議會ト雖之カ選舉ヲ爲スヘキモノトス然レトモ極メテ短期ノ臨時議會タル第三十二回議會ニ於テハ院議ヲ以テ常任委員ノ選舉、常任委員長及理事ノ互選ヲ省略シ前期議會通選舉セラレタルモノト決シ(速記録二頁)又第三十四回議會ニ於テハ常任委員ノ選舉ヲ省略シ(速記録一頁)委員長及理事ノ互選ノミヲ行ヘリ

參看 一三二號

第三節 特別委員ノ選舉

議第二十條
衆第六四條

一四一 特別委員ノ選舉ハ議長ノ指名ニ依ルヲ例トス
其ノ補闕選舉亦同シ

特別委員ノ選舉ハ衆議院規則第六十四條第一項ニ依ルトキハ議場ニ於テ無名連記投票ヲ以テ行フヘキモ(第一回議會ニ三回、第二回議會ニ一回)長時間ヲ要スルヲ以テ第三回(特別)議會以來同條第二項ニ依リ選舉ヲ議長ニ委任スルノ傾向トナリ第二十二回議會以來ハ總テ動議ニ依リ議長ニ於テ指名スルコトナレリ而シテ其ノ補闕選舉ハ議長ニ於テ指名スルヲ例トス

衆第六四條

一四二 特別委員ノ指名ハ委員付託ノ當日議長之ヲ爲ス

特別委員ノ指名ハ其ノ選舉ヲ議長ニ委任セラレタル翌日開議劈頭之ヲ爲シタルコトアルモ第十四回議會ヨリハ委員付託ニ決シタル當日之ヲ爲シ衆議院公報ヲ以テ報告スルヲ例トス但シ急ヲ要スル場合ハ直ニ議場ニ於テ指名ス

一四三 議長ハ各派ヨリ豫メ申出テタル候補者ヲ特別委員ニ指名スルヲ例トス

特別委員ヲ議長ニ於テ指名スル場合ハ第十二回(特別)議會以來其ノ特別委員數ヲ各派所屬議員數ニ應シ按分シテ各派ニ割當テ豫メ其ノ候補者ヲ申出テシメ議長ハ之ニ依リテ指名スルヲ例トス而シテ第三十回議會以後ニ於テハ二十五名未滿ノ團體ニハ特別委員ヲ割當テサルコトト定メ爾來此ノ例ニ依ル但シ第五十八回(特別)議會以來各派ノ協定ニ依リ委員數十八名以上ノ場合ニ限り二十五名未滿ノ團體ニ對シテモ其ノ所屬議員數ニ應シ按分ニ依リ割當ツルコトトナレリ尙儀禮ニ關スル特別委員ハ從前ヨリ二十五名未滿ノ團體中ヨリモ之ヲ指名スルヲ例トス

參看 一三七號、六七七號

衆第六三條

一四四 特別委員ノ員數ノ増加ハ九ノ倍數ニ依ル

特別委員ノ員數ハ衆議院規則ニ依リ九名ヲ以テ原則ト爲スモ院議ニ依リ之ヲ増加スル場合ハ九ノ倍數ニ依ルヲ例トス

參看 三二四號

一四五 特別委員選舉ノ結果ハ當日衆議院公報ヲ以テ報告ス

特別委員選舉ノ結果ハ當日若ハ次ノ會議日ニ於テ議長之ヲ議長ニ報告シタリシモ第二十二回議會以來當日ノ衆議院公報ヲ以テ報告シ議場ニ於ケル報告ハ之ヲ省略スルコトトナレリ但シ速記録ニハ報告事項中ニ掲載ス

参考 一三八號

衆第五〇條
衆第五一條

一四六 特別委員長及理事互選ノ結果ハ當日衆議院公報ヲ以テ報告ス

特別委員長及理事互選ノ結果ハ議長其ノ報告ヲ受ケタル當日若ハ次ノ會議日ニ於テ之ヲ議長ニ報告シタリシモ第二十二回議會以來議場ニ於ケル報告ヲ省略シ當日ノ衆議院公報ヲ以テ報告スルコトトナレリ但シ速記録ニ掲載スルハ前號ノ例ニ同シ

参考 一三九號

第四節 委員ノ辭任及補闕

一四七 全院委員長ノ辭任ハ院議ヲ以テ之ヲ許可ス

全院委員長ヨリ辭任ノ申出アリタルトキハ議長ハ院議ニ諮ヒ其ノ許可ヲ決ス

第五十一回議會 大正十五年三月九日開議劈頭諮問ヲ終リタル際議長(粕谷義三君)ハ全院委員長長多木久米次郎君ヨリ全院委員長辭任ノ申出アリタル旨ヲ告ケ之ヲ許可スルヤ否ヲ院議ニ諮ヒ之ヲ許可スルニ決セリ(速記録六七九頁)

参考 一三五號

衆第四八條
衆第四九條

一四八 常任委員ノ辭任ハ院議ニ諮ヒテ之ヲ決スルモ其ノ暇ナキトキハ議長之ヲ許可ス

常任委員病氣其ノ他ノ事由ニ依リ辭任ヲ申出ツルトキハ院議ニ諮ヒ之ヲ許可スルヲ例トスルモ辭任ノ許可ニ付院議ニ諮フ暇ナキ場合ハ議長ニ於テ之ヲ許可ス

参考 一三七號

一四九 常任委員ノ補闕選舉ハ衆議院公報ニ掲載シタル後之ヲ行フ

常任委員ノ補闕選舉ハ第三十七回議會各派協議會ニ於テ決定セル所ニ依リ衆議院公報ニ補闕選舉ヲ行フ旨ヲ掲載シタル後之ヲ行フ

第三十七回議會 大正四年十二月二十日懲罰委員二名辭任ノ申出アリタルニ恰モ翌二十一日午

前十時ヨリ懲罰委員會開會ノ爲補闕急ヲ要シタルヲ以テ二十日議長(島田三郎君)ハ其ノ辭任

ヲ許可シ同日其ノ補闕選舉ヲ行フ旨ヲ衆議院公報ニ掲載シ翌二十一日之カ選舉ヲ行ヘリ(速記

錄一六九頁)

參看 一三七號

一五〇 特別委員ノ辭任ハ議長ニ於テ之ヲ許可スルヲ例トス

特別委員ヨリ病氣其ノ他ノ事由ニ依リ辭任ヲ申出ツルトキハ從來院議ニ諮ヒ之ヲ許可シ院議ニ諮フ暇ナキ場合ハ議長之ヲ許可シタル後議院ノ承認ヲ經ルヲ例トシタリシカ第二十七回議會(明治四十四年二月四日)ニ於テ議長(長谷場純孝君)ハ自今本會議散會後又ハ休會中ニ於テ特別委員辭任ノ申出アリタルトキハ議長ニ於テ其ノ理由相當ト認メタルモノハ直ニ之ヲ許可シテ其ノ補

闕ヲ指名シ衆議院公報ヲ以テ報告スルコトト爲スニ異議ナキヤヲ諮ヒ院議異議ナカリシヲ以テ(速記錄九〇頁)爾來此ノ例ニ依リ尙第三十回議會以來ハ特別委員辭任ノ申出ニシテ本會議散會後タルト休會中タルト又本會議中タルトヲ問ハス總テ院議ニ諮フコトナク議長ニ於テ之ヲ許可シ補闕ノ指名ト共ニ其ノ旨衆議院公報ニ掲載スルコトトナレリ

參看 一四一號

第五節 委員會

第一款 全院委員會

一五一 全院委員會ハ議場ニ於テ之ヲ開キ其ノ會議ヲ公開ス

第一回議會ニ於テ明治二十四年一月八日末松謙澄君提出豫算會議ニ關スル順序ノ件(緊急動議)ノ會議中本件ニ付全院委員會ヲ開クヘシトノ動議成立シ之ヲ採決シタル結果直ニ豫算會議ニ關スル順序ノ件ニ付全院委員會ヲ開クニ決シタル際議長(中島信行君)及書記官長ハ退席シ全院委員長

(島田三郎君)其ノ席(書記官長席)ニ著キ議場公開ノ儘本件ヲ討議ニ付セリ(速記録二八〇頁)
全院委員會ヲ開キタル場合左ノ如シ

第一回議會 明治二十四年一月八日末松謙澄君提出豫算會議ニ關スル順序ノ件、一月九日、十

日、十四日乃至十七日、十九日、二十九日、三十一日、二月二日、三日明治二十四年度本豫算案

第三回(特別)議會 明治二十五年六月九日明治二十五年年度歳入歳出總豫算追加案(貴族院回付)

第四回議會 明治二十五年十二月十九日明治二十六年年度本豫算案

第十三回(特別)議會 明治三十一年十二月二十三日明治三十二年年度本豫算案

第十四回議會以後ハ全院委員會ヲ開クヘシトノ動議出テタルコトアルモ議院ニ於テ否決セラル

參看 五八五號

議第三三條
議第三七條
議第三九條

一五二 院議ヲ以テ全院委員會ヲ秘密會ト爲ス

全院委員會ハ常任委員會及特別委員會ノ如ク傍聽ヲ禁スルノ規定ナキヲ以テ公開ヲ原則ト爲スモ
動議ニ依リ之ヲ秘密會ト爲シタルコトアリ

第十三回(特別)議會 明治三十一年十二月二十三日明治三十二年年度本豫算案外二件ノ委員長報

告ヲ終リタル際星亨君ハ同豫算案ニ關スル質疑ノ爲全院委員會ヲ開キ且秘密會ト爲スヘシト
ノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シ直ニ全院委員會ヲ開キ之ヲ秘密會ト爲セリ次テ全院委員會ヲ
終リタルトキ委員長(長谷場純孝君)ハ全院委員會ニ於ケル秘密會議ノ結果ヲ報告セリ(速記録
一三八頁)

參看 五三五號、五三九號

衆第四〇條

一五三 議長ハ全院委員會ノ開會期日ヲ指定ス

第一回議會 明治二十四年一月九日明治二十四年度豫算案ニ關スル質疑ノ爲全院委員會ヲ開キ
當日議事終了セサリシニ依リ全院委員長(島田三郎君)ハ議長ノ復席ヲ求メ議事ノ經過ヲ報告
シタルニ議長(中島信行君)ハ衆議院規則ニ依リ次會ノ開會期日ヲ翌十日ト指定シ爾後連日之
ヲ指定セリ(速記録三一〇頁)

一五四 院議ヲ以テ全院委員會ノ討議時間ヲ定ム

第三回(特別)議會 明治二十五年六月九日明治二十五年年度歳入歳出總豫算追加案(貴族院回付)
ニ關スル全院委員會ヲ開クニ當リ議長(星亨君)ハ全院委員會ノ開會ハ是ヨリ三時間即チ午後
四時迄ト爲スニ異議ナキヤヲ諮ヒタルニ院議異議ナカリキ(速記録五三一頁)
第四回議會 明治二十五年十二月十九日明治二十六年年度本豫算案ノ會議中議長(星亨君)ハ本案
ニ付全院委員會ヲ開會シ且其ノ時間ハ午後四時迄ト爲スニ異議ナキヤヲ諮ヒ院議之ヲ可決セ
リ(速記録三五二頁)

一五五 全院委員會ハ付託外ノ事件ヲ議決スルヲ得ス

第一回議會 明治二十四年一月三十一日明治二十四年度本豫算案ニ關スル全院委員會ニ於テ大
津淳一郎君ハ「政府委員石田農商務次官ハ産業保護ニ關シ農商務大臣ノ執レル方針ニ付テノ
質疑ニ對シ答辯ヲ爲サルニ因リ政府ニ請求シ満足ナル説明ヲ與フル政府委員ノ出席セムコ
トヲ希望ス」トノ要求ヲ爲シタルニ全院委員長(島田三郎君)ハ大津君要求ノ件ハ本委員會ニ
於テ議決スルコトヲ得サルニ依リ議長ノ復席ヲ求ムルノ外ナキ旨ヲ發議シ委員會ハ島田委員

長ノ發議ヲ可決セルニ依リ議長ノ復席ヲ求メタル後島田君ハ全院委員會ハ付託外ノ事件ヲ議
決スルヲ得サルニ依リ大津君ノ發議ノ採決ハ之ヲ爲スコトヲ得ス今ヤ議長ノ著席ニ依リ本會
ニ復シタルヲ以テ茲ニ大津君ノ要求ニ付可否ヲ決セラレムコトヲ望ム旨報告セリ次テ議長
(中島信行君)ハ大津君ノ要求ヲ討論ニ付シ採決ノ結果之ヲ可決セリ(速記録四九〇頁)

一五六 全院委員會ニ於テ特別委員ノ退席ヲ許可ス

本會議中常任委員會又ハ特別委員會ヲ開會セムトスルトキハ議院ノ許可ヲ要スルハ衆議院規則ノ
定ムル所ナルモ全院委員會開會中特別委員會開會ニ關スル規定ナシ然ルニ左ノ場合ニ於テハ全院
委員會開會中特別委員會開會ノ爲同委員退席ノ請求アリタルニ依リ全院委員長ハ委員會ニ諮リテ
之ヲ許可セリ

第十三回(特別)議會 明治三十一年十二月二十三日明治三十二年年度本豫算案ニ關スル全院委員
會(祕密會議)中葉煙草專賣法中改正法律案委員長藤金作君ヨリ特別委員會ヲ開ク爲同委員ノ
退席ヲ請求シタルトキ全院委員長(長谷場純孝君)ハ異議ナキヲ認メ其ノ請求ヲ許可セリ

第二款 常任及特別委員會

衆第五三條

一五七 本會議中委員會ヲ開會セムトスルトキハ院議ニ諮ヒ之ヲ許可ス但シ會期三分ノ二ヲ經過セルトキハ議長之ヲ許可ス

第十五回議會以來委員會議日ハ每會期ノ始院議ニ諮ヒ月、水、金ノ三曜日ト定ムルヲ例トシ第五十四回議會ニ至リ委員會ハ月、水、金ノ三曜日ノ外本會議日ト雖本會議中ヲ除キテハ開會シ得ルコトヲ議決シ爾來其ノ例ニ依リタルモ第六十五回議會以來委員會議日ニ付何等ノ決議ヲ爲ササルコトトナレリ而シテ本會議中委員會ヲ開會セムトスルトキハ常任委員會タルト特別委員會タルトヲ問ハス其ノ都度議院ノ許可ヲ受クルコトヲ要スルモ豫算委員會ノ如キ審査期限アルモノ其ノ他緊急ヲ要スルモノ又ハ重要ナル議案ノ委員會ニシテ連日開會ヲ必要トスルトキハ豫メ總括的ニ議院ノ許可ヲ得テ議院ノ會議時間中ニ於テモ之ヲ開クヲ例トス

第二十七回議會明治四十四年三月一日ノ會議ニ於テ將來會期三分ノ二ヲ經過セルトキハ本會議中委員會ノ開會ハ議院ノ許可ヲ要セス議長ニ於テ許可ヲ決スルモノト議決シ(速記録三〇六頁)爾來議長ニ於テ許可スルコトナレリ

臨時議會ハ會期短キヲ以テ從來會期ノ始ニ於テ委員會ハ本會議中ト雖隨時開會シ得ルコトヲ議決スルヲ例トス

參看 二三七號

スルヲ例トス

衆第五三條

一五八 會議中委員會ヲ開クノ請求ハ同日幾回ニテモ之ヲ爲スコトヲ得

本會議中委員會ヲ開カムトスル爲委員長ヨリ議院ノ許可ヲ請求シ院議之ヲ許可セサルトキト雖時ヲ隔テ再ヒ此ノ請求ヲ爲スヲ妨ケス

第二十八回議會 明治四十五年三月七日開議劈頭塚田啓太郎君提出田畑地價修正ニ關スル建議案委員長ハ同案委員會開會ノ許可ヲ請求セルニ議長(大岡育造君)ハ出席者多數アラサルニ依リ後刻ニテハ如何ト注意シタルモ委員長ヨリ重ネテ請求セルヲ以テ起立ヲ以テ之ヲ院議ニ諮ヒタル結果許可セサル旨ヲ宣告ス(速記録二六一頁)次テ質問議事日程一ヲ終リタルトキ委員長ハ更ニ該委員會開會ノ許可ヲ請求シタルニ議長ハ院議異議ナキヲ認メテ之ヲ許可スル旨ヲ宣告セリ(速記録二六三頁)

一五九 議長委員ニ對シ委員會ノ開會ニ付注意ス

委員會ノ開會ニ關シ議長ヨリ其ノ委員ニ對シ注意ヲ爲シタルコトアリ

第二十六回議會 明治四十三年三月一日開議劈頭議長(長谷場純孝君)ハ近來往々特別委員會ニ無届ニテ缺席シ爲ニ流會スルコトアル旨委員長ヨリ申出アリ果シテ然リトセハ已ムコトヲ得ス議院法第九十九條ノ手續ヲ執ルニ至ルヤモ知レス仍テ念ノ爲注意シ置ク旨ヲ述ヘ(連記録二四三頁)又同月十九日及二十二日高木益太郎君ノ請求ニ對シ議長ハ民事訴訟法中改正法律案ノ委員長ニ委員會ヲ進行セムコトヲ注意セリ(連記録四五八、四八四頁)

一六〇 議長國務大臣及政府委員ニ對シ委員會出席ヲ要求シ若ハ注意ス

委員會ハ議長ヲ經由シテ政府委員ノ説明ヲ求ムル爲其ノ出席ヲ要求スルコトヲ得ルハ議院法ニ規定スル所ナルモ國務大臣ニ對シテハ斯ノ如キ規定ナシ然レトモ議長ハ委員長ノ申出ニ依リ國務大臣ノ委員會出席ヲ要求シ又ハ議員ノ希望ニ依リ國務大臣及政府委員ニ對シ委員會出席ニ關シ注意ヲ爲シタルコトアリ

第二十七回議會 明治四十四年二月六日決算委員長ヨリ議長(長谷場純孝君)ニ對シ同委員會ノ

決議ニ基キ同月十三日ノ決算委員會ニ各國務大臣出席取計方申出アリタルニ依リ議長ハ書面ヲ以テ各國務大臣ニ宛テ同委員會ニ出席要求ヲ爲セリ

第二十八回議會 明治四十五年三月十四日議長(大岡育造君)ヨリ各委員ニ對シ委員會ニ出席スヘキ旨ヲ注意セルトキ守屋此助君ハ委員會ノ流會カ特別委員不參ニ原因スルコト往々アルハ承知シ居ルモ自己ノ關係スル委員會ハ國務大臣竝ニ政府委員缺席ノ爲流會トナレルコト多クアリ故ニ議長ヨリ議員ニ對シ注意セラルルハ至極同感ニシテ此ノ點吾人ノ遵奉スル所ナルモ國務大臣竝ニ政府委員ニ對シテ亦此ノ注意アラムコトヲ希望スル旨ヲ述ヘ(連記録三二八頁)議長ハ之ヲ容レ口頭ヲ以テ政府ニ其ノ旨ヲ通セリ

參看 五九八號

第八章 議案

第一節 議案ノ提出

一六一 議案ハ會期中何時ニテモ之ヲ提出スルコトヲ得

議案提出ノ時期ニ關シテハ何等ノ規定ナキヲ以テ政府又ハ議員提出議案ハ開院式後何時(停會中ヲ除ク)ニテモ之ヲ提出スルコトヲ得

參看 一七八號、一七九號

一六二 政府提出議案ハ內閣總理大臣及關係所管大臣ノ連署花押シタル提出文ヲ添附ス

修正亦同シ

第一回議會以來政府提出ノ議案ニハ「勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス」トノ提出文ヲ添附シ內閣總理

大臣及關係所管大臣連署花押ス
政府ノ修正ニハ「議院法第三十條ニ依リ修正ス」トノ提出文ヲ添附シ内閣總理大臣及關係所管大臣連署花押ス

一六三 議員提出議案ハ提出者及贊成者ノ連署シタル提出文ヲ添附ス

修正案亦同シ

第一回議會乃至第四回議會ニ於テハ議員提出議案及修正案ニ付テハ別ニ定マリタル様式ナカリシモ第五回議會ノ始ニ於テ提出文ニ一定ノ様式ヲ定メ議員提出議案及修正案ニハ「成規ニ據リ提出候也」トノ提出文ヲ添附シ提出者及成規ノ贊成者連署ス

參看 三五六號

一六四 議案提出者ノ員數ハ之ヲ制限セス
贊成者ハ成規ノ員數ヲ要スルモ之ヲ制限セス

議院法
第五九條

議案提出者ノ員數ニ付テハ何等ノ規定ナキヲ以テ一名ヲ以テ足ルモ往々數十名ニ及ヘルコトアリ
議案ノ贊成者ハ法律案決議案ハ二十人以上、上奏案建議案ハ三十人以上ヲ要ス然レトモ其ノ以上ニ付テハ別ニ制限ナキヲ以テ殆ト全員贊成者トシテ署名シタルコトナシトセス

一六五 議員ニシテ國務大臣又ハ政府委員タル者ハ概ネ議案提出ノ贊成者トシテ署名セス

議員ニシテ國務大臣又ハ政府委員タル者ハ概ネ議案提出ノ贊成者トシテ署名セサルヲ例トス但シ慶弔儀禮等ニ關スル議案ニハ署名セルコトナシトセス

第三十七回議會 大正五年二月三日黒須龍太郎君外四名提出質屋取締法中改正法律案贊成者中議員ニシテ國務大臣若ハ參政官タル者ノ署名アリタル爲望月長夫君ハ一面ニ於テ議員タリ一面ニ於テ政府當局者タル場合ニ於テ政府ノ意見ト相反スル議案ニ贊成者トシテ署名スルモ政府ハ差支ナシト思料スルヤト問ヒタルニ藤澤政府委員ハ黨ニ屬スル代議士其ノ黨ノ同意ヲ得テ提出スル所ノ案ニ署名スルハ從來各黨派ノ慣例ナルモ國務大臣又ハ參政官ニシテ署名スルトキハ一方ニ於テ提案者トナリ一方ニ於テ反對スルカ如キ奇異ナル結果ノ現ハルヲ以テ將

來議員ニシテ政府委員タル者ノ氏名ハ贊成者中ヨリ之ヲ除クヲ妥當ナリト思料スル旨答辯セリ(連記録四一八、四一九頁)

一六六 召集ニ應セサル議員ハ議案ノ提出者又ハ贊成者タルコトヲ得ス

議案ノ提出者又ハ贊成者中未タ召集ニ應セサル議員ノ署名シタルコト往々アリタルモ第十四回議會以來召集ニ應セサル者ハ提出者又ハ贊成者タルコトヲ得サルコトナレリ

一六七 議案ノ提出者又ハ贊成者ノ追加若ハ取消ハ其ノ案ノ配付後ハ之ヲ許サス但シ訂正ハ此ノ限ニ在ラス

議案ノ提出者又ハ贊成者ノ追加若ハ取消ハ第十五回議會以來其ノ議案ノ配付後ハ誤謬ヲ訂正スルノ外之ヲ許サス然レトモ配付後贊成者ノ死亡ニ依リ成規ノ贊成ヲ缺クニ至ルトキハ他ノ議員ヲ贊成者トシテ補充スルコトヲ得

第五十二回議會 三浦數平君提出電話加入區域擴張ニ關スル建議案贊成者富田愿之助君死亡ニ

付星廉平君ヲ補充セリ

第五十六回議會 西尾末廣君提出健康保險法中改正法律案贊成者山本宣治君死亡ニ付岩切重雄

君ヲ補充セリ

一六八 法律案ハ一定ノ用文、用字ニ依ルコトヲ要ス

其ノ他ノ議案亦之ニ倣フ

法律案ノ用文、用字區々ニ涉リシヲ以テ第十四回議會ノ始ニ於テ政府及貴衆兩院事務局協議シ用文、用字例ヲ作り爾來議員提出ノ法律案ハ總テ之ニ遵依セリ而シテ建議案其ノ他ノ議案モ亦之ニ倣フ

一六九 議員提出議案ノ様式、用字等ノ整理ハ議長之ヲ行フ

第二回議會以來議案議決ノ結果條項ノ轉換等形式上ニ關スルモノニ付議長ニ一任シタル事例尠カラサリシモ議員提出議案ノ用字、用文等ハ區々ニ涉リシヲ以テ第十三回(特別)議會會期切迫ニ際シ

院議ヲ以テ其ノ整理ヲ議長ニ一任シタルコトアリ第十四回議會ノ始ニ於テ貴衆兩院事務局ハ政府ト協議ノ上法律案ノ用文、用字例ヲ作り同議會明治三十二年十二月二日議長(片岡健吉君)ハ院議ニ諮ヒ將來議員提出議案ノ字句假名遣等其ノ形式ニ關スルモノハ一々提出者ト交渉スルコトナク議長ニ於テ整理スルコトト爲スニ決シタル旨ヲ宣告シ(連記録三七頁)爾來議員提出ノ法律案ハ總テ之ニ遵依セリ而シテ建議案其ノ他ノ議案モ亦之ニ倣ヒ議案ノ様式、用字等ノ整理ハ議長ニ於テ之ヲ行フコトトナレリ

參看 四二七號

憲法第六十五條
第四〇條
第七條

一七〇 本豫算案ハ年末年始ノ休會明ノ始ニ提出セララルルヲ例トス

總豫算案、特別會計豫算案及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ハ每會期ノ始即チ開院式後一日乃至三日以内ニ提出セラレタルモ第八回議會以來通常議會ノ召集ハ概ネ十二月下旬ニシテ開院式後直ニ勅語奉答文ノ議決ヲ爲シ翌日全院委員長及常任委員ノ選舉ヲ行ヒ次テ年末年始ノ休會ヲ爲スノ例トナリシヲ以テ審査期間ノ關係上休會明ヲ俟テ提出セララルルノ例トナレリ次年度ノ追加豫算案ハ本豫算案ト共ニ若ハ其ノ後ニ提出セララルルモ現在年度ニ屬スル追加豫算案

ニシテ特殊ノモノハ本豫算案ニ先チ提出セラレタルコトナシトセス其ノ事例左ノ如シ

第二回議會 明治二十四年度歳入歳出總豫算追加案(農商務省所管コロン)ハ明治二十四年十一月二

十七日提出セラレ明治二十五年度本豫算案ハ翌二十八日提出セラレタリ

第十回議會 (別號)明治二十九年歳入歳出總豫算追加案(公爵毛利元德君國葬費)ハ明治二十九年十二月二

十六日提出セラレ明治三十年度本豫算案ハ翌三十年一月八日提出セラレタリ

第十四回議會 (第一號)明治三十二年歳入歳出總豫算追加案(内務、大藏、陸軍、文部、農商務、逓信、各省所管)ハ明治三十

二年十一月二十二日提出セラレ明治三十三年度本豫算案ハ十一月二十四日提出セラレタリ

第五十二回議會 (第一號)大正十五年昭和大正十五年歳入歳出總豫算追加案(大喪費)ハ昭和元年十二月二十七

日提出セラレ昭和二年度本豫算案ハ翌二年一月十八日提出セラレタリ

第五十四回議會 (第一號)昭和二年度歳入歳出總豫算追加案(大禮費)ハ昭和二年十二月二十六

日提出セラレ昭和三年度本豫算案ハ翌三年一月二十一日提出セラレタリ

參看 四四六號、四五一號

一七一 法律案ニ關係アル追加豫算案ハ其ノ法律案議決ノ前後ヲ問ハス提出セラル

法律案ニ關係アル追加豫算案ハ法律案ト同時ニ又ハ法律案ノ審査中ニ提出セラルルヲ例トスルモ法律案兩院通過後或ハ貴族院ニ送付後或ハ法律案提出前提出セラレタルコトアリ又法律案先ニ貴族院ニ提出セラレ同院ニ於テ審査中若ハ本院ニ送付後提出セラレタルコトアリ

(一) 法律案兩院通過後ニ提出セラレタル例

第五十回議會 大正十四年二月十四日大學特別會計法中改正法律案兩院通過シタル後之ニ關係アル(特第一號)大正十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案ハ二月二十七日提出セラレタリ

(二) 法律案本院ヲ通過シ貴族院ニ於テ審査中ニ提出セラレタル例

第四十六回議會 大正十二年三月三日恩給法案ヲ議決シテ貴族院ニ送付シ三月二十一日貴族院ニ於テ修正議決セラレタルカ之ニ關係アル(特第一號)大正十一年度各特別會計歳入歳出豫算追加案ハ三月十二日提出セラレタリ

(三) 法律案提出前提出セラレタル例

第四十九回(特別)議會 大正十三年七月九日高等諸學校震火災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案提出セラレ之ニ關係アル(第二號)大正十三年度歳入歳出總豫算追加案ハ同年七月一日提出セラレタリ

(四) 法律案先ニ貴族院ニ提出セラレ同院ニ於テ審査中若ハ貴族院ヨリ本院ニ送付後提出セラレタル例

第十五回議會 明治三十四年一月十九日實業教育費國庫補助法中改正法律案貴族院ニ提出セラレ同院ニ審査中三月十四日之ニ關係アル明治三十四年度歳入歳出總豫算追加案提出セラレタリ(右法律案ハ三月二十日貴族院ヨリ送付セラレ)

第四十一回議會 大正八年三月十五日度量衡法中改正法律案貴族院ヨリ本院ニ送付セラレ委員ノ審査中三月二十三日之ニ關係アル(第四號)大正八年度歳入歳出總豫算追加案提出セラレタリ

參看 四五〇號

一七二 豫算ニ關係アル法律案ハ概ネ豫算案ト同時ニ提出セラル
豫算ニ關係アル法律案ハ概ネ豫算案ト同時ニ本院ニ提出セラルルヲ例トスルモ多少遅延スルコト
ナシトセス又先ニ貴族院ニ提出シタルコトアリ

参看 四五一號

憲第七二條
會第二三條

一七三 決算ハ議決ニ至ラスト雖再ヒ次ノ會期ニ提出セラレス

決算ハ翌年ノ通常議會ニ提出セラルルモノナルカ一度提出セラレタルトキハ其ノ會期ニ於テ審議
終了セサルトキト雖政府ハ再ヒ之ヲ次ノ議會ニ提出セス

参看 三三〇號

憲第八條
憲第六四條
憲第七〇條

一七四 承諾ヲ求ムル議案議決ニ至ラサルトキハ豫備金支出ニ關スル件ハ次

ノ會期ニ再ヒ提出セラレ緊急勅令ハ提出セラレス

承諾ヲ求ムル議案ニシテ解散其ノ他ノ事由ニ依リ議決ニ至ラサルトキハ豫備金支出ニ關スル件ハ

次ノ議會ニ提出セラルルモ(臨時議會ニハ提出セス)緊急勅令ハ將來ニ向テ其ノ失效ヲ公布シ再ヒ
提出セラレス但シ第二回議會ニ於テ解散ノ爲議決未了トナリタル緊急勅令ヲ次ノ議會ニ提出シタ
ル一例アリ

参看 四七六號、四七八號

衆第八九條

一七五 決議案ノ提出ニハ理由書ヲ附スルヲ要セス

決議案ハ法律案、上奏案、建議案ノ如ク理由書ヲ附スルノ規定ナキヲ以テ之ヲ附スルヲ要セサルモ
時ニ簡單ナル理由書ヲ附スルモノナシトセス又決議案ノ贊成者ハ一人ヲ以テ足りシカ第四十五回
議會(大正十年十二月二十七日)ニ於テ衆議院規則ヲ改正シ二十人以上ノ贊成者ヲ要スルコトナ
レリ(連記録九頁)

一七六 修正案ノ提出ニハ理由書ヲ附スルヲ要セス

議案ニ對シ修正案ヲ提出スルニハ必スシモ理由書ヲ附スルヲ要セス蓋議案ニ於ケルカ如ク之カ理

第一編 總則 第八章 議案 第一節 議案ノ提出 (一七二—一七六)

由書ヲ附スヘキノ規定ナキヲ以テナリ

議第二七條
議第二八條

一七七 議案ノ緊急議決ノ要求又ハ正誤ハ書面若ハ口頭ヲ以テス

政府ヨリ其ノ提出議案ノ緊急議決ヲ要求スル場合(議院法第二十七條但書又ハ第二十八條但書若ハ兩條但書ニ依リ或ハ單ニ緊急事件トシテ之ヲ要求スルコトアリ)又ハ議案ノ正誤ヲ爲サムトスル場合ハ書面ヲ以テ之ヲ爲シ而シテ緊急議決ノ要求ニ付テハ内閣總理大臣ヨリ本院議長宛正誤ニ付テハ内閣書記官ヨリ本院書記官宛ナルヲ例トス但シ口頭ヲ以テシタルコトナシトセス
議員提出議案ノ正誤ハ書面若ハ口頭ヲ以テス

參看 二〇八號

第二節 議案ノ受理、送付、回付及通知

一七八 議案ハ開院式後ヨリ之ヲ受理ス

議會ノ會期ハ開院式當日ヨリ開始スルヲ以テ豫算案、承諾ヲ求ムル議案、法律案、上奏案、建議案及決議案其ノ他質問、請願等ハ總テ開院式後ヨリ之ヲ受理ス

參看 一六一號

一七九 議案ハ停會中ハ之ヲ受理セス

停會中議院ハ各種ノ議案、質問、請願等ノ提出アルモ之ヲ受理セス

一八〇 議案ノ送付、回付、通知等ハ議決ノ當日其ノ手續ヲ爲ス

議案ノ送付、回付若ハ議案議決ノ通知ハ議案ノ議決後直ニ其ノ手續ヲ爲スモノトス而シテ修正議決ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ修正複雑セルトキト雖之ヲ整理シ即日其ノ手續ヲ爲ス

一八一 議案ノ送付、回付、通知等ハ一定ノ様式ヲ用フ

議案ノ送付、回付若ハ兩院協議會ノ請求又ハ議案議決ノ通知ニハ其ノ旨ヲ記載シタル定式ノ書面ヲ附ス

一八二 議案ノ送付若ハ回付ハ本書ヲ用フ

政府提出議案ヲ貴族院ニ送付スル場合ハ政府ヨリ提出セラレタル本書ヲ用ヒ修正議決ノ上送付スル場合ハ本書ノ外該議案ノ印本ニ修正ヲ記入セルモノヲ添附シ又貴族院ニ回付スル場合ハ貴族院ヨリ送付セラレタル本書ノ外該議案ノ印本ニ本院ニ於ケル修正ヲ記入シタルモノヲ添附ス
議員提出法律案ヲ議決シ貴族院ニ提出スル場合ハ議決セラレタル議員提出法律案ノ提出文及理由書ヲ除キタル印本ヲ用フ而シテ議員提出法律案修正議決ナルトキハ其ノ簡單ナル場合ハ修正ヲ記入シ其ノ複雑ナルモノハ印本ヲ用フ

參看 一九九號、三五九號、四二四號

一八三 議案ノ送付、回付、通知等ハ議長ノ名ヲ以テシ書記官長公文書ノ末尾ニ署名ス

議案ノ送付、回付若ハ議案議決ノ通知ハ議長ノ名ヲ以テス第三回(特別)議會以前ハ書記官長其ノ公文書ニ連署シタリシモ第四回議會ヨリハ文書ノ末尾ニ署名スルコトナレリ
議長病氣其ノ他ノ故障ニ依リ副議長議長ノ職務ヲ行ヒタルトキ議案ノ送付、回付、通知等總テ副議長ノ名ヲ以テセリ即チ第五回議會ニ於テ議長謹慎中、第十八回(特別)議會ニ於テ議長病氣中ノ如キ是ナリ又第五十二回議會中假議長ヲ設ケラレタルトキハ假議長ノ名ヲ以テセリ

參看 九二號、四八三號

第三節 議案ノ印刷及配付

一八四 貴族院ヨリ提出、送付及回付ニ係ル議案竝政府提出ノ修正ハ直ニ之ヲ印刷ニ付ス

政府提出議案ハ議院ノ依託ニ依リ豫メ政府ニ於テ印刷スルヲ以テ先ニ本院ニ提出セラレタル場合

ハ其ノ提出文ノミヲ直ニ印刷ニ付シ貴族院ヨリ送付ニ係ルトキ可決ノ場合ハ送付文及提出文ノミヲ、修正議決ノ場合ハ併セテ修正ノ部分ヲ直ニ印刷ニ付ス又貴族院提出議案及回付案ハ其ノ全部ヲ直ニ印刷ニ付ス

尙政府提出議案ヲ政府ニ於テ修正セルトキハ其ノ修正及提出文ノ全部ヲ直ニ印刷ニ付ス

衆第八八條

一八五 議員提出議案ハ之ヲ印刷ニ付ス

第十四回議會以來議員提出ノ議案即チ法律案、上奏案、建議案及決議案ハ一定ノ用紙ヲ用ヒ其ノ様式、用字等ハ議長ニ於テ整理シタル後印刷ニ付スルヲ例トス

參看 一八二號、一九九號、五一號

一八六 修正案ハ之ヲ印刷ニ付ス

議員提出修正案ハ前號ト同様議長ニ於テ整理シタル後之ヲ印刷ニ付スルヲ例トス

一八七 特別ノ事情アルトキハ議案ヲ會議ニ付シタル後若ハ其ノ議了後之ヲ印刷ニ付ス

貴族院ヨリ回付セラレタル議案、議員提出議案、修正案、委員會報告、兩院協議會成案、請願特別報告ニシテ特別ノ事由ニ依リ緊急上程ノ必要アル場合若ハ會期切迫ノ際印刷ヲ爲スノ暇ナキ場合ハ會議ニ付シタル後若ハ議了後之ヲ印刷ニ付スルコトアリ

參看 五一號

一八八 議案其ノ他ノ書類ハ議員控室内備付ノ文書函ニ之ヲ配付ス
至急ヲ要スル場合ハ議席ニ配付ス

第一回議會ノ始ニ於テ議案其ノ他ノ書類ハ議員ノ宿所ニ配付シタルモ同會期ノ半ヨリ各部室内(第十五回議會ヨリ)ニ文書函ヲ設ケ之ニ配付スルコトトナレリ而シテ至急ヲ要スル場合ハ議席ニ之ヲ配付スルモ尙全員ニ配付スルコト能ハサル場合ハ各派ノ幹部ニノミ配付セルコトアリ
第十九回議會以來豫算案決算等浩瀚ナルモノハ文書函ニ配付セス便宜上庶務課支室(配付係)ニ於テ之ヲ交付ス

尙國務大臣ニ對シテハ院内ニ於テ配付シ政府委員ニ對シテハ政府委員室備付ノ文書函ニ配付ス

參看 六七二號

一八九 議案ハ停會中ハ之ヲ配付セス

停會前ニ提出セラレタル議案ハ停會中ト雖整理印刷等ハ之ヲ爲スモ配付セス停會明ヲ俟テ配付ス

參看 一七九號

第四節 議案ノ撤回

議第三〇條
來第九一條

一九〇 議案撤回ノ請求ハ書面又ハ口頭ヲ以テス

議案又ハ修正案ヲ撤回セムトスル場合ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲ス而シテ政府提出議案撤回ノ

請求ハ書面ヲ以テ内閣總理大臣及關係所管大臣ヨリ之ヲ爲スヲ例トス

議第三〇條

一九一 政府提出議案撤回セラルルトキハ貴族院ニ通知ス

政府提出議案ニシテ撤回セラレタルトキハ他院ニ其ノ旨ヲ通知シ又一院ノ議決ヲ經テ他ノ一院ニ送付後撤回セラルル場合ニハ送付ヲ受ケタル議院ヨリ送付ヲ爲シタル議院ニ之ヲ通知ス

參看 一九六號ノ(四)

一九二 政府提出議案撤回ニ關シ質疑ヲ爲シ國務大臣其ノ理由ヲ述フ

第四十回議會 大正七年三月十九日政府提出衆議院議員選舉法中改正法律案撤回ノ報告アルヤ
齋藤隆夫君及野添宗三君ヨリ撤回ノ理由ヲ質シタルニ之ニ對シ後藤内務大臣ハ撤回ノ理由ヲ述ヘタリ(速記録五三九、五四〇頁)

第五十一回議會 大正十五年二月十三日政府提出明治四十年法律第二十一號中改正法律案(樺太ニ於ケル租税ニ關スル件)撤回ノ報告アルヤ石坂豊一君ヨリ撤回ノ理由ヲ質シタルニ之ニ

對シ昌谷政府委員、濱口大藏大臣及若槻內閣總理大臣ハ撤回ノ理由ヲ述ヘタリ(速記録三八〇乃
至三八三頁)

衆第九一條

一九三 議案ノ撤回ハ提出者全部ノ請求ヲ要スルモ贊成者ノ同意ヲ要セス

議案ヲ撤回セムトスル場合提出者數人アルトキハ其ノ全員ノ請求アルヲ要スルモ贊成者ノ同意ヲ
要セス

第十四回議會 明治三十二年十二月二日ノ會議ニ於テ尾崎行雄君外四十三名提出地租條例中改
正法律案外四件ハ提出者ヨリ撤回シタル旨ノ報告ニ對シ星亨君ハ撤回ノ申出ハ贊成者ノ同意
ヲ要セサル先例アルヤ否ヲ問ヒタルニ議長(片岡健吉君)ハ其ノ先例(第十三回(特別)議會明治
三十一年十二月六日)アル旨ノ答辯ヲ爲セリ(速記録三七頁)

參看 一九〇號

衆第九一條

一九四 議員提出議案ノ撤回ハ概ネ許可セララル

議員提出ノ議案ハ議題トナラサル以前ハ何時ニテモ撤回シ得ルモ一度議題トナリタル以後ハ院議
ヲ經ルニ非サレハ撤回スルコトヲ得サルハ衆議院規則ノ定ムル所ナリ而シテ撤回ノ請求ハ議題ニ
上リタルトキ又ハ委員ノ審査中若ハ審査了リタル際ニ於テモ概ネ許可セララルヲ例トス

(一) 議題ニ上リタル議案ノ撤回ヲ許可シタル例

第二十八回議會 明治四十五年三月二十日中川虎之助君外十三名提出砂糖消費稅法中改正法律
案第一讀會ノ續會ニ於テ提出者山岡國吉君ハ本案ハ委員會ニ於テ全會一致可決シタルモ政府
ニ於テモ目下重要問題トシテ研究中ニ屬シ來年度豫算編成迄ニ諸君ノ希望ヲ充シタシトノ言
明アリタルヲ以テ假スニ時日ヲ以テシ本案ハ撤回スト述ヘ院議異議ナカリシヲ以テ議長(大
岡育造君)ハ撤回ハ許可セラレタル旨ヲ宣告セリ(速記録四一二、四一三頁)

第六十一回(臨時)議會 昭和七年三月二十四日議長(秋田清君)ハ議事日程第三東武君外十六名
提出決議案(議長副議長ノ黨籍ニ關スル件)ヲ議題ト爲ス旨ヲ宣告シタル際提出者青木精一君
ヨリ本案撤回ノ申出アリ院議之ヲ許可スルニ決セリ(速記録六四頁)

(二) 委員審査中ノ議案ノ撤回ヲ許可シタル例

第一編 總則 第八章 議案 第四節 議案ノ撤回 (一九三、一九四)

第五十六回議會 昭和四年三月十五日政府提出米穀需給調節特別會計法中改正法律案ノ第一讀會ノ續會ニ於テ副議長(清瀬一郎君)ハ委員付託中ニ係ル三輪市太郎君外六十三名提出米穀需給調節特別會計法中改正法律案ハ提出者ヨリ撤回ノ申出アリタル旨ヲ告ケ院議ヲ經テ之ヲ許可セリ(速記録七四六頁)

第六十四回議會 昭和八年三月二十五日第四回休憩後ノ開議劈頭議長(秋田清君)ハ委員付託中ニ係ル松實喜代太君外一名提出恩給法中改正法律案及木下成太郎君外十八名提出不動産融資及損失補償法中改正法律案ハ各提出者ヨリ撤回ノ申出アリタル旨ヲ告ケ院議ヲ經テ之ヲ許可セリ(速記録九一五頁)

(三) 議題ニ上リタル修正案ノ撤回ヲ許可シタル例

第十四回議會 明治三十三年一月二十六日政府提出產牛馬組合法案第二讀會ニ於テ議長(片岡健吉君)ハ同法案第九條ニ對スル長谷場純孝君提出ノ修正案ハ提出者ヨリ撤回ノ申出アリタル旨ヲ告ケ其ノ許否ヲ院議ニ諮ヒ之ヲ許可セリ(速記録二四七頁)

然ルニ議題ニ上リタル議案ノ撤回ヲ許可セザリシコトアリ

第九回議會 明治二十九年二月二十五日佐々友房君提出決議案(内閣ノ處決ニ關スル件)ノ會議

ニ際シ議長(楠本正隆君)ハ本案ハ提出者ヨリ撤回ノ請求アル旨ヲ告ケ書記官ヲシテ其ノ請求書ヲ朗讀セシメ質疑討論ヲ許シタル後起立ヲ以テ採決シタル結果撤回ヲ許可セサルニ決セリ(速記録三二六乃至三二九頁)

參看 三六八號、五二五號

一九五 議案ノ撤回ニ際シ其ノ理由ヲ述フ

議員提出ノ議案ニシテ既ニ議題ニ上リタルモノ又ハ議題ニ上ラサルモノノ撤回ヲ請求スルニ際シ其ノ理由ヲ述ヘタルコトアリ

(一) 議題ニ上リタルモノノ例

第二十八回議會 明治四十五年三月二十日中川虎之助君外十三名提出砂糖消費稅法中改正法律案ノ撤回ヲ請求スルニ際シ提出者山岡國吉君ハ其ノ理由ヲ述ヘタリ(速記録四一二、四一三頁)
第三十七回議會 大正五年二月十八日木村平右衛門君外一名提出地方產業資金ニ關スル建議案ノ撤回ヲ請求スルニ際シ木村平右衛門君ハ其ノ理由ヲ述ヘタリ(速記録六二七頁)

第六十一回(臨時)議會 昭和七年三月二十四日東武君外十六名提出決議案(議長副議長ノ黨籍ニ關スル件)ノ撤回ヲ請求スルニ際シ提出者青木精一君ハ其ノ理由ヲ述ヘタリ(速記録六四頁)

(二) 議題ニ上ラサルモノノ例

第三十五回議會 大正三年十二月十五日元田肇君外五名提出決議案(御大禮費豫算提出ノ件)贊成者關直彦君ハ提出者ニ代リ本日政府ヨリ御大禮ニ關スル豫算ヲ提出セルニ依リ決議案ノ目的ヲ貫徹シタルニ付之ヲ撤回スル旨ヲ述ヘタリ(速記録六一頁)

參看 三六九號

一九六 撤回シタル議案ハ再ヒ之ヲ提出スルヲ妨ケス

政府又ハ議員提出ノ議案ニシテ撤回ノ後再ヒ之ヲ同日、翌日又ハ日ヲ隔テテ提出セル事例尠カラ

ス 政府提出議案ノ撤回後再ヒ提出セラレタル場合ヲ舉クレハ左ノ如シ

(一) 委員ノ審査ニ著手セサル前撤回シ翌日若ハ日ヲ隔テテ再ヒ提出シタル場合

- 第十回議會 明治三十年一月十九日明治三十年度本豫算案、(總追第一號)明治二十九年度歳入歳出總豫算追加案外四件
- 第十三回(特別)議會 明治三十二年一月十四日(第二號)明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案外二件
- 第三十回議會 大正二年二月二十七日大正二年度本豫算案

(二) 委員ノ審査中ニ撤回シ當日若ハ日ヲ隔テテ再ヒ提出シタル場合

- 第十三回(特別)議會 明治三十二年二月三日(第三號)明治三十二年度歳入歳出總豫算追加案外二件
- 同 三十二年二月二十五日(第四號)明治三十二年度歳入歳出總豫算追加案外一件
- 第十六回議會 明治三十四年十二月二十六日明治三十五年度本豫算案
- 同 明治三十五年二月十七日(第四號)明治三十四年度歳入歳出總豫算追加案

(第三十二回議會明治三十九年三月十七日明治二十九年法律第六十三號ニ代ルヘキ法律案ヲ貴族院ニ提出シ同月二十五日同院ニ於テ委員ノ審査中ニテ撤回シ同日臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案トシテ更ニ同院ニ提出セリ)

第五十一回議會 大正十五年二月一日大正十五年度本豫算案

百五十二

(三) 委員ノ審査ヲ經議事日程ニ上リタル後之ヲ撤回シ翌日再ヒ提出シタル場合
第九回議會 明治二十九年三月二十五日臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案

(四) 貴族院ニ回付後撤回シ翌日再ヒ提出シタル場合
第十五回議會 明治三十四年二月二十六日貴族院ニ回付シタル明治二十九年法律第四號中改正
法律案ハ三月十九日ヲ以テ之ヲ撤回シ翌日司法官試補實地習修期間ニ關スル法律案ト改題シ
再ヒ貴族院ニ提出セリ(明治二十九年法律第四號ノ效力ハ貴族院停會中消滅セルヲ以テ改正
ヲ施スニ由ナク即チ本案ノ如ク改正セリ)

參看 四四七號

第五節 議案ノ奏上

一九七 議案ノ奏上ハ即日之ヲ爲ス

法律案、豫算案又ハ承諾ヲ求ムル議案等兩院ノ議決ヲ要スルモノニシテ貴族院ヨリ送付、回付若ハ提出ヲ受ケ本院ニ於テ之ヲ可決シ若ハ承諾ヲ與ヘ又ハ貴族院ノ修正ニ同意シ或ハ貴族院送付ニ係ル兩院協議會成案ヲ可決シ議案兩院ヲ通過シタルトキハ議長ハ整理ノ上即日內閣總理大臣ヲ經由シテ奏上シ同時ニ其ノ旨ヲ貴族院ニ通知ス

政府提出ノ議案ニシテ本院ニ提出セラレタルト貴族院ヨリ送付若ハ回付セラレタルトヲ問ハス本院ニ於テ之ヲ否決シ若ハ承諾ヲ與ヘサルトキハ議長ハ內閣總理大臣ヲ經由シテ奏上シ同時ニ其ノ旨貴族院ニ通知ス

一九八 議案奏上ノ文例ハ一定ノ様式ニ依ル

議案奏上ノ文例ハ一定ノ様式ニ依ル而シテ奏上書ニハ議長書記官長ノ署名ノミニシテ捺印セス且別ニ內閣總理大臣宛添書ヲ用ヒ議長書記官長署名捺印ス

第一編 總則 第八章 議案 第五節 議案ノ奏上 (一九七、一九八)

百五十三

議案第三一
議案第五四
議案第五五
議案第五〇條

議案第一七
議案第三一
議案第三〇條

【備考】

政府又ハ貴族院提出ノ議案ヲ可決奏上ノ場合ハ「衆議院ハ兩院ノ議ヲ經タル某案ノ裁可ヲ奉請ス」、政府提出議案否決奏上ノ場合ハ「衆議院ハ某案ニ付キ更ニ兩議ヲ盡サレムコトヲ奉請ス」トノ文例ニ依ル

一九九 奏上ノ議案ハ印本ヲ用フ

議案ヲ奏上スル場合ハ淨書シタルモノヲ以テシタルモ第十二回(特別)議會ヨリハ印刷シタルモノヲ用フルコトナレリ

議第三二條

二〇〇 可決奏上ノ法律案ニシテ次ノ會期迄ニ裁可公布セラレサルモノナシ
第一回議會以來法律案ノ兩院ヲ通過シタルモノ二千六百七十七件ニシテ悉ク次ノ會期迄ニ裁可公布セラレタリ而シテ最モ早キハ奏上ノ即日、最モ遅キハ二百七十一日(大正十四年法律第五十二號支那ニ於ケル帝國法人ノ所有スル船舶等ニ關スル件)ヲ經過シテ公布セラレタリ

二〇一 豫備金支出ノ件ノ一部ニ對シ承諾ヲ與ヘサルトキハ即日其ノ部分ニ付奏上ス

豫備金支出ノ件中一部承諾ヲ與ヘサルモノアルトキハ先ツ承諾ヲ與ヘタル部分ヲ貴族院ニ送付シ承諾ヲ與ヘサル部分ニ付テハ内閣總理大臣ヲ經由シテ奏上ス

第二十一回議會 明治三十八年二月十四日明治三十六年度豫備金支出ノ件中文部省所管臨時教科書編纂費及明治三十六年度特別會計豫備金支出ノ件中内務省所管基隆築港維持費ニ對シ院議承諾ヲ與ヘサリシニ依リ即日其ノ部分ニ付奏上セリ

第二十二回、第二十四回及第二十六回議會ニ於テモ一部不承諾トナレル部分ニ對シ此ノ例ニ依レリ

參看 四七五號

第二編 會議

第一章 議事日程

第一節 議事日程ノ掲載

二〇二 議事日程掲載ノ順序ハ議長之ヲ定ム

議事日程ヲ定ムルハ議長ノ職權ナルヲ以テ其ノ順序モ亦議長ニ於テ之ヲ定ム即チ議案ニ在リテハ政府提出議案、貴族院提出議案、議員提出議案ノ順位トシ政府提出議案中ニ於テハ豫算案、決算、國有財産計算書、法律案及承諾案ノ順序ニ、又議員提出議案中ニ於テハ法律案、上奏案、建議案、決議案、請願ノ順序ニ掲載シ而シテ法律案ハ第一讀會、第一讀會ノ續會、第二讀會、第三讀會ノ順序ニ從テ掲載スルヲ例トス尙豫算ニ關係アル法律案ハ豫算案ノ前ニ掲載スル例ナリシモ第五十六回議會以來普通ノ順序ニ依リ掲載スルノ例トナレリ

回付案ハ政府提出議案、議員提出議案ノ順序ニ依リ同種議案ノ首位ニ掲載ス又承諾案、法律案、上奏案、決議案ニシテ委員會報告ヲ經タルモノハ各同種議案ノ次位ニ置ク

請願ハ他ノ議案ト區別シ別ニ番號ヲ附シ議事日程ノ末尾ニ掲載ス

質問ハ第二十六回議會ニ於テ火曜日ヲ質問日ト定メラレテヨリ議事日程ノ首位ニ掲ケ別ニ番號ヲ附ス

議長副議長候補者選舉ノ件ヲ議事日程ニ掲載スル場合ハ之ヲ首位ニ置ク又懲罰事犯ノ件ヲ議事日程ニ掲載スル場合ハ之ヲ首位ニ置クヲ原則トスルモ第三十七回、第五十一回議會ノ各一件及第五十九回議會ノ二件ハ末尾ニ置キ同議會ノ二件ハ議員提出議案ノ首位ニ置ケリ

全院委員長及常任委員ノ選舉ハ開院式翌日ノ議事日程ニ掲載シ此ノ日ノ議事日程ニハ他ノ件ヲ掲載セサルヲ例トス

參看 二一四號、二一六號、二一九號

二〇三 延會セラレタル議案ハ次會ノ議事日程ニ於ケル同種議案ノ首位ニ掲載ス

議事日程ニ掲載セラレタル議案ニシテ延會セラレタルモノハ之ヲ次會ノ議事日程ニ掲載シ各其ノ同種議案ノ首位ニ置クスノ如ク延會ノ形式ニ依ルトキハ議事日程作成上不便尠カラサルヲ以テ第

四十五回議會以來延會ノ動議ヲ避ケ議事日程延期ノ動議ヲ提出スルノ例トナレリ

參看 二〇四號

二〇四 延期セラレタル議案ハ必スシモ次會ノ議事日程ニ掲載セス

議事日程ニ掲載セラレタル議案ニシテ當日議了ノ見込ナキトキハ議事日程第何以下ヲ延期スルノ動議ヲ提出スルヲ例トス而シテ延期セラレタル議案ハ必スシモ次會ノ議事日程ニ掲載セス

參看 二〇三號

二〇五 議長副議長候補者選舉ノ件ハ議事日程ノ首位ニ掲載ス

會期中議長副議長關位トナリ其ノ候補者選舉ヲ行フ必要生シタルトキハ議長副議長ハ議院構成ノ一部ナルニ依リ直ニ之カ選舉ヲ行ハサルヘカラサルヲ以テ議事日程ノ首位ニ之ヲ掲ク而シテ政府案ニ先チ之ヲ掲載スルモ敢テ政府ノ同意ヲ得ルヲ要セサルモノトス

第五回議會 明治二十六年十二月十四日議長候補者選舉(星議長除名)及同月十六日副議長候補

者選舉(楠本副議長議長ニ勅任)ハ孰レモ其ノ候補者選舉ノミニテ議事日程ヲ作成セリ

第二十二回議會 明治三十九年一月二十二日議長候補者選舉(松田議長辭職)ハ議事日程第一ニ

掲載セリ

第三十一回議會 大正三年三月七日議長候補者選舉(大岡議長辭職)ハ議事日程第二ニ、同月十

七日議長候補者選舉(長谷場議長薨去)ハ議事日程ノ質問ニ先チ掲載セリ

第四十六回議會 大正十二年二月十七日議長候補者選舉(奥議長辭職)ハ議事日程第一ニ掲載セリ

尙左ノ場合ハ關位トナレル當日直ニ選舉ヲ行ヘリ

第三十七回議會 大正四年十二月二十六日副議長候補者選舉(花井副議長辭職)

第四十六回議會 大正十二年二月十七日副議長候補者選舉(粕谷副議長議長ニ勅任)

第五十二回議會 昭和二年三月二十五日議長及副議長候補者選舉(粕谷議長及小泉副議長辭職)

第五十六回議會 昭和四年三月十四日議長候補者選舉(元田議長辭職)

參看 五九號、二〇二號

二〇六 議事日程ニハ議案ノ提出者ヲ表示ス

政府又ハ貴族院提出ノ議案ナルト議員提出ノ議案ナルトヲ問ハス議事日程ニハ件名ノ下括弧内ニ其ノ提出者ヲ表示スルモ豫算案、決算及承諾ヲ求ムル議案ハ孰レモ提出者ヲ表示セサルヲ例トス又貴族院ヨリ送付又ハ回付セラレタルモノナルトキハ提出者ノ下ニ其ノ旨ヲ表示ス但シ承諾ヲ求ムル議案ハ(承諾ヲ求ムル件)ト兩院協議會ノ成案ハ(兩院協議會成案)ト又法律案ノ第一讀會ノ續會ノ場合ハ(委員長報告)ト孰レモ件名ノ下ニ之ヲ表示ス

議第二七條

二〇七 議事日程ニハ法律案ノ讀會ヲ表示ス

法律案ヲ議事日程ニ掲載スルトキハ件名及提出者ノ下ニ讀會ヲ表示ス

政府提出法律案ニシテ議院法第二十七條但書ニ依ル要求若ハ單ニ緊急事件トシテ議決セムコトノ要求アリタル場合ハ讀會ヲ議事日程ニ表示シタルコトアリ又之ヲ表示セサルコトアリテ其ノ例區區ナリシカ第十二回(特別)議會(明治三十一年五月二十七日)(速記録六九頁)以來議院法第二十七條但書ニ依リ提出セラレタルモノハ議事日程ニ讀會ヲ表示セス單ニ緊急事件トシテ議決セムコトノ要求アリタルモノハ讀會ヲ表示スルコトナレリ而シテ此等ノ場合ニハ總テ件名ノ下ニ(緊急事件)ト附記スルヲ例トス但シ第四十一回及第五十回議會ニ於テ單ニ緊急事件トシテ要求アリタル

場合議事日程ニ緊急事件ノ附記ヲ爲ササリキ

參看 三一五號、三一七號

議院法第二十七條
第九二條

二〇八 政府ヨリ議院法第二十七條但書及第二十八條但書ニ依リ又ハ單ニ緊急事件トシテ議決セムコトヲ要求シタル法律案ハ成規ノ日時ヲ短縮シテ議

事日程ニ掲載ス

法律案ハ議案配付後少クトモ二日ヲ隔テテ議事日程ニ掲載スルヲ要スルモ政府ヨリ議院法第二十七條但書及第二十八條但書ニ依リ又ハ單ニ緊急事件トシテ議決セムコトノ要求アリタルトキハ成規ノ日時ニ拘ラス議事日程ニ掲載スルヲ例トス

第十二回(特別)議會明治三十一年五月二十七日開議劈頭議長(片岡健吉君)ハ政府及本院事務局ト協議ノ上自今政府ヨリ議院法第二十七條但書及第二十八條但書ニ依リ提出セラルルモノハ成規ノ日時ニ拘ラス議事日程ニ掲載シ且議會ノ順序ヲ省略シ特別委員ヲ選舉セサルコトトシ又單ニ緊急事件トシテノ要求アルモノハ唯成規ノ日時ヲ短縮シテ之ヲ議事日程ニ掲載スルニ止マルモノト爲セル旨ヲ宣告シタルニ單ニ緊急事件トシテノ要求アリタル爲成規ノ日時ヲ置カスシテ當日ノ議事

日程ニ掲載シアリタル政府提出地租條例中改正法律案外八件ニ對シ河野廣中君ハ該九件ハ緊急事件トアルモ議院法ニ依ラサルモノナルヲ以テ四十八時間ヲ經サレハ院議ニ付スヘカラストノ動議ヲ提出シ討論ノ後院議河野君提出ノ動議ヲ否決シ議長ノ議事日程掲載ノ方法ヲ是認セリ尙該九件ノ議事ニ入ルニ先チ政府ハ右九件ニ對スル緊急事件ノ要求ヲ取消シタルヲ以テ議長ハ右諸議案ハ翌日ノ議事日程ニ掲載スルコトト爲ス旨ヲ宣告セリ(速記録六九乃至七七頁)

第十二回(特別)議會以後成規ノ日時ヲ短縮シテ議事日程ニ掲載シタル場合ヲ舉クレハ左ノ如シ

(一) 議院法第二十七條但書及第二十八條但書ニ依ル要求アリ成規ノ日時ヲ短縮シテ議事日程ニ掲載シタル場合

第五十五回(特別)議會

大嘗祭齋田ノ土地免租ニ關スル法律案(昭和三年四月二十三日午後四時提出(十四日要求翌二十五日議事日程掲載))

第六十四回議會

昭和八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案(昭和八年三月二十二日午後五時五十分提出二十三日要求翌二十四日議事日程掲載)

第二編 會議

第一章 議事日程

第一節 議事日程ノ掲載

(二〇八)

百六十三

(二) 單ニ緊急事件トシテ議決セムコトノ要求アリ成規ノ日時ヲ短縮シテ議事日程ニ掲載シタル場合

第十八回(特別)議會

鐵道敷設法中改正法律案(明治三十六年五月二十五日提出同)
日要求翌二十六日議事日程掲載

事業公債條例中改正法律案(同上)

第三十四回(臨時)議會

大正三年臨時事件ニ關スル臨時軍事費特別會計法案(大正三年九月四日提出同日)
要求翌五日議事日程掲載

輸入稅率等ノ特例ニ關スル法律案(同上)

戰時海上保險ニ關スル法律案(同上)

第三十七回議會

鐵道敷設法中改正法律案(大正四年十二月二十四日提出同)
日要求翌二十五日議事日程掲載

第五十回議會

衆議院議員選舉法改正法律案(大正十四年二月二十日提出同日)
要求翌二十一日議事日程掲載

【備考】

從來政府若ハ貴族院提出ノ法律案(第一讀會)ヲ議事日程ニ掲載スル場合ハ各案毎ニ其ノ審査ヲ付託スヘキ委員選舉ノ件ヲ

掲ケタルモ第六十五回議會以來ハ政府ヨリ委員ノ審査省略ノ要求アルト否トニ拘ラス議事日程ニハ總テ委員選舉ノ件ヲ表示セサルコトナレリ

參看 三一五號、三一七號

二〇九 政府ヨリ議院法第二十八條但書ニ依リ議決セムコトヲ要求シタル追

加豫算案ハ委員ニ付託セス直ニ議事日程ニ掲載ス

豫算案ハ其ノ提出アリタルトキハ豫算委員ニ付託セラレ其ノ審査ヲ終リタル後會議ニ付スヘキモノナルモ追加豫算案ニシテ議院法第二十八條但書ニ依ル要求アリタルトキハ豫算委員ニ移スコトナクシテ直ニ議事日程ニ掲載スルヲ例トス

然ルニ單ニ緊急事件トシテ議決セムコトノ要求アリタルトキハ議院法第二十八條但書ニ依ル要求アリタル場合ト其ノ取扱ヲ異ニス即チ第二回議會以來政府ヨリ單ニ緊急事件トシテ要求アリタル追加豫算案ハ總計二十一件(提出同時要求九件)ニ及ヒ内一件ハ委員ニ移サスシテ議事日程ニ掲載シ一件ハ議事日程ヲ變更シテ即決議決シタルモ他ノ十九件ハ委員ノ審査ヲ終リ其ノ報告ヲ俟テ議事日程ニ掲載シ若ハ議事日程ヲ變更シテ會議ニ付シタリ

二二〇 豫算案、決算及建議案ハ委員長ヨリ報告書ノ提出アリタル後之ヲ議事日程ニ掲載ス

豫算案、決算及國有財産計算書ハ其ノ提出ノ報告アリタルトキ(衆議院公報發刊以來公報ニ議案ノ提出ヲ掲載セルトキハ報告アリタルモノト看做ス)直ニ委員ニ付託セララルモノナルニ依リ委員會ノ報告ヲ俟テ之ヲ議事日程ニ掲載スルヲ例トス又建議案ハ第六十三回(臨時)議會以來其ノ審査ノ爲常任委員ヲ設クルノ例トナリシヲ以テ是亦委員會ノ報告ヲ俟テ議事日程ニ掲載ス然レトモ追加豫算案ニ對シ議院法第二十八條但書ニ依リ議決セムコトノ要求アルトキハ直ニ議事日程ニ掲載スルヲ例トス而シテ第八回議會ニ於テ明治二十八年三月二十三日初テ明治二十五年度決算ノ議事日程ニ掲載セラレタルトキ小西甚之助君ヨリ決算ハ本院ノ議案トシテ議事日程ニ掲載スヘキモノニ非ストノ動議ヲ提出シタルモ院議之ヲ否決セリ(速記録九一八乃至九二六頁)

參看 二二二號、三二八號、三二九號、四四八號

二二一 豫備金支出ノ件ハ數件アルモ議事日程ニハ一括シ之ヲ一件トシテ掲載ス

憲法第六十四條第二項ニ依リ承諾ヲ求ムル議案即チ第一豫備金支出、第二豫備金支出及豫備金外支出ニ關スル件等ハ同時ニ提出セララルノ例トシ議事日程ニハ一件毎ニ之ヲ掲載スルモ各件ハ同一委員ニ併セ付託セララルヲ例トスルヲ以テ第二十三回議會(明治四十年二月二十六日)以來提出件數十數件ニ及フコトアルモ便宜之ヲ一括シ一件トシテ掲載スルノ例トナレリ
尙委員選舉ノ件ハ第六十五回議會以來政府提出法律案ノ第一讀會ニ於ケルト同様之ヲ掲載セサルコトトナレリ

二二二 建議案ノ議事日程掲載ノ順序ハ各省所管別ニ依リ必スシモ提出ノ順序ニ依ラス

建議案ノ議事日程掲載ノ順序ハ第六十三回(臨時)議會以來建議案審査ノ爲常任委員ヲ設クルノ例トナレルヲ以テ委員會ノ報告ヲ俟テ各省所管別ニ依リ之ヲ議事日程ニ掲載ス

參看 二二〇號

二二一三 請願ハ特別報告アリタル後之ヲ議事日程ニ掲載ス但シ目的ヲ同シク
スル議案ノ提出又ハ議決セラレタルトキハ之ヲ議事日程ニ掲載セス

請願ハ其ノ呈出アリタルトキハ直ニ請願委員ニ付セラレ衆議院規則第六十條ニ依ル特別ノ報告
アリタル後之ヲ議事日程ニ掲載ス然レトモ特別報告ニ係ル請願ト其ノ目的ヲ同シクスル法律案、
建議案提出セラルルトキハ其ノ法律案又ハ建議案ヲ議了スル迄請願ノ議事ヲ延期スル爲議事日程
ニ掲載セス

第二十二回議會(明治三十九年三月十九日)(速記録三五頁)以來ハ請願特別報告ニシテ既ニ議決セラ
レタル法律案、建議案ト其ノ目的ヲ同シクスルモノナルトキハ當然議決ヲ要セサルモノトセラレ
議案議決ノ結果ニ依リ採擇若ハ不採擇ト看做サルヲ以テ之ヲ議事日程ニ掲載スルコトナシ
尙會期終了日ノ議事日程ニハ未決ノ議案ト目的ヲ同シクスル特別報告ニ係ル請願アルモ總テ之ヲ
掲載ス而シテ他ノ議案議決セラレタルトキハ其ノ請願ハ採擇又ハ不採擇ト看做サレ議長ハ議事日
程ヨリ削除スル旨宣告スルヲ例トス

參看 五〇〇號、五〇二號

二二四 特別報告ニ係ル請願ハ議事日程中別ニ番號ヲ附ス

請願特別報告ヲ議事日程ニ掲載スル場合ハ他ノ議案ト通シテ順次番號ヲ附シタリシモ議案多數ニ
上リ種々ノ不便ヲ免レサルヲ以テ第五十二回議會昭和二年三月二十四日ノ本會議ニ於テ議長(粕
谷義三君)ハ事務上竝印刷上ノ都合アルニ依リ將來請願特別報告ハ議事日程中別ニ番號ヲ附スル
コトト爲ス旨ヲ告ケ(速記録八五二頁)翌二十五日ヨリ請願特別報告ハ議事日程ノ末尾ニ別ニ番號ヲ起
シテ掲載シ爾來此ノ例ニ依ル

二二五 特別報告ニ係ル請願ノミヲ以テ議事日程ヲ作成ス

會議ニ付スヘキ議案ナキ爲單ニ請願ノミヲ以テ議事日程ヲ作成セルコトアリ即チ第三十四回(臨
時)議會大正三年九月九日ハ第一(請願特別報告第二號)軍人恩給法改正ノ請願外一件、第二(請願
特別報告第三號)棉花爲替取組ニ關スル請願ヲ以テ議事日程ヲ作成セリ(速記録二五頁)

二二六 質問ハ議案ト區別シ議事日程ノ首位ニ掲載ス

第二十六回議會明治四十三年二月五日各派協議會ニ於テ質問ハ毎火曜日ノ議事日程ノ首位ニ置キ其ノ件名及提出者ヲ表示シ別ニ番號ヲ附スルコトニ決定シ同月八日ノ議事日程ヨリ之ヲ實施セリ爾來質問ハ議事日程ノ首位ニ掲載スルヲ例トス然レトモ第五十二回議會昭和二年三月二十五日(會期終了日)ノ議事日程ハ法律案、決議案、請願等六百九十九件ノ多キニ上リタル爲當日ノ議事日程ニハ質問ヲ末尾ニ掲載シ(速記録八七八頁)爾來會期終了日ノ議事日程ハ此ノ例ニ依ル

二二七 質問ハ議案ノ都合ニ依リ質問日ニ非サルモ特ニ議事日程ニ掲載シ又

質問日ト雖之ヲ掲載セス

質問ハ火曜日ノ議事日程ニ之ヲ掲載スルヲ例トスルモ會議ニ付スヘキ議案ノ都合ニ依リ議長必要ト認ムルトキハ質問日ニ非サルモ特ニ之ヲ掲載シ(第二十七回議會明治四十四年二月九日木曜日、第三十回議會大正三年三月八日土曜日)又質問日ト雖之ヲ掲載セサルコト尠カラス國務大臣ノ演說ニ對スル質疑繼續中ハ質問日ト雖質問ヲ掲載セサルヲ例トス尙此ノ場合ヲ除キ質問日ニ質問ヲ掲載セス若ハ質問日ニ非スシテ質問ヲ掲載スルトキハ議長ハ之ヲ當日ノ議場ニ於テ

告クルヲ例トス

參看 五一二號

二二八 質問ノミヲ以テ議事日程ヲ作成ス

質問主意書ノ提出多數アリタル爲院議ニ付スヘキ議案アルモ便宜質問日ニ質問ノミヲ以テ議事日程ヲ作成セルコトアリ即チ第三十一回議會(大正三年二月三日火曜日)ニ於テ議員提出議案六件アリシモ其ノ議事日程ハ質問十六件ノミヲ以テ作成セリ

二二九 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ヲ議事日程ニ掲載ス

第三十五回議會(大正三年十二月八日)ニ於テ國務大臣ノ演說ニ對シ多數ノ質疑通告アリ議長(奥繁三郎君)ハ國務大臣ノ演說後通告ノ順序ニ依リ逐次質疑ヲ許可セルモ容易ニ終了ニ至ラス中村啓次郎君ノ動議ニ依リ翌九日開會シテ之ヲ繼續スルコトトナリ九日ノ議事日程ノ首位ニ「國務大臣ノ演說ニ對スル質疑(前會ノ續)」トシテ之ヲ掲載セリ然ルニ同日仍終了セス同君ノ動議ニ依リ

更ニ十日ノ議事日程ノ首位ニ掲載シ殘餘ノ質疑ヲ繼續セリ爾來質疑ヲ次會ニ繼續スルトキハ此ノ例ニ依ル但シ質疑數日ニ涉ルトキハ動議ニ依リ議事日程ノ末尾ニ掲載セルコトアリ

二三〇 政府ノ同意ヲ得テ政府提出議案ニ先チ議員提出議案ヲ議事日程ニ掲載ス

議員提出議案ニシテ政府提出議案ニ先チ院議ニ付スルノ必要アルカ又ハ政府提出議案ト同種若ハ關聯セル爲同時ニ院議ニ付スルノ必要アルトキハ議長ハ議院法第二十六條但書ニ依リ豫メ政府ノ同意ヲ得テ政府提出議案ニ先チ議員提出議案ヲ議事日程ノ首位又ハ政府提出議案ノ中間ニ掲載ス
參看 二一六號、五九七號

二二二 會期三分ノ二ヲ經過セルトキハ法律案ハ成規ノ日時ヲ經サルモ之ヲ議事日程ニ掲載ス

法律案ヲ議事日程ニ掲載スルニハ議案配付後少クトモ二日ヲ隔ツルヲ要シ會期切迫等ノ場合ニハ

豫メ院議ヲ經テ成規ノ日時ヲ短縮スルヲ例トシタルモ第二十七回議會以來會期三分ノ二ヲ經過スルトキハ議長ニ於テ當然取計ヒ得ルコトナレリ

第二十七回議會 明治四十四年二月二十八日散會ニ先チ議長(長谷場純孝君)ハ將來會期三分ノ

二ヲ經過スルトキハ院議ニ諮フコトナク議長ニ於テ成規ノ日時ヲ短縮シテ法律案ヲ上程シ得ルコトト爲スニ異議ナキヤヲ諮ヒ院議異議ナカリキ(速記録三〇六頁)

參看 四三七號

二二三 臨時議會及特別議會ニ於テハ法律案ハ豫メ院議ニ諮ヒ成規ノ日時ヲ經サルモ之ヲ議事日程ニ掲載ス

臨時議會ノ會期ハ三日乃至十四日、特別議會ノ會期ハ第三回(特別)議會及第十三回(特別)議會ヲ除キテハ十四日乃至二十八日ノ短期間ナリシヲ以テ第三十四回(臨時)議會及第三十九回(特別)議會迄ハ孰レモ院議ニ諮フコトナク成規ノ日時ヲ短縮シテ法律案ヲ議事日程ニ掲載セルモ第四十三回(特別)議會及第四十七回(臨時)議會以來ハ孰レモ會期ノ始ニ於テ法律案ノ上程ハ成規ノ日時ヲ要セサルモノト議決スルヲ例トス

二二三 議案ノ表題修正セラルルモ議事日程ニハ原表題ヲ掲載ス
貴族院ニ於テ表題ヲ修正シテ送付若ハ回付セラレタルトキ之ヲ議事日程ニ掲載スルニハ修正ノ表題ヲ用ヒス原案ノ表題ヲ議事日程ニ掲載ス尙委員會ニ於テ議案ノ表題ヲ修正シテ報告シタルトキ原案ノ表題ヲ用フルハ勿論ナリ

二三四 議事日程ニハ委員付託中ノ議案ト内容同一ノモノト雖之ヲ掲載ス
議員提出ノ議案ニシテ委員ニ付託セラレタル議案ト内容同一ノモノナルトキハ議事日程ニ掲載セス直ニ之ヲ同一委員ノ審査ニ付スルノ例ナリシモ第十回議會以來ハ提出者ノ政府若ハ貴族院タルト議員タルトヲ問ハス之ヲ議事日程ニ掲載シ然ル後同一ノ委員ニ併セ付託スルノ例トナレリ

參看 三二二號

二二五 貴族院ニ於テ審査中ノ議案ト同種ノモノト雖内容ニ於テ多少異ナルトキハ之ヲ同一事件ト認メス議事日程ニ掲載ス

兩院ノ議決ヲ要スル議案ニシテ既ニ貴族院ニ於テ會議ニ付セラレタル議案ト同一事件ハ之ヲ議事日程ニ掲載スルコトヲ得サルモノナルモ貴族院ニ於テ審査中ノ議案ト内容ニ於テ多少異ナル議案ナルトキ之ヲ同一事件ト認メス議事日程ニ掲載シタルコトアリ

第二十六回議會 明治四十三年三月十日稻茂登三郎君外十七名提出東京市制案ヲ議事日程ニ掲載シ議長(長谷場純孝君)ハ議事日程第十三ノ東京市制案ハ之ト形式ヲ異ニスル東京都制案カ既ニ貴族院ニ於テ委員ノ審査中ニ屬シ兩案ヲ同一事件ト認ムレハ衆議院規則第八十四條(改正第八十六條)ニ依リ議事日程ヨリ削除セサルヘカラス依テ兩案ハ之ヲ同一事件ト認ムルヤ否ニ付院議ニ諸ヒタルニ伊藤大八君ヨリ表題ヲ異ニシ且内容相異ナル點アルニ依リ同一事件ニ非サルヲ以テ之ヲ會議ニ付スヘシトノ動議出テ院議異議ナカリシヲ以テ之ヲ議題ト爲セリ(速記録三四二頁)

二二二六 提出者又ハ委員長ノ申出アルトキハ議案ヲ議事日程ニ掲載スルコトヲ延期シ又ハ議事日程ヨリ之ヲ削除ス

議案ノ提出者ヨリ議事日程ニ議案掲載ノ延期ヲ申出テタルトキ又ハ委員長ヨリ報告ノ延期ヲ申出テタルトキハ議長ハ之ヲ許可シ議事日程ノ掲載ヲ延期スルヲ例トス
又議事日程ニ掲載セラレタル議案ニ對シ提出者又ハ委員長ヨリ延期ノ申出アリタルトキハ議長ハ議事日程ヨリ之ヲ削除スル旨宣告スルヲ例トス

參看 三六七號

二二二七 委員會ニ於テ議決不要又ハ否決スヘキモノト議決セラレタル議員提出議案ハ議事日程ニ掲載セス

委員會ニ於テ議決ヲ要セサルモノト議決シ又ハ否決スヘキモノト議決シタル議員提出議案ハ特ニ委員長ヨリ要求アルモノノ外議事日程ニ掲載セサルヲ例トス

參看 四二五號

二二二八 勅語ニ對スル奉答、天機伺、慶賀、弔慰、請假、辭職、委員ノ辭任其ノ補闕及兩院協議委員選舉等ノ件ハ議事日程ニ掲載セサルヲ例トス

勅語ニ對スル奉答、天機伺、慶賀、弔慰、請假、辭職、委員ノ辭任其ノ補闕及兩院協議委員選舉等ノ件ハ議事日程ニ掲載セサルヲ例トス而シテ是等ノ件ハ多クハ議事日程ニ入ルニ先チ之ヲ院議ニ諮フモ時ニ議事日程ニ入リタル後院議ニ諮フコトアリ執レノ場合ト雖議事日程ノ變更ヲ要セス然レトモ慶賀弔慰ニ關スル件ニシテ上奏案、決議案トシテ提出セラレタルモノハ固ヨリ他ノ議案ト同様ノ原則ニ從フヘキモノトス

尙右件ニシテ之ヲ議事日程ニ掲載シタルハ第一回議會明治二十四年二月二十七日中江篤介君辭職ノ件(速記録八四七頁)、第二十五回議會明治四十二年二月二十三日田坂初太郎君辭職ノ件(速記録一八五頁)、第二十七回議會明治四十四年三月二十日政府提出商法中改正法律案外一件兩院協議委員選舉ノ件(速記録五六七頁)、第四十八回議會大正十三年一月二十二日皇太子殿下御結婚ニ付賀表及賀牋捧呈ノ件(議長發議)(速記録一三頁)、第五十回議會大正十四年三月二十七日政府提出議院法中改正法律案兩院協議委員選舉ノ件(速記録九三二頁)アリタルノミ

參看 一〇二號、一〇八號、二三五號

二二九 議事日程ニ議案ノ會議開始時刻ヲ指定ス

法律案ヲ議事日程ニ掲載スルニハ成規ノ日時ヲ要スルニ依リ議長ニ於テ必要ト認ムル場合ハ其ノ日時到達ノ時ヲ以テ其ノ議案ノ會議開始ノ時刻ト爲スコトヲ得即チ第一讀會ヲ午後四時ニ終リタルトキ第二讀會ハ翌々日ノ午後四時開始ト指定シタルコトアリ此ノ會議開始ノ時刻ハ之ヲ議事日程ニ表示ス

議案ノ會議開始時刻ヲ指定シタルハ第三回(特別)議會明治二十五年六月四日(速記録三九七頁)一件、第二十二回議會明治三十九年三月六日(速記録一七三頁)三件アリ

參看 四三二號

二三〇 議事日程ハ作成毎ニ順次號數ヲ附ス

議事日程ハ作成毎ニ順次號數ヲ附スルヲ以テ其ノ配付後若ハ會議前停會ヲ命セラレ又ハ議事日程ニ入ルニ先チ休會若ハ散會ヲ爲スニ決シタルトキト雖次會ノ議事日程ハ其ノ號數ヲ新ニス

第二節 議事日程ノ追加

二三一 議事日程ノ追加ハ院議ヲ經ルヲ要ス

議事日程ヲ議了シ更ニ他ノ事件ヲ追加セムトスル場合ハ議長ノ發議若ハ議員ノ動議ニ依リ院議ニ諮ヒ之ヲ決ス而シテ當日ノ議事日程ヲ議了スルトキハ議長ハ散會ヲ宣告スヘキモノナルモ諮問又ハ諸般ノ報告アルトキハ之ヲ爲シタル後散會ヲ宣告スルヲ例トス

參看 三七〇號

二三二 停會後ノ議事日程ニ他ノ件ヲ追加スルコトヲ得

停會後會議ヲ開ク場合ハ議院法第三十三條ニ依リ前會ノ議事ヲ繼續スヘキモノナルニ依リ停會後ノ議事日程ニハ繼續スヘキ議案アルトキハ之ヲ掲載スヘキハ勿論ナルモ他ノ件ヲ追加掲載スルコトヲ妨ケス即チ第四回、第九回及第十二回(特別)議會ニ各一件、第十五回議會(第二次停會ノ場合)ニ五件、第十七回議會ニ一件、第十八回(特別)議會ニ十四件、第三十回(第二次停會ノ場合)及第五十二回議會ニ各一件ヲ追加シタル事例アリ

二三三 休會後ノ議事日程ニ他ノ件ヲ追加シ又ハ前會未了ノ件ヲ掲載セサル
コトヲ得

議事日程ヲ議了セスシテ休會シタル後會議ヲ開ク場合ハ何等ノ明文ナキニ依リ議長必要ト認ムル
所ニ依リ前會ニ於ケル殘餘ノ議事日程ノ全部若ハ一部ヲ掲載セス又ハ新ニ他ノ件ヲ追加スル等任
意ニ之ヲ作成スルコトヲ得即チ第四回議會(明治二十六年二月十三日)ニ於テハ二件ヲ加ヘ二件ヲ
除ケリ爾來之ヲ例トス

第三節 議事日程ノ報告

二三四 次會ノ議事日程ノ報告ヲ省略シ衆議院公報ヲ以テ之ヲ報告ス

次會ノ議事日程ハ會議ノ終ニ於テ議院ニ之ヲ報告スヘキモノナルモ衆議院公報發刊以來議事日程
ハ必ス之ニ掲載スルヲ以テ議長ハ散會ノ際次會ノ議事日程ハ衆議院公報ヲ以テ報告スル旨ヲ告ケ
議場ニ於ケル報告ヲ省略スルヲ例トス

又院議ヲ以テ休會スルノ外議案ノ都合ニ依リ議長議事日程ヲ定メサルトキハ自然休會トス此ノ場

衆第八〇條

合ニ於テハ前會ノ散會ニ際シ議長之ヲ宣告スルト否トニ拘ラス衆議院公報ニ其ノ旨ヲ掲載スルヲ
例トス

第二章 議事通則

第一節 開議

二三五 開院式當日ヨリ會議ヲ開ク

第一回議會以來開院式當日開院式勅語ニ對スル奉答文案ノ會議ヲ開クヲ例トス尙奉答文案ノ會議ニ引續キ第二十回(臨時)、第五十三回(臨時)及第六十一回(臨時)議會ニ於テハ全院委員長及常任委員ノ選舉ヲ行ヒ、第四十八回議會ニ於テハ 天機竝皇后陛下 攝政殿下ノ御機嫌奉伺ノ件ヲ議決シ、第五十二回議會ニ於テハ奉悼上奏書奉呈ノ件ヲ議決シ、第六十五回議會ニ於テハ 皇太子殿下御誕生ニ付賀表奉呈ノ件ヲ議決セリ

參看 二五六號

二三六 全院委員長及常任委員選舉當日他ノ議事ヲ開ク

全院委員長ノ選舉ハ常任委員ノ選舉ト共ニ之ヲ議事日程ニ掲載シ當日ノ會議ハ此ノ議事日程ヲ終

了シテ散會スルヲ例トスルモ左ノ場合ニ於テハ緊急ヲ要スル爲若ハ儀禮ニ關スル等ノ事由ニ依リ
 全院委員長及常任委員ノ選舉ニ先チ又ハ選舉終了後他ノ議事ヲ開ケリ

(一) 選舉ニ先チ他ノ議事ヲ開キタル場合

第二回議會 明治二十四年十一月二十七日山田東次君提出衆議院規則改正案ヲ院議ニ付シ之ヲ
 可決シ次テ選舉ニ入レリ(速記録二、二頁)

第五回議會 明治二十六年十一月二十九日議員松澤光憲君辭職ノ件ヲ議決シ次テ安部并磐根君
 提出ノ議長信任ニ關スル緊急動議ヲ可決シ全院委員長及常任委員ノ選舉ハ之ヲ延期セリ(速記
 錄三乃至一頁)

第九回議會 明治二十八年十二月二十九日田中正造君外六名ヨリ陸軍軍用品買入及軍夫雇入
 ニ關シ經理部ニ對スル質問ヲ提出シ田中君ハ政府ニ其ノ答辯ヲ促ス旨ヲ述ヘ次テ選舉ニ入レ
 リ(速記録三頁)

第十一回議會 明治三十年十二月二十五日鈴木重遠君外二十七名提出内閣不信任決議案ノ會議
 中解散ノ詔書傳達セラレタリ(速記録三頁)

第十七回議會 明治三十五年十二月十日松田正久君外一名提出衆議院規則中改正案ヲ院議ニ付

シ之ヲ可決シ次テ選舉ニ入レリ(速記録四頁)

第二十一回議會 明治三十七年十二月一日大石正巳君外九名提出衆議院規則中改正案ヲ院議ニ

付シ委員ニ付託シ次テ選舉ニ入レリ(速記録五、六頁)

第二十六回議會 明治四十二年十二月二十五日鳩山和夫君外八名提出投票ニ關スル規則案ヲ可

決シ次テ選舉ニ入レリ(速記録五、六頁)

第三十七回議會 大正四年十二月二日野添宗三君ノ定足數ニ關スル議事進行ノ發言ヲ許可シ次

テ廣岡宇一郎君提出島田議長ノ處置ヲ不當ト認ムル動議ヲ院議ニ付シ之ヲ否決シタル後選舉
 ニ入レリ(速記録七乃至一〇頁)

第四十七回(臨時)議會 大正十二年十二月十二日議長(粕谷義三君)發議關東地方震火災ニ付
 天機竝御機嫌奉伺ノ件ヲ可決シ次テ床次竹二郎君外五名提出決議案(震災遭難者ニ對スル件)
 及同上提出決議案(震災ニ關スル列國ノ同情ニ對シ感謝ノ件)ヲ可決シタル後選舉ニ入レリ
 (速記録五乃至七頁)

第五十回議會 大正十三年十二月二十七日午前十時ヨリ選舉ヲ行フ豫定ナリシモ副議長病氣ニ
 付議長(粕谷義三君)ハ一度開議ノ後開院式勅語奉答書奉呈ノ爲暫時休憩ヲ宣告シ午後一時二
 十九分再開奉呈ノ願末ヲ報告シタル際作間耕逸君ノ動議ニ依リ再度休憩ヲ爲シ(此ノ間貴族

院改革促進決議案提出ノ議アリ(午後六時五十二分三度會議ヲ開キ中村啓次郎君及伊坂秀五郎君ノ休憩ニ關スル議事進行ノ發言ヲ許可シ次テ選舉ニ入レリ(速記録三、四頁))

第六十回議會 昭和六年十二月二十七日議長(中村啓次郎君)開院式勅語奉答書奉呈ノ爲午前十時參内セルヲ以テ其ノ歸院ヲ待チ(從來副議長議長席ニ著キ開議シ議長歸院ノ後副議長ト交替シテ奉呈ノ願末ヲ報告スルヲ例トセルモ當日ハ豫メ各派ノ諒解ヲ求メタリ)午前十時三十分會議ヲ開キ奉呈願末報告ノ後小山松壽君外四十二名提出陸海軍將士ニ對スル感謝決議案ヲ議決シ之ニ對シ大角海軍大臣及荒木陸軍大臣謝辭ヲ述ヘタル後選舉ニ入レリ(速記録五頁)

第六十一回(臨時)議會 昭和七年三月二十日開院式勅語奉答文案議決後東武君外三十九名提出陸海軍將兵ニ對スル感謝決議案ヲ議決シ休憩後更ニ工藤鐵男君ノ正副議長ノ黨籍離脱ニ關スル議事進行ノ發言ヲ許可シ議長(秋田清君)及副議長(植原悅二郎君)ハ答辯ヲ爲シ次テ選舉ニ入レリ(速記録一乃至六頁)

(二) 全院委員長選舉ヲ終リ常任委員ノ選舉ニ入ルニ先チ他ノ議事ヲ開キタル場合

第六十二回(臨時)議會 昭和七年六月二日議事日程第一全院委員長ノ選舉ヲ終リタル際副議長(植原悅二郎君)ハ白川上海派遣軍司令官薨去ニ對スル哀悼ノ辭ヲ述ヘ次テ弔詞贈呈ノ件ヲ發

議シ之ヲ議了シタル後議事日程第二常任委員ノ選舉ニ入レリ(速記録五頁)

第六十三回(臨時)議會 昭和七年八月二十四日議事日程第一全院委員長ノ選舉ヲ終リタル際副議長(植原悅二郎君)ハ今期議會ニ於テハ衆議院規則第四十四條ニ依リ建議案審査ノ爲常任委員ヲ設ケ其ノ數ハ四十五人トスルニ異議ナキヤヲ諮ヒ院議異議ナク之ニ決シ次テ議事日程第二常任委員ノ選舉ニ於テ建議委員四十五人ヲ各部ヨリ選舉セリ(速記録七頁)
爾來此ノ例ニ依ル

(三) 選舉ノ後他ノ議事ヲ開キタル場合

第五回議會 明治二十六年十二月一日和田彦次郎君外三名提出上奏案(議長不信任ノ件)ヲ可決セリ(速記録二乃至三〇頁)

第十回議會 明治二十九年十二月二十六日緊急事件トシテ要求セラレタル法典施行延期ニ關スル法律案及明治二十九年年度歳入歳出總豫算追加案(國葬費)ヲ議決セリ(速記録三、四頁)
第四十回議會 大正六年十二月二十八日元田肇君外十二名提出決議案(地中海派遣艦隊ノ勤勞ニ關スル件)ヲ議決セリ(速記録八頁)

第四十五回議會 大正十年十二月二十七日大岡育造君外五名提出衆議院規則中改正案ヲ議決セ

リ(速記録七乃至九頁)

第四十六回議會 大正十一年十二月二十八日尾崎行雄君提出決議案(議長ノ處決ヲ促ス件)ヲ否決セリ(速記録七乃至一七頁)

第五十回議會 大正十三年十二月二十七日松田源治君提出内閣總理大臣ノ出席要求ノ動議ヲ否決シ次テ山本悌二郎君提出貴族院制度改革ニ關スル緊急質問ヲ許可セリ(速記録七乃至九頁)

第五十四回議會 昭和二年十二月二十七日緊急事件トシテ要求セラレタル(第一號)昭和二年度歳入歳出總豫算追加案(大禮費)ヲ議決シ次テ多木久米次郎君ノ豫算案提出ニ關スル議事進行ノ發言ヲ許可セリ(速記録七、八頁)

第五十五回(特別)議會 昭和三年四月二十四日則元由庸君提出議員武藤金吉君逝去ニ付院議ヲ以テ弔詞ヲ贈呈シ尙弔詞ハ之ヲ議長ニ一任スヘシトノ動議ヲ可決セリ(速記録八頁)

參看 一三一號

二三七 會議ハ火曜日、木曜日、土曜日ニ開クヲ例トス但シ必要ノ場合又ハ會期三分ノ二ヲ經過セルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十五回議會ヨリ每會期ノ始ニ於テ會議日ヲ議決シ本會議ハ火曜日、木曜日、土曜日ト爲スヲ例トシ會期切迫其ノ他特殊ノ事情ニ依リ必要ノ場合院議ニ依リ若ハ議長必要ト認メ定日以外ノ日ト雖本會議ヲ開キタルコトアリシカ第二十七回議會明治四十四年二月二十八日議長(長谷場純孝君)ハ院議ニ諮ヒ特ニ會期三分ノ二ヲ經過セルトキハ本會議日以外ノ日ト雖本會議ヲ開キ得ルコト並將來此ノ例ニ依ル旨ヲ宣告シ(速記録三〇六頁)爾來會期三分ノ二ヲ經過セルトキハ議長ニ於テ任意定日以外ト雖本會議ヲ開キ得ルコトナレリ而シテ第三十七回議會以來會期ノ始ニ於テ會議日ヲ議決セラル際緊急ノ場合若ハ議長必要ト認ムル場合ハ定日以外ノ日ト雖本會議ヲ開キ得ル旨ヲ議決スルヲ例トス

特別議會ニ於テハ第三十六回議會以來會期ノ始ニ於テ會議日ヲ定メ且議長必要ト認ムルトキハ任意開會シ得ルコトノ議決ヲ爲スハ通常議會ノ場合ト異ルコトナシ
臨時議會ハ會期短キヲ以テ第二十回議會以來會期ノ始ニ於テ會議日ヲ定メス隨時開會シ得ルコトヲ議決スルヲ例トス

參看 一五七號

二三八 年末年始休會後ハ第一會議日ヨリ開會スルヲ例トス
年末年始ノ休會明ノ當日會議日ニ當ラサルトキハ會議ノ定日ヲ以テ本會議ヲ開クヲ例トス但シ第
二十一回議會ニ於テハ政府及議員提出ノ議案多數アリタルモ休會後第一ノ會議日ニ開會セス次ノ
會議日ニ本會議ヲ開ケリ

二三九 日曜日及祝祭日ニハ會議ヲ開カサルヲ例トス

日曜日及祝祭日ニハ會議ヲ開カサルヲ例トス而シテ特殊ノ事情アル場合豫メ院議ニ諮ヒ又ハ議長
必要ト認メ開會シタルコトアリ第五十六回議會昭和四年二月十日日曜日ニ開會シ開議劈頭議長(元
田肇君)ハ前日重要法案議了セサル爲特ニ本日會議ヲ開キタル旨ヲ宣告スルヤ紫安新九郎君ハ日
曜日ナルニ付本會議ヲ開クヘカラストノ動議ヲ提出シ院議該動議ヲ否決セリ(速記録二七七、二七八頁)
超エテ十二日松田源治君ハ議長ニ對シ日曜日ニ本會議ヲ開キタルモ之ハ將來ノ先例トセサル意思
ナリヤヲ質シタルニ議長ハ先例トセサル旨言明セリ(速記録二九三頁)

(一) 豫メ院議ヲ經テ開會シタル場合

- 第七回(臨時)議會 明治二十七年十月二十一日(日曜日)議事ノ都合ノ爲
- 第九回議會 明治二十八年十二月二十九日(日曜日)年末ニ際シ全院委員長及常任委員選舉ノ爲
- 第十六回議會 明治三十五年三月九日(日曜日)會期終了日ノ爲
- 第四十七回(臨時)議會 大正十二年十二月二十三日(日曜日)會期終了日ノ爲
- 第五十八回(特別)議會 昭和五年四月二十七日(日曜日)前日觀櫻會ニテ會議ヲ開ク能ハサリシ
爲

(二) 議長必要ト認メ開會シタル場合

- 第十五回議會 明治三十四年三月二十一日(春季皇靈祭)會期切迫ノ爲
- 同 明治三十四年三月二十四日(日曜日)會期終了日ノ爲
- 第十七回議會 明治三十五年十二月二十八日(日曜日)停會明ケニシテ且年末ノ爲
- 第十八回(特別)議會 明治三十六年五月三十一日(日曜日)會期切迫ノ爲
- 第三十四回(臨時)議會 大正三年九月六日(日曜日)會期終了日ノ爲但シ此ノ日三日間會期ヲ延
長セラル
- 第三十七回議會 大正四年十二月二十六日(日曜日)年末ノ爲

- 同 大正五年二月二十六日(日曜日)會期切迫ノ爲
- 第四十一回議會 大正八年三月二十一日(春季皇靈祭)會期切迫ノ爲
- 第五十回議會 大正十四年三月二十九日(日曜日)會期切迫ノ爲
- 第五十三回(臨時)議會 昭和二年五月八日(日曜日)會期終了日ノ爲
- 第五十五回(特別)議會 昭和三年五月六日(日曜日)會期終了日ノ爲
- 第五十六回議會 昭和四年二月十日(日曜日)前日重要議案議了ニ至ラサル爲
- 同 昭和四年三月二十一日(春季皇靈祭)會期切迫ノ爲
- 第六十回議會 昭和六年十二月二十七日(日曜日)年末ノ爲
- 第六十三回(臨時)議會 昭和七年九月四日(日曜日)會期終了日ノ爲
- 第六十五回議會 昭和九年三月二十五日(日曜日)會期終了日ノ爲
- 第六十六回(臨時)議會 昭和九年十二月二日(日曜日)國務大臣ノ演說ニ對スル質疑繼續ノ爲
- 同 昭和九年十二月九日(日曜日)會期終了日ノ爲
- 第六十七回議會 昭和十年三月二十四日(日曜日)會期切迫ノ爲

二四〇 停會滿了ノ翌日ハ會議ヲ開クヲ例トス

停會滿了ノ翌日ハ會議ヲ開クヲ例トシ第十五回議會ニ於テ本會議日(火曜日木曜日土曜日)ヲ定メ爾來隔日ニ本會議ヲ開クコトナリ停會滿了ノ翌日本會議日ニ相當セサル場合ト雖仍開會スルヲ例トス然レトモ第十八回(特別)及第五十二回議會ニ於テハ次ノ本會議日ヲ俟テ開會セリ

(一) 停會滿了ノ翌日開會シタル場合

- 第三回(特別)議會 明治二十五年五月二十三日(月曜日)
- 第四回議會 明治二十六年二月七日(火曜日)
- 第五回議會 明治二十六年十二月二十九日(金曜日)
- 第九回議會 明治二十九年二月二十五日(火曜日)
- 第十二回(特別)議會 明治三十一年六月十日(金曜日)
- 第十五回議會 明治三十四年三月九日(土曜日)、明治三十四年三月十四日(木曜日)
- 第三十回議會 大正二年二月五日(火曜日)、大正二年二月十日(月曜日)、大正二年二月十三日(木曜日)
- 第五十一回議會 大正十五年二月一日(月曜日)

第五十五回(特別)議會 昭和三年五月一日(火曜日)(會議前再ヒ停會ヲ命セラレ開會セス)、昭和三年五月四日(金曜日)

(二) 停會滿了ノ翌日日曜日ニ相當シタルモ開會シタル場合

第十七回議會 明治三十五年十二月二十一日(日曜日)(會議前再ヒ停會ヲ命セラレ開會セス)、明治三十五年十二月二十八日(日曜日)

(三) 停會滿了ノ翌日日曜日ニ相當シ次ノ本會議日ニ開會シタル場合

第十八回(特別)議會 明治三十六年五月二十六日(火曜日)

第五十二回議會 昭和二年一月二十五日(火曜日)

【備考】

第三十一回議會ハ停會滿了ノ日會期終了日(大正三年三月二十五日)ニ當リ其ノ翌日閉院式ヲ舉行セラレタリ

參看 二二七號、二二九號

二四一 休會中特ニ會議ヲ開ク

年末年始ノ休會ノ議決ニ際シ議長必要ト認ムル場合ハ休會中ト雖モ隨時開會シ得ルノ條件ヲ附スルヲ例トシ其ノ他ノ事由ニ依テ休會ヲ議決スル場合ニ於テモ此ノ條件ヲ附シタルコトナシトセス而シテ議長必要ト認メ休會中特ニ開會シタル場合左ノ如シ

第四回議會 明治二十六年二月十日(隨時開會ノ條件ヲ附シテ同月七日ヨリ二十五日迄休會中)

内閣不信任ノ上奏ニ對スル詔勅傳達セラレタル爲議長(星亨君)ハ會議ヲ開ケリ(速記録七七三頁)

第十三回(特別)議會 明治三十二年一月十三日(隨時開會ノ條件ヲ附シテ年末年始ノ休會中)副議長(元田肇君)ハ貞宮多喜子内親王殿下薨去ニ付弔意ヲ表スル爲各派協議會ヲ開キタルニ議

員ノ發議ニ依リ此ノ協議會ヲ以テ直ニ本會議ト爲スコトニ決定セリ(速記録一六七頁)

第二十一回議會 明治三十八年一月六日(隨時開會ノ條件ヲ附シテ年末年始ノ休會中)議長(松田正久君)ハ大岡育造君外十四名提出ニ係ル上奏案(日露事件ニ關スル件)及決議案(旅順攻圍

軍ニ對スル功勞感謝ノ件)ヲ院議ニ付スル爲會議ヲ開ケリ(速記録二二二頁)

參看 二五〇號

二四二 午前十時ヨリ會議ヲ開ク

會議ハ通常午後一時ヨリ之ヲ開クヘキモ開院式勅語奉答案ノ會議ハ開院式終了後直ニ之ヲ開キ其ノ他ノ場合ニ於テモ必要アルトキハ豫メ院議ニ諮ヒ又ハ議長必要ト認メ午前九時若八十時ヨリ開會セルコトアリ

(一) 豫メ院議ヲ經テ開會シタル場合

第一回議會 明治二十四年一月議場燒失ノ爲一月二十九日ヨリ連日舊工部大學校ノ假議場ニ於テ午前十時ヨリ午後四時迄開會

第四回議會 明治二十六年二月二十二日(水曜日)議事ノ都合ニ依リ午前十時開會

第七回(臨時)議會 明治二十七年十月十九日(金曜日)全院委員長及常任委員選舉ノ爲、十月二

十一日(日曜日)議案ノ都合ニ依リ孰レモ午前九時開會

第十回議會 明治二十九年十二月二十六日(土曜日)全院委員長及常任委員選舉ノ爲午前九時開會

(二) 議長必要ト認メ開會シタル場合

第四回議會 明治二十六年二月二十五日(土曜日)會期切迫ノ爲午前十時開會

第十五回議會 明治三十四年二月二日(土曜日)決議案(大不列顛國皇帝陛下崩御ニ付哀悼休會

ノ件)ヲ議スル爲午前十時開會

第二十七回議會 明治四十四年三月二十日(月曜日)會期切迫ノ爲午前十時開會

第三十九回(特別)議會 大正六年七月七日(土曜日)議案ノ都合ニ依リ午前十時開會

第四十五回議會 大正十一年二月三日(金曜日)山縣公國葬費議決ノ爲、三月二十四日(金曜日)

會期切迫ノ爲孰レモ午前十時開會

第四十六回議會 大正十二年二月二十七日(土曜日)議長候補者選舉ノ爲午前十時開會

第五十九回議會 昭和六年三月二十日(金曜日)議案ノ都合ニ依リ午前十時開會

每會期ニ於ケル全院委員長及常任委員ノ選舉ハ第二十六回議會ヨリ又會期終了日ハ第十五回議會ヨリ孰レモ午前十時ヨリ開會スルヲ例トス但シ第二十回(臨時)、第二十一回(臨時)、第五十回、第五十九回、第六十一回(臨時)及第六十六回(臨時)議會ノ會期終了日ハ會議ニ付スヘキ議案少カリシヲ以テ午後一時開會セリ

參看 二三五號

二四三 會議ノ開始ハ場合ニ依リ定刻ヨリ遅延ス

會議ノ開始ハ午後一時ヲ以テ定刻トシ議事日程ニ之ヲ掲載スルモ實際ノ開議ハ多少遅延ス尙當日ノ議事ノ順序ニ關シ各派協議會ヲ開催シ定刻ニ至ルモ協議決定セサル等ノ爲著シク開議ノ遅延シタルコトアリ

第五十一回議會 大正十五年三月六日ノ會議ハ午後一時三十九分開始シ(速記録六五四頁)、同月十日ノ會議ハ午後二時七分開始シ直ニ休憩ヲ爲シ午後三時四十三分再開セリ(速記録七二五頁)

第五十九回議會 昭和六年一月二十二日ノ會議ハ午後二時八分開始セリ(速記録七頁)尙同會期中

午後一時三十分乃至二時四十四分ノ間ニ於テ會議ヲ開始シタルコト十回ニ及ヘリ

第六十一回(臨時)議會 昭和七年三月二十四日ノ會議ハ午後二時四十五分開始シ直ニ休憩ヲ爲シ午後三時五十八分再開セリ(速記録五七頁)

第六十二回(臨時)議會 昭和七年六月十日ノ會議ハ午後一時三十六分開始セリ(速記録九九頁)

第六十四回議會 昭和八年三月二十三日ノ會議ハ午後二時三分開始セリ(速記録七二七頁)尙同會期

中午後一時三十二分乃至一時五十八分ノ間ニ於テ會議ヲ開始シタルコト四回アリ

第六十五回議會 昭和九年二月二十日ノ會議ハ午後二時十四分開始セリ(速記録三〇三頁)尙同會期中午後一時三十六分乃至一時四十分ノ間ニ於テ會議ヲ開始シタルコト三回アリ

第六十七回議會 昭和十年三月二十三日ノ會議ハ午後三時開始シ直ニ休憩ヲ爲シ午後三時三十分再開セリ(速記録七三三、七三四頁)

又議事日程ニ會議ノ開始時刻ヲ定刻ヨリ遅延シテ掲載シタルコトアリ

第三十七回議會 大正四年十二月二日大禮觀兵式御舉行ニ付議員陪觀ノ爲議長(島田三郎君)ハ

前日ノ會議散會ニ際シ明二日午後二時開議ノ旨ヲ告ケ當日ノ議事日程ニ掲載セリ(速記録三、五頁)

同 大正四年十二月九日 天皇陛下上野公園東京市奉祝會へ行幸仰出サレ議員奉祝會ニ參列ノ爲午後二時三十分開議ノ旨(八日各派協議會ノ決議ニ依ル)議事日程ニ掲載セリ(速記録四五頁)

第二節 休憩、延會及散會

二四四 議長必要ト認ムルトキハ休憩ヲ宣告ス

部長理事互選、常任委員ノ選舉及開院式勅語奉答文起草ノ場合ハ議長ヨリ一時休憩ヲ宣告スルヲ

例トス其ノ他委員會ノ審査報告ヲ待ツ爲或ハ出席議員定數ヲ缺クノ虞アルニ依リ或ハ議場騷擾ノ爲其ノ他議事ノ都合ニ依リ議長ノ職權ヲ以テ休憩ヲ宣告セルコト尠カラス
休憩ノ宣告ハ議員ノ發言中ト雖之ヲ爲シタルコトアリ又一日數回若ハ數時間ニ互リ休憩シタルコトアリ

(一) 發言中休憩ヲ宣告シタル例

第四十五回議會 大正十一年三月二十四日決算委員荒川五郎君ノ少數意見ノ報告中(食事ノ爲)
第五十一回議會 大正十五年三月九日小橋藻三衛君ノ議事進行ノ發言中(食事ノ爲)

(二) 一日ニ數回休憩シタル例

第六十四回議會 昭和八年三月二十五日第一回(報告ヲ爲スヘキ委員長不在ノ爲)、第二回(食事ノ爲)、第三回(貴族院ヨリ醫師法中改正法律案兩院協議會成案ノ送付ヲ待ツ爲)
第六十五回議會 昭和九年三月二十五日第一回(食事ノ爲)、第二回(衆議院議員選舉法中改正法律案兩院協議會議長ノ報告ヲ待ツ爲)、第三回(衆議院議員選舉法中改正法律案及治安維持法改正法律案ノ兩院協議會議長ノ報告ヲ待ツ爲)、第四回(治安維持法改正法律案兩院協議會議

長ノ報告ヲ待ツ爲)

(三) 數時間ニ互リ休憩シタル例

第五十回議會 大正十四年三月二十六日政府提出衆議院議員選舉法改正法律案兩院協議會議長ノ報告ヲ待ツ爲約十時間
第五十二回議會 昭和二年三月二十四日大正十四年度決算ノ會議中騷擾ノ爲約四時間
第五十九回議會 昭和六年三月十九日病氣中ノ濱口內閣總理大臣豫算案ノ會議ニ出席方政府ニ交渉スル爲約八時間
第六十三回(臨時)議會 昭和七年九月四日政府提出農村負債整理組合法案外一件ノ兩院協議會議長ノ報告ヲ待ツ爲約十時間
第六十六回(臨時)議會 昭和九年十二月六日豫算委員會ノ報告ヲ待ツ爲約七時間

參看 五四九號

二四五 議事日程議了後尙休憩ヲ爲ス

議事日程ニ掲ケタル議事ヲ終リタルモ曩ニ付託シタル議案ノ委員長報告ヲ待ツ爲又ハ議事日程以外ニ當日特ニ他ノ議事ヲ開クノ必要アル爲議長ノ職權又ハ動議ニ依リ休憩ヲ宣告シタルコトアリ

第七回(臨時)議會 明治二十七年十月二十一日議事日程ヲ議了シタル際議長(楠本正隆君)ハ曩

ニ付託シタル明治二十七年勅令第六十七號(承諾ヲ求ル件)外一件ノ審査終了次第直ニ議題

ニ供スル爲暫時休憩スル旨ヲ宣告セリ(再開後上記議案ヲ議了シ更ニ日清事件ニ關スル上奏案及戰功表彰ノ決議案ヲ議決セリ)(速記録一六頁)

第六十一回(臨時)議會 昭和七年三月二十二日議事日程ヲ議了シタル際原惣兵衛君ヨリ政府提

出滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案外五件ノ委員長報告ヲ待ツ爲暫

時休憩スヘシトノ動議ヲ提出シ院議該動議ヲ可決シ休憩セリ(再開後上記六案)(速記録三八頁)

同 昭和七年三月二十三日議事日程ヲ議了シタル際原惣兵衛君ヨリ直ニ休憩スヘシトノ動議ヲ

提出シ院議該動議ヲ可決シ休憩セリ(再開後小山松壽君外十名提出帝都治安ニ關スル緊急質問ヲ許可セリ)(速記録四七頁)

第六十五回議會 昭和九年三月二十五日議事日程ヲ議了シタル際議長(秋田清君)ハ政府提出衆

議院議員選舉法中改正法律案兩院協議會議長ノ報告ヲ待ツ爲休憩スル旨ヲ宣告セリ(速記録九

二一頁)而シテ未タ兩院協議會議長ヨリ成案ヲ得タルノ報告ナカリシモ會議ヲ開キ議員中橋徳

五郎君薨去ニ付弔詞贈呈ノ件、貴族院回付案一件(不同意)、政府提出貴族院送付案一件(可決)

及議員提出法律案六件(可決)ヲ議決シ更ニ兩院協議會議長ノ報告ヲ待ツ爲休憩セリ(速記録九

二一乃至九二四頁)(休憩後ノ會議ニ於テハ兩院協議會議成案一件ヲ議決シ會期終了ノ時刻切迫ノ爲散會セリ)

二四六 議事日程ノ議事ニ入ラスシテ延會シ又ハ議事日程ヲ延期シテ散會ス

議事日程ノ議事ニ入ルニ先チ動議ニ依リ延會又ハ議事日程ヲ延期シテ散會セルコトアリ又會期ノ

始ニ於ケル國務大臣ノ施政方針演說當日ハ之ニ對スル質疑ヲ爲シ議事日程ニ入ラスシテ延會シタ

ルコト尠カラサリシモ第四十五回議會以來ハ此ノ場合動議ニ依リ議事日程ヲ延期シテ散會スルヲ

例トス

第五回議會 明治二十六年十一月二十九日議事日程(全院委員長及常任委員ノ選舉)ニ先チ安部

并磐根君提出議長不信任ニ關スル緊急動議ヲ可決セル際和田彦次郎君ハ本件ヲ議決セル結果

議長ニ於テモ熟考セラルル所アルヘシ依テ本日ハ是ニテ散會シ度トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ

可決シ延會セリ(速記録一一頁)

第六十六回(臨時)議會 昭和九年十二月四日ノ本會議ハ議事日程ニ質問二件請願十七件ヲ掲載

シタルカ午後一時九分開議宣告後直ニ休憩シ午後六時二十四分再開議長(秋田清君)ハ會期延

長ノ詔書傳達セラレタル旨ヲ告ケ詔書ヲ捧讀ス次テ青木雷三郎君ヨリ本日ハ是ニテ散會スヘシトノ動議提出セラレ院議之ヲ可決シ延會セリ(速記録一二六頁)

第六十七回議會 昭和十年二月十三日ハ昭和十年本豫算案審査期間滿了ノ日ニ當レルヲ以テ特ニ本會議ヲ開キ議事日程ニハ議員提出法律案十七件ヲ掲載シタルカ午後一時九分開議宣告後直ニ休憩シ午後二時五十六分再開青木雷三郎君提出議事日程ヲ延期シテ散會スヘシトノ動議ヲ可決シ散會セリ(速記録二三二頁)

參看 二〇三號、二〇四號

二四七 會期終了ノ時刻切迫セル爲討論中若ハ趣旨辯明中又ハ表決未了ノ儘散會ス

會期ハ終了日ノ夜十二時ヲ限リ終了スルヲ以テ議長ニ於テ會期終了ノ時刻迄ニ議事ヲ議了スルコト能ハスト認メタル場合ハ討論中若ハ趣旨辯明中又ハ表決未了ノ儘散會ヲ宣告ス

第四十五回議會 大正十一年三月二十五日砂田重政君外二名提出小學校教員俸給國庫負擔額增加ニ關スル建議案外三件ノ會議ニ於テ高田耘平君提出ノ修正案ニ對シ岩崎勳君反對意見ヲ述

ヘ起立採決ノ結果否決ト宣告シタルニ對シ異議ノ申立アリタル際議長(奧繁三郎君)ハ記名投票ヲ行フノ時間ナキニ依リ(午後十一時五十一分)此ノ表決ハ未了ノ儘散會スル旨ヲ宣告セリ(速記録九七一頁)

第四十六回議會 大正十二年三月二十六日安達謙藏君外四名提出決議案(軍艦天城建造)ノ會議ニ於テ討論ヲ終リタル際議長(粕谷義三君)ハ最早會期盡キタルニ依リ(午後十一時五十九分)本案ノ議事ヲ中止スル旨ヲ宣告シ慰勞ノ辭ヲ述ヘ散會セリ(速記録一〇三五頁)

第五十一回議會 大正十五年三月二十五日ノ會議ニ於テ志賀和多利君ハ副議長ハ議事進行ニ關シ不公平ノ行動アリト認ム宜敷反省處決スヘシトノ緊急動議ヲ提出シ(速記録一〇九三頁)其ノ趣旨辯明中紫安新九郎君ヨリ志賀和多利君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議提出セラレ議場騷擾ノ爲休憩シ再開後議長(粕谷義三君)ハ休憩前ニ引續キ開會スル旨尙會期終了ノ時刻切迫セルヲ以テ(午後十一時五十八分)散會スル旨ヲ宣告セリ(速記録一〇九四頁)

第五十五回(特別)議會 昭和三年五月六日濱口雄幸君外二十九名提出決議案(内閣不信任)ノ採決ニ際シ議長(元田肇君)ハ井本常作君外三十名ヨリ決議案ノ採決ハ記名投票ヲ以テスヘシトノ要求アリタルモ最早記名投票ヲ爲スノ時間ナキニ依リ(午後十一時四十八分)之ニテ散會スル旨ヲ宣告セリ(速記録一三八頁)

第五十六回議會 昭和四年三月二十五日政府提出北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道等買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案兩院協議會成案ノ採決ニ際シ松田源治君ヨリ成規ノ手續ヲ經テ記名投票ヲ以テ採決スヘシトノ要求アリ議長(川原茂輔君)ハ會期終了時刻切迫シ記名投票ヲ爲スノ時間ナキ爲起立ヲ以テ採決スル旨ヲ宣告シ採決ノ結果起立少數ト宣告シタルニ對シ異議ノ申立アリタルカ議長ハ異議ノ申立アルモ最早記名投票ヲ爲スノ時間ナキヲ以テ(午後十一時五十二分)本案ノ議事ヲ中止スル旨ヲ宣告シ慰勞ノ辭ヲ述ヘ散會セリ(速記録一〇五六頁)

二四八 議長ハ會期終了日ノ散會ニ際シ慰勞ノ辭ヲ述フルヲ例トシ會期中ノ成績ハ之ヲ速記録ニ掲載ス

第一回議會明治二十四年三月七日會期終了日ノ散會ニ際シ議長(中島信行君)ハ議員諸君カ國家ノ爲ニ盡力セラレ且議長ヲ優待セラレタルヲ謝スル旨ヲ述ヘ散會ヲ宣告シ、第四回議會及第八回議會ニ於テハ議長ハ慰勞ノ辭ニ次テ會期中ノ成績ヲ報告セリ爾來議長ハ前例ニ依リ慰勞ノ辭ヲ述ヘ次テ書記官長ヲシテ會期中ノ成績ヲ報告セシムルヲ例トシタルモ第三十一回議會ハ停會中會期終了シタル爲之ヲ報告スルノ機ナク、第四十四回議會ハ午後十時ニ近ク第四十五回議會ハ午後十二

時ニ近ク散會シタル爲執レモ慰勞ノ辭ハ議案ノ成績ト共ニ當日ノ速記録ニ掲載シ、第四十六回議會ハ議案ノ成績ノミ速記録ニ掲載シ、第四十七回(臨時)議會ハ慰勞ノ辭ヲ述ヘタルノミニテ成績ハ當日ノ速記録ニ掲載セリ、第五十回議會ハ大正十四年三月三十日迄會期ヲ延長セラレタルモ當日議スヘキ議案ナキ爲自然休會トナレルヲ以テ議長(粕谷義三君)ハ其ノ前日慰勞ノ辭ヲ述ヘ次テ成績ヲ報告シ、第五十一回議會ハ午後十二時ニ近ク散會シ慰勞ノ辭並議案成績ノ報告ナク速記録ノ掲載ヲモ省略セリ、第五十二回議會ハ假議長森田茂君慰勞ノ辭ヲ述ヘ議案ノ成績ハ速記録ヲ以テ報告スル旨ヲ告ケタリ爾來第五十五回及第五十八回ノ兩特別議會ヲ除キ議長ハ會期終了日ノ散會ニ際シ慰勞ノ辭ヲ述ヘ報告ハ速記録ニ掲載スルノ例トナレリ

四箇年ノ任期ヲ完ウシタル議會ノ會期終了ニ際シテハ議長ハ特ニ任期間ニ於ケル成績ノ概要ヲ舉ケ國家ノ爲慶賀ニ堪ヘサル旨ヲ演說シ年長議員總代トシテ祝辭ヲ述フ即チ第十六回議會ニハ議長片岡健吉君ノ挨拶ニ對シ寺田彦太郎君祝辭ヲ述ヘ、第二十四回議會ニハ議長杉田定一君ノ挨拶ニ對シ大井ト新君祝辭ヲ述ヘ、第二十八回議會ニハ議長大岡育造君ノ挨拶ニ對シ大井ト新君祝辭ヲ述ヘタリ

二四九 會期終了日ニ於ケル兩院ノ散會ハ同時ナルヲ要セス

會期終了日ニ於テ貴族院ニ先チ散會スルトキハ貴族院ヨリ回付案アルトキ之ヲ會議ニ付スルヲ得サルヲ以テ散會ハ兩院同時ナルヲ原則トスルモ實際ニ於テハ回付案ノ有無ハ豫メ推定シ得ルヲ以テ兩院ノ散會ハ必スシモ同時ナラス第一回議會以來貴族院ニ於テ先ニ散會シタルコト三十四回衆議院ニ於テ先ニ散會(少キハ數分多キハ數時間)シタルコト十七回アリ兩院同時ニ散會シタルハ第四十五回議會アルノミ

第三節 休會

二五〇 年末年始ノ爲休會シ其ノ期間ハ院議ヲ以テ之ヲ定ムルヲ例トス

議院ハ年末年始ノ爲休會ヲ爲シ其ノ期間ハ院議ヲ以テ之ヲ定ムルヲ例トシ第十四回議會迄ハ其ノ期間區々ナリシモ第十五回議會以來通常議會ハ十二月二十七日乃至二十九日ヨリ翌年一月二十日迄休會スルノ例トナレリ但シ第五十二回議會ハ兩院打合ノ上休會期間ヲ短縮シ一月十五日迄トセリ而シテ第五十一回議會迄ハ年末年始ノ休會ヲ議決スルニ當リ緊急ノ事件アルトキハ休會中本

會議ヲ開キ得ル旨ノ條件ヲ附シタルコトアリ又之ヲ附セサルコトアリシモ第五十二回議會以來休會ノ件ヲ議決スル際必要ノ場合ハ隨時開會シ得ルノ條件ヲ附スルコトナレリ

參看 二四一號

二五一 年末年始ノ休會期間ハ兩院同一ナルヲ例トス

第一回議會以來貴族院衆議院共年末年始ノ爲休會スルノ慣例ニシテ其ノ期間ハ概ネ同一ナリトス

參看 二五〇號

二五二 祝賀哀弔其ノ他ノ事由ノ爲休會ス

祝賀哀弔其ノ他政府若ハ議長ニ對スル處置ニ關シ又ハ議案ノ都合ニ依リ或ハ議事堂燒失等ノ爲休會シタルコトアリ

(一) 祝賀ノ意ヲ表スル爲休會シタル場合

第二編 會議 第二章 議事通則 第三節 休會 (二四九—二五二)

第四十八回議會 大正十三年一月二十二日 皇太子裕仁親王殿下良子女王殿下ト結婚ノ禮ヲ行ハセラルルニ付御結婚當日(一月二十六日)休會ノ件ヲ議決セリ(速記録一四頁)

第六十五回議會 昭和九年二月二十三日、二十四日、二十六日、及二十七日ノ四日間ニ互リ宮中ニ於テ 皇太子明仁親王殿下御誕生ニ付御祝宴ヲ催サセラレ議長副議長及議員ハ其ノ資格ニ從ヒ指定ノ日ニ參内スルコトトナリタルニ依リ二月二十日及同二十二日ノ各派協議會ノ決議ニ基キ右四日間本會議委員會共ニ休會セリ

(二) 哀弔ノ意ヲ表スル爲休會シタル場合

(イ) 大正天皇斂葬ノ御儀ヲ行ハセラルル際

第五十二回議會 昭和二年一月十九日議長ノ發議ニ依リ二月七日、八日斂葬ノ御儀ヲ行ハセラルルニ付兩日休會ヲ議決セリ(速記録三五頁)

(ロ) 皇太后陛下ノ崩御及皇族王族ノ薨去ノ際

第八回議會 明治二十八年一月二十四日有栖川宮熾仁親王殿下薨去ニ付當日及御葬儀當日(同月二十九日)休會ヲ議決セリ(速記録二四四頁)

第十回議會 明治三十年一月十一日 英照皇太后陛下御病氣御重態ニ付當日(速記録一七頁)、同月十二日日本日ヨリ七日間(崩御ノ爲)(速記録一九頁)及一月二十七日來ル二月二日ヨリ十二日間(御大喪儀ノ爲)休會ヲ議決セリ(速記録六〇頁)

第十三回(特別)議會 明治三十二年一月十三日貞宮多喜子内親王殿下薨去ニ付御葬儀當日(同月十七日)休會ヲ議決セリ(速記録一六七頁)

第四十一回議會 大正八年一月二十五日李太王殿下薨去ニ付當日竝御葬儀當日(三月三日)休會ヲ議決セリ(速記録六二頁)

第四十六回議會 大正十二年二月六日伏見宮貞愛親王殿下薨去ニ付當日竝御葬儀當日(二月十四日)休會ヲ議決セリ(速記録一五七頁)

第五十六回議會 昭和四年一月二十七日久邇宮邦彥王殿下薨去ニ付翌二十八日ノ會議ニ於テ當日竝御葬儀當日(二月三日)休會ヲ議決セリ(速記録一二〇頁)

(ハ) 締盟國皇帝崩御ノ際

第十五回議會 明治三十四年二月二日大不列顛國皇帝ヱクトリア陛下崩御ニ付弔祭式ノ當日(二月二日)休會ヲ議決セリ(速記録三二頁)

(二) 元勳、議長薨去ノ際

第一回議會 明治二十四年二月十九日內大臣公爵三條實美君薨去ニ付當日竝葬儀當日(同月二十五日)休會ヲ議決セリ(速記録七七四頁)
 第三十一回議會 大正三年三月十七日衆議院議長長谷場純孝君薨去ニ付葬儀當日(三月十八日)休會ヲ議決セリ(速記録五六八頁)

【備考】

第四十九回(特別)議會大正十三年七月八日公爵松方正義君ノ國葬儀ハ同日午前中ニ行ハレタル爲會議ハ定期ヨリ開會セリ

(三) 會期終了ニ際シ議案ナキ爲休會シタル場合

第十八回(特別)議會 明治三十六年五月三十一日明一日休會ノ件ヲ議決セリ(速記録一五二頁)
 第二十七回議會 明治四十四年三月二十日來ル二十二日ハ春季皇靈祭ニ付明二十一日ヲ以テ議事ヲ終了スヘキモノト議決シ(速記録五七九頁)二十二日(會期終了日)休會セリ
 第二十九回(臨時)議會 大正元年八月二十四日議長(大岡育造君)ハ明日ハ議案ナキニ依リ休會スル旨ヲ宣告シ(速記録七頁)二十五日(會期終了日)休會セリ
 第三十二回(臨時)議會 大正三年五月六日議長(奥繁三郎君)ハ明日ハ議案ナキニ依リ休會スル旨ヲ宣告シ(速記録三五頁)二十七日、二十八日(會期終了日)ノ兩日休會セリ
 第五十回議會 大正十四年三月二十九日議長(粕谷義三君)ハ明日ハ議案ナキニ依リ休會スル旨ヲ宣告シ(速記録九五七頁)三十日(會期終了日)休會セリ

旨ヲ宣告シ(速記録三五頁)七日(會期終了日)休會セリ

第三十三回(臨時)議會 大正三年六月二十六日議長(奥繁三郎君)ハ明日ハ議案ナキニ依リ休會スル旨ヲ宣告シ(速記録三五頁)二十七日、二十八日(會期終了日)ノ兩日休會セリ

第五十回議會 大正十四年三月二十九日議長(粕谷義三君)ハ明日ハ議案ナキニ依リ休會スル旨ヲ宣告シ(速記録九五七頁)三十日(會期終了日)休會セリ

旨ヲ宣告シ(速記録三五頁)七日(會期終了日)休會セリ

(四) 其ノ他ノ事由ニ依リ休會シタル場合

第一回議會 明治二十四年一月二十日議長(中島信行君)ハ議事堂焼失シタル爲議場ノ設備成ル迄延會スル旨ヲ宣告シ(速記録四六五頁)同月二十八日迄休會セリ

第四回議會 明治二十六年一月十七日豫算修正案ヲ政府ニ送致シ之ニ對スル政府ノ處置ヲ待ツ爲五日間ノ休會ヲ議決セリ(速記録七三二頁)

同 明治二十六年二月七日本院ノ上奏ニ對シ恭敬ヲ表シ且政府ノ處決ヲ爲サシムル爲當日ヨリ十九日間休會ヲ議決セリ(二月十日詔勅降下シタル爲同日開會シ引續キ開會シタルニ依リ實際休會シタルハ三日間ナリキ)(速記録七六四乃至七七二頁)

第五回議會 明治二十六年十一月三十日議長星亨君ノ不信任ヲ議決シタルモ處決セサルニ依リ

本院ハ之ニ處スルノ途ヲ講スル爲當日休會ヲ議決セリ(速記録一三乃至一七頁)

第十三回(特別)議會 明治三十二年二月二十四日横須賀造船所及東京灣砲臺參觀ノ爲來ル二十

七日休會ヲ議決セリ(速記録五三八頁)

第三十回議會 大正二年二月十三日後繼内閣組織中ノ爲休會(同月二十六日迄)ヲ議決セリ(速記録一

七頁)

第四十八回議會 大正十三年一月二十二日 皇太子殿下御成婚ノ御慶事ハ目睫ノ間ニアルヲ以

テ政爭ヲ避ケムカ爲來ル二十九日迄休會ヲ議決セリ(速記録一四頁)

第四節 定足數

憲第四六條

二五三 諸般ノ報告又ハ投票點檢ノ場合ハ定數ノ出席議員ヲ要セス

第一回議會ニ於テ明治二十三年十二月六日末松謙澄君ヨリ「議事日程、選舉ノ結果及必要事項ニ付議長ヨリ單ニ報告スル場合ハ定數ヲ要セス」トノ動議ヲ提出セルニ院議之ヲ否決セルモ(速記録五四頁)第二回議會ヨリハ諸般ノ報告ハ議事ニ非ストノ理由ニ依リ定數ノ出席議員ヲ要セサルコトナ

レリ

議長副議長候補者、全院委員長ノ選舉其ノ他議場ニ於ケル委員選舉ニ於テ投票點檢中ハ定數ノ出席議員ヲ要セサルヲ例トス 第二十八回議會明治四十五年三月二十日兩院協議委員ノ選舉ニ於テ其ノ投票點檢中出席議員多數退席シタルトキト部喜太郎君ハ投票點檢中定數ヲ缺クモ差支ナキヤヲ質シタルニ議長(大岡育造君)ハ此ノ場合ハ定數ヲ要セサル旨ヲ答ヘ點檢ヲ繼續セリ(速記録四三一頁)第五十六回議會昭和四年三月二十五日(速記録一〇四一頁)ニ同一ノ事例アリ

參看 六五號

衆第七八條

二五四 開議ノ際出席議員定數ニ充タサルトキニ於ケル二回ノ計算ハ必ス相

當ノ時間ヲ經ルヲ要ス

開議ニ際シ二回ニ互リ計算ヲ爲スモ尙出席議員法定議員數ノ三分ノ一ニ達セサルトキハ議長ハ延會ヲ宣告セサルヘカラサルモ其ノ計算ニ付テハ前後二回ノ間ニ相當ノ時間ヲ經ルヲ要スルモノトス

第三十七回議會 大正四年十二月二日(議事日程午後二時開議)午後二時二十五分議長(島田三

第二編 會議

第二章 議事通則

第四節

定足數

(二五三、二五四)

二百十五

郎君)著席シタルニ出席議員少數ナルヲ以テ書記官ヲシテ引續キ再度計算セシメタルモ百七名ニ過キス依テ議長ハ午後二時二十九分暫ク休憩スル旨ヲ宣告シ午後三時二十五分ニ至リ開會シタルニ二回計算ノコトニ付議論ヲ生シ野添宗三君ハ衆議院規則第七十六條(改正第七十八條)ニ依リ當然延會スヘシト主張シ議長ハ二回計算セシメタルハ事實ナルモ議員ノ質問ニ確答セムカ爲ニ爲シタルモノニシテ相當ノ時間ヲ經タルニ非サレハ規則ニ所謂二回ニ非サル旨辯明シ廣岡宇一郎君ハ「議長ノ處置ヲ不當ナリト決議スヘシ」トノ動議ヲ提出シ又此ノ場合延會ノ一途アルノミト述ヘ福田又一君ハ「二回ノ計算ト云フ事柄ハ初メニ計算ヲシタケレドモ定數ニ足りナイカラソコデ相當ノ時間ヲ隔テテ出席者ヲ成ルベク勸メ若ハ出席シタ場合ニ計算ヲシテ而モ寄ラヌ時分ニハ最早開會スルコトハ出來ヌト見テ延會スル精神ト解釋シテ居ルノデアリマス……ソコデ暫クノ時間猶豫シタノデアリマス……議長ノ處置ハ些モ不當ノ事ハナイ」ト反對シ採決ノ結果廣岡君ノ動議ヲ否決セリ(速記録七乃至九頁)

二五五 出席議員定數ヲ缺キ若ハ缺クノ虞アルトキハ延會ス

議長ハ會議中出席議員定數ヲ缺キ若ハ缺クノ虞アリト認メタルトキハ延會ヲ宣告ス

(一) 定數ヲ缺キ延會シタル場合

- 第四回議會 明治二十五年十二月十四日(速記録二七五頁)
- 第三十七回議會 大正五年一月二十五日(祕密會議中)(速記録三五二頁)
- 第四十五回議會 大正十一年三月二十四日(速記録九〇八頁)
- 第四十六回議會 大正十二年二月十七日(速記録三〇六頁)
- 第五十回議會 大正十四年三月十七日(速記録六九〇頁)
- 第五十一回議會 大正十五年一月二十七日(速記録二三五頁)、二月四日(速記録三一九頁)、三月十八日(速記録八八三頁)

(二) 定數ヲ缺クノ虞アリト認メ延會シタル場合

- 第四十七回(臨時)議會 大正十二年十二月十四日(速記録九九頁)
- 第五十一回議會 大正十五年三月二十三日(速記録九五六頁)
- 第五十九回議會 昭和六年二月二十一日(速記録四二六頁)
- 尙第三十六回(特別)議會大正四年六月七日(速記録二五〇頁)出席議員定數ヲ缺キ休憩ヲ宣告シタルコトアリ

第五節 諸般ノ報告

衆第七七條

二五六 諸般ノ報告ハ開院式當日若ハ翌日ノ會議ヨリ之ヲ爲ス

諸般ノ報告ハ開院式當日即チ勅語奉答案會議ノ日若ハ其ノ翌日全院委員長及常任委員ノ選舉ノ日ヨリ之ヲ爲ス

閉會中ニ於ケル議員ノ異動報告ハ議院成立ニ關スル集會ニ於テ之ヲ爲スノ例ナリシモ其ノ異動アル毎ニ衆議院公報ニ掲載スルヲ以テ第四十八回議會以來之カ報告ヲ省略ス

參看 一七號

衆第七七條

二五七 諸般ノ報告ハ議長必要ト認ムルトキハ會議中又ハ散會前ニ於テモ之ヲ爲ス

衆議院規則第七十七條ニ依リ議長ハ會議ヲ開クノ前諸般ノ報告ヲ爲スヘキモノナルモ議長必要ト認ムルトキハ會議中又ハ散會前報告ヲ爲スコトアリ

衆第七七條

二五八 報告スヘキ事項ハ議長必要ト認ムル所ニ依ル

衆議院規則ニハ諸般ノ事項ヲ報告スヘキコトヲ規定スルモ其ノ事項ヲ限定セス從テ其ノ事項ハ議長ノ認定ニ依ルモ從來報告セシ事項ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 一 議員ノ異動
- 二 議案類ノ提出、撤回、送付若ハ回付
- 三 議事ニ關スル政府若ハ議員ノ要求又ハ政府、貴族院ノ通牒
- 四 質問主意書ノ提出、撤回及政府ノ答辯、覆牒
- 五 議案類、質問主意書ノ提出者ノ氏名
- 六 委員、委員長、理事ノ當選、辭任若ハ其ノ補闕
- 七 奏上、慶賀、弔慰等ニ關スル事項

二五九 報告スヘキ事項ト雖衆議院公報ニ掲載セラレタルモノハ場合ニ依リ報告ヲ省略ス

議院ニ報告スヘキ事項ハ衆議院公報ニ掲載セラレタルモノト雖之ヲ報告シタリシモ第二十二回議會以來特別委員、委員長及理事ノ氏名ニシテ衆議院公報ニ掲載セラルトキハ議場ノ報告ヲ省略スルコトトナリ又第四十四回議會(大正九年十二月二十八日)ニ於テ副議長(柏谷義三君)ハ今後既ニ衆議院公報ニ掲載セラレタルモノハ場合ニ依リ議場報告ヲ省略シ度旨ヲ告ケ院議異議ナク承認シ(速記録四頁)爾來既ニ衆議院公報ニ掲載セルモノハ速記録ニ參照トシテ掲載シ議場ニ於ケル報告ハ之ヲ省略スルヲ例トス

參看 一三八號、一三九號、一四五號、一四六號

第六節 議案ノ朗讀

衆第九三條

二六〇 議案ノ朗讀ハ之ヲ省略スルヲ例トス

議案ハ議題トナリタルトキ之ヲ朗讀スルヲ原則トスルモ第八回議會以來概ネ之ヲ省略シ一々其ノ

旨ヲ宣告シタルモ第二十八回議會(明治四十五年二月六日)ニ於テ議長(大岡育造君)ハ「會議ノ始ニ議案ノ朗讀ヲ致シマスルノガ定則デアリマスルガ從來ノ實例ヲ見マスト多クハ之ヲ省略スルコトニナッテ居リマス偶々私ガ朗讀ヲ命ジテ見マシテモ諸君ガ省略ヲ望マレテ居リマス議案毎ニ宣告スルコトヲ止メマシテ必要ノ場合ニ諸君カラシテ望ミモアリ又議長ガ認メマシタ場合ニ朗讀スルト云フコトニ致シマシテ一々ニハ宣告致シマセヌカラ此段御了知アリタシ」ト宣告シ(速記録四六頁)爾來議案ノ朗讀ハ之ヲ省略スルヲ例トス
議案ニ對スル修正案又ハ回付案等ハ印刷配付ノ違ナキ場合朗讀スルコトナシトセス

第七節 議案ノ趣旨辯明

衆第九三條

二六一 議案會議ニ付セラレタルトキハ提出者先ツ其ノ趣旨ヲ辯明ス

豫算案、決算及建議案ハ孰レモ直ニ常任委員ニ付託セラルルヲ以テ會議ニ於テハ趣旨辯明ヲ爲スコトナク又貴族院提出法律案ハ會議ニ付スルモ趣旨辯明ナク直ニ委員ニ付託セラレ其ノ他ノ議案ハ先ツ之ヲ會議ニ付シタル後政府提出法律案及承諾案ニ在リテハ國務大臣若ハ政府委員其ノ趣旨

第二編會議 第二章 議事通則 第六節 議案ノ朗讀 第七節 議案ノ趣旨辯明(二五九―二六一)二百二十一

ヲ辯明シ議員提出議案ニ在リテハ提出者其ノ趣旨ヲ辯明スルヲ例トス但シ委員ノ審査省略ノ要求アリタル追加豫算案會議ニ付セラレタルトキハ國務大臣若ハ政府委員、即決ノ要求アリタル建議案會議ニ付セラレタルトキハ提出者其ノ趣旨ヲ辯明ス
尙提出者ノ申出若ハ院議ニ依リ趣旨辯明ヲ省略スルコトアリ又提出者議席ニ在ラサルトキ議長趣旨辯明ヲ省略シタルモノト看做シ直ニ委員ニ付託シタルコトアリ

參看 二六六號、二七一號、三一八號、四四八號

二六二 議案ノ趣旨辯明ヲ提出者兩名ニテ爲ス

議案ノ趣旨ヲ辯明スルハ提出者ノ内一名ニテ之ヲ爲スヲ例トスルモ時ニ兩名ニテ之ヲ爲スコトナシトセス即チ政府提出議案ニ在リテハ内閣總理大臣先ツ一般の趣旨ヲ辯明シ次テ主務大臣詳細ナル辯明ヲ爲シタルコトアリ又議員提出議案ニ在リテモ提出者兩名ニテ其ノ趣旨ヲ辯明シタルコトアリ

(一) 政府提出議案ノ場合

第二十二回議會 明治三十九年三月六日政府提出鐵道國有法案ニ付西園寺内閣總理大臣大體ノ趣旨ヲ辯明シ次テ山縣遞信大臣詳細ナル辯明ヲ爲セリ(速記録一九九頁)

第五十四回議會 昭和二年十二月二十七日(第一號)昭和二年度歳入歳出總豫算追加案(大禮費)

ニ付田中内閣總理大臣大體ノ趣旨ヲ辯明シ次テ三土大藏大臣詳細ナル辯明ヲ爲セリ(速記録七頁)
第二十九回(臨時)議會大正元年八月二十四日(大葬費)(速記録七頁)、第三十二回(臨時)議會大正三年五月六日(大葬費)(速記録三頁)、第五十回議會大正十四年二月二十一日(衆議院議員選舉法改正法律案)(速記録三五頁)、第五十二回議會昭和元年十二月二十八日(大葬費)(速記録九頁)、第五十三回(臨時)議會昭和二年五月五日(臺灣銀行救濟案)(速記録一一、一二頁)ニ同一事例アリ

(二) 議員提出議案ノ場合

第二回議會 明治二十四年十二月九日新井章吾君外一名提出衆議院議員選舉法改正案ハ提出者天野三郎君及新井章吾君趣旨辯明ヲ爲セリ(速記録一一四乃至一一八頁)

第三回(特別)議會 明治二十五年五月十四日中村彌六君外四名提出鑛業條例施行期限法律案ハ提出者中村彌六君及香月恕經君趣旨辯明ヲ爲セリ(速記録一一八乃至一二〇頁)

五月二十五日(速記録二〇二乃至二〇四頁)、同月二十六日(速記録二二三乃至二二六頁)ニ同一事例アリ

第四回議會 明治二十五年十二月五日工藤行幹君外二名提出郡制改正法案ハ提出者工藤行幹君及立入奇一君趣旨辯明ヲ爲セリ(速記録五三乃至五五頁)

十二月十日(速記録一八〇、一八七頁)、明治二十六年二月二十三日(速記録九七四、九七八頁)ニ同一事例アリ

第二十七回議會 明治四十四年三月十四日尾崎行雄君外六名提出前參議司法卿江藤新平表彰ニ

關スル建議案ハ提出者川原茂輔君及的野半介君趣旨辯明ヲ爲セリ(速記録四七七乃至四八一頁)

第三十六回(特別)議會 大正四年六月三日原敬君外八名提出決議案(對支外交ニ關スル内閣彈

劾ノ件)ハ提出者原敬君及犬養毅君趣旨辯明ヲ爲セリ(速記録一七二、一七三、一七八乃至一八二頁)

第四十回議會 大正七年三月十二日奥田榮之進君外二名提出沖繩縣特別自治制撤廢ニ關スル建

議案ハ提出者兒玉好熊君及我如古樂一郎君趣旨辯明ヲ爲セリ(速記録四五九頁)

第六十五回議會 昭和九年三月十六日助川啓四郎君外二十名提出滿處理法案ハ提出者助川啓四

郎君及高橋守平君趣旨辯明ヲ爲セリ(速記録六四六、六四七頁)

第六十七回議會 昭和十年三月六日前田米藏君外三十名提出臨時地方財政補整金法案ハ提出者

加藤久米四郎君及加藤鯛一君趣旨辯明ヲ爲セリ(速記録四八二乃至四八七頁)

二二六三 贊成者、議案提出者ニ代リテ議案ノ趣旨ヲ辯明ス

議案提出ノ贊成者ニシテ提出者ニ代リ議案ノ趣旨辯明ヲ爲シタルコト第一回議會以來其ノ事例尠カラス

第六十五回議會 昭和九年三月二十二日江藤源九郎君提出傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乗車船優遇ニ關スル法律案ノ第一讀會ニ於テ贊成者高橋壽太郎君其ノ趣旨ヲ辯明セリ(速記録七六九頁)

第六十七回議會 昭和十年三月六日野田文一郎君外四名提出商工中央金庫法案外三件ノ第一讀會ニ於テ贊成者中村繼男君同時ニ四案ノ趣旨辯明ヲ爲セリ(速記録四八八頁)

尙議案ノ趣旨辯明ハ提出者又ハ贊成者以外ノ者ハ之ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

第六十五回議會 昭和九年三月十六日江藤源九郎君提出傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乗車船優遇ニ關スル法律案ノ第一讀會ニ於テ議長(秋田清君)ハ趣旨辯明ノ爲提出者江藤君ヲ指名シタルニ同君議席ニ在ラス上原平太郎君ハ共同提案者トシテ趣旨辯明ノ發言中議長ハ議案調査ノ結果上原君ハ該案ノ提出者又ハ贊成者ニ非サルニ依リ其ノ趣旨辯明ヲ認ムルハ將來ニ惡例ヲ貽スコトナルヲ以テ同君ノ趣旨辯明ハ之ヲ許可スヘキモノニ非ス依テ只今迄ノ發言ハ不規則ナル發言ト認ムル旨ヲ告ケ該案ノ審議ハ後廻シト爲シ次ノ議事日程ニ入レ

リ(速記録六六八頁)

參看 三一八號

衆第二四條

二六四 議案ノ趣旨辯明ハ之ヲ補足スルコトヲ得
趣旨辯明ノ補足ハ討論中ト雖之ヲ爲スコトヲ得

議案ノ趣旨辯明ノ補足ハ一度趣旨辯明ヲ爲シタル提出者之ヲ爲スコトヲ得ルノミナラス他ノ提出者ト雖亦之ヲ爲スコトヲ得其ノ事例尠カラス而シテ趣旨辯明ノ補足ハ討論中ト雖之ヲ爲スコトヲ得

第五十一回議會 大正十五年三月十日政府提出關稅定率法中改正法律案第二讀會ニ於テ堀切善

兵衛君ハ山本條太郎君外九名提出本案ニ對スル修正案ノ趣旨辯明ヲ爲シ次テ質疑應答ヲ終リ

討論中趣旨辯明ノ補足ヲ爲セリ(速記録七三六、七五二頁)

第五十二回議會 昭和二年一月十九日鳩山一郎君ハ書類提出ニ關スル決議案ノ趣旨辯明ヲ爲シ

本案ノ討論中趣旨辯明ノ補足ヲ爲セリ(速記録五六、五七頁)

參看 三〇六號、三五二號、三八九號

二六五 數箇ノ議案ヲ一括シテ議題ト爲シタル場合ニ提出者同一ナルトキハ
同時ニ、提出者異ナルトキハ順次其ノ趣旨ヲ辯明セシム

數箇ノ議案ニシテ提出者同一ナルカ又ハ同種若ハ關聯セルトキ之ヲ一括議題ト爲シタル場合提出者同一ナルトキハ其ノ一人ニテ數案ノ趣旨辯明ヲ爲シ提出者異ナルトキハ順次提出者ヲシテ趣旨辯明ヲ爲サシム

第六十五回議會 昭和九年二月八日議事日程第十一松定吉君外五名提出刑法中改正法律案外

二件ノ會議ニ際シ副議長(植原悅二郎君)ハ院議ニ諮ヒ議事日程第十一乃至第十三ハ提出者同

一ノ議案ナルニ依リ一括シテ議題ト爲シ提出者一松定吉君ハ三案ノ趣旨ヲ辯明セリ(速記録二

二五頁)

第六十七回議會 昭和十年二月十六日議事日程第四田中祐四郎君外二名提出衛生組合法案外四

件ノ會議ニ際シ議長(濱田國松君)ハ院議ニ諮ヒ議事日程第四乃至第八ハ同種且關聯セル議案

ナルニ依リ一括シテ議題ト爲シ提出者田中祐四郎君、鷲野米太郎君、中川觀秀君ハ順次其ノ提

案ノ趣旨ヲ辯明セリ(速記録二六九頁)

尙第六十七回議會昭和十年二月九日藤田若水君外四名提出借地借家調停法中改正法律案外六案ヲ
便宜一括議題ト爲スニ決シタル際一松定吉君ハ四案ニ對スル提出者ニシテ一案ニ對スル贊成者ナ

第二編 會議

第二章 議事規則

第七節 議案ノ趣旨辯明

(二六四、二六五)

二百二十七

二六六 議案ノ趣旨辯明者議席ニ在ラサルトキ其ノ議事ヲ一時延期シ又ハ趣旨辯明ヲ拋棄シタルモノト認メ直ニ委員ニ付託ス

政府提出法律案承諾案及議員提出議案初テ會議ニ付セラレタルトキハ其ノ趣旨ヲ辯明スルヲ例トスルモ議案ノ趣旨辯明者議場ニ在ラサルトキ便宜其ノ議事ヲ一時延期シ又議員提出議案ニ在リテハ趣旨辯明ヲ拋棄シタルモノト認メ直ニ委員ニ付託シタルコトアリ

第五十九回議會 昭和六年二月二十八日議長(藤澤幾之輔君)ハ議事日程第十二政府提出大正十三年法律第二號中改正法律案ノ第一讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シタルニ趣旨辯明ヲ爲スヘキ矢吹政府委員出席ナキ爲議事日程第十二ハ之ヲ後廻シト爲ス旨ヲ宣告シ次ノ議事日程ニ入レリ(速記録五一四頁)

第六十五回議會 昭和九年三月十五日議長(秋田清君)ハ議事日程第六政府提出鑛業法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シタルニ趣旨辯明ヲ爲スヘキ松本商工大臣出席ナキ爲議長ハ趣旨辯明者不在ニ付本案ノ審議ヲ後廻シト爲ス旨ヲ宣告シ次ノ議事日程ニ入レリ(速記録六〇五頁)

頁)

同 昭和九年三月十六日議長(秋田清君)ハ山本芳治君外二名提出金錢債務臨時調停法中改正法律案外一件ノ第一讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シタルニ提出者議席ニ在ラサルヲ以テ本案ハ趣旨辯明ヲ拋棄シタルモノト認ムル旨ヲ告ケ他ノ一件ノ趣旨辯明ヲ許可シ青木雷三郎君ノ動議ニ依リ兩案ヲ議長指名九名ノ委員ニ付託セリ(速記録六四三頁)

第六十七回議會 昭和十年二月十九日議事日程第十ヲ議了セル際議長(濱田國松君)ハ議事日程第十一福田關次郎君提出競争入札ノ取締等ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シ次テ提出者議席ニ在ラサルニ依リ之ヲ後廻シト爲ス旨ヲ告ケ次ノ議事日程ニ入レリ(速記録二九二頁)
參看 二六一號、二七一號、二七二號、三四二號

二六七 一議案ニ對シ數多ノ修正案提出セラレタルトキハ順次其ノ趣旨辯明ヲ爲サシム

一議案ニ對シ數多ノ修正案提出セラレタルトキハ討論ニ入ルニ先チ提出順ニ依リテ各修正案ノ趣旨ヲ辯明セシムルヲ例トス

第二十八回議會 明治四十五年三月五日政府提出衆議院議員選舉法中改正法律案第二讀會ニ於テ田川大吉郎君、高木益太郎君外七名、安達謙藏君外一名ヨリ各修正案ヲ提出シタルニ依リ議長(大岡育造君)ハ提出順ニ依リ修正案ノ趣旨ヲ辯明セシメタリ(速記録二五六、二五七頁)

第四十二回議會 大正九年二月十二及十三ノ兩日大正九年度本豫算案ノ會議ニ於テ三土忠造君、濱口雄幸君外二名、鈴木梅四郎君外一名、佐々木平次郎君ヨリ各修正案ヲ提出シタルニ依リ議長(大岡育造君)ハ提出順ニ依リ修正案ノ趣旨ヲ辯明セシメタリ(速記録一七五乃至一八九頁)

參看 三〇五號

二六八 簡單ナル趣旨辯明ハ自席ヨリ之ヲ爲スコトヲ得

議案ノ趣旨辯明ハ登壇シテ之ヲ爲スヲ例トスルモ提出者議席ヨリ簡單ナル趣旨辯明ヲ爲サムコトヲ求ムルトキハ議長ハ之ヲ許可スルヲ例トス

參看 二九四號、三三九號

二六九 修正案ノ趣旨辯明ハ其ノ範圍ヲ超ユルコトヲ得ス

議案ニ對シ修正案提出セラレタルトキハ先ツ其ノ趣旨ヲ辯明セシメ次テ本案ノ討論ト併セテ討論ニ付スルヲ例トス從テ其ノ趣旨辯明ハ其ノ範圍ヲ超エ討論ニ涉リ或ハ自己ノ意見ヲ述フルコトヲ許サス

第三十回議會 大正二年三月二十四日政府提出所得税法中改正法律案第二讀會ニ於テ三箇ノ修正案アリシヲ以テ議長(大岡育造君)ハ院議ニ諮ヒ各提出ノ順序ニ依リ趣旨辯明ヲ許シタルニ加藤政之助君ノ辯明中其ノ發言意見ニ涉レルニ依リ議長ハ同君ニ對シ注意ヲ爲シ意見ヲ述フルヲ許ササル旨ヲ宣告セリ(速記録二四二頁)

第五十回議會 大正十四年二月十二日大正十四年度本豫算案ノ會議ニ於テ吉植庄一郎君ハ修正案ヲ提出シ其ノ趣旨辯明中議長(粕谷義三君)ハ同君ノ演說ハ修正案ノ内容ニ關係ナキ様ニ聽取セラルスノ如キハ豫算ノ討論ヲ爲スノ嫌ヒアルニ付注意スル旨ヲ告ケ更ニ再度ノ注意ヲ與ヘタル後吉植君ノ演說ハ修正案ノ説明ノ名ノ下ニ豫算ニ對スル一般的ノ討論ト認ム依テ同君ノ發言ヲ中止スル旨ヲ宣告セリ(速記録二三四乃至二三六頁)

第六十五回議會 昭和九年三月十五日政府提出衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第二讀會ニ於テ伊豆富人君ノ本案ニ對スル修正案(清瀬一郎君外五名提出)ノ趣旨辯明中議長(秋田清君)ハ

同君ニ對シ屢々注意ヲ爲シタル後同君ノ發言ハ討論ニ涉ルモノト認め其ノ發言ヲ中止スル旨ヲ宣告セリ(速記録六一三頁)

二七〇 院議ヲ以テ議員提出法律案ノ趣旨辯明ノ時間ヲ制限ス

會期切迫ノ際議案輻輳セルヲ以テ其ノ審議ノ進捗ヲ圖ル爲議長發議又ハ動議ニ依リ趣旨辯明ノ時間ヲ制限シタルコトアリ

第五十一回議會 大正十五年三月二十五日ノ會議ニ於テ作間耕逸君ハ「今ヤ愈々會期盡クノ今日尙議案輻輳ノ折柄デアリマスルカラ議員提出ノ法律案ハ提出者ハ登壇セズ自席ヨリ五分以内ニテ趣旨辯明セラレムコトヲ望ミマス但シ趣旨辯明ニ代ヘテ議長ノ承認スル程度ノ書面ヲ速記録ニ掲載スルコトヲ求ムル者ガアリマシタナラバ御許ヲ願ヒタイノデアリマス」トノ動議ヲ提出シ院議異議ナク之ヲ採用スルニ決シ一柳仲次郎君外九名提出北海道御料拂下地ノ地租免除ニ關スル法律案外四十二件ハ孰レモ此ノ制限時間ニ依リ趣旨辯明ヲ爲セリ(速記録一〇五八頁)

第六十五回議會 昭和九年三月十六日議事日程掲載ノ議員提出法律案第一讀會ニ入ルニ先テ議

長(秋田清君)ハ本日議事日程ニ掲載ノ議員提出法律案ハ相當多數ナルニ依リ其ノ審議ノ進捗ヲ圖ル爲趣旨辯明ハ各自席ヨリ極メテ簡潔ニ之ヲ爲シ且其ノ時間ハ五分間以内トスル旨ノ發議ヲ爲シ院議異議ナク之ヲ採用スルニ決セリ尙議長ハ趣旨辯明省略ヲ申出タル者ニ對シテハ希望ニ依リ議長ニ於テ適當ト認ムル程度ノ理由書ヲ特ニ速記録ニ掲載スルコトヲ許可スル旨ヲ宣告セリ(速記録六四二頁)

尙三月十七日及三月二十二日ノ本會議ニ於テモ議長ハ前記同様ノ發議ヲ爲シ院議之ヲ可決セリ(速記録六八〇、七六七頁)

參看 五一五號

二七一 院議ヲ以テ議員提出法律案ノ趣旨辯明ヲ省略シ之ヲ委員ニ付託ス

會期切迫ノ場合院議ヲ以テ議員提出法律案ノ趣旨辯明ヲ省略シテ直ニ委員ニ付託シタルコトアリ而シテ此ノ場合ニ於テハ議長ニ於テ承認スル程度ノ簡明ナル理由書又ハ其ノ補足書ヲ速記録ニ掲載スルコトヲ許セリ即チ第五十九回議會昭和六年三月二十三日ノ會議ニ於テ山下谷次君外一名提出恩給法中改正法律案外六十一件(速記録八八六頁)及翌二十四日ニ三田村甚三郎君外十名提出町村有

建物火災保險相互組合法案外二件ハ議長ノ發議ニ依リ趣旨辯明ヲ省略シテ委員ニ付託セリ(速記録九三五頁)

參看 三一八號、三二〇號、三八二號

二七二 決議案ノ趣旨辯明ヲ省略ス

曩ニ議決シタル決議案ト内容同一ナルノ故ヲ以テ動議ニ依リ決議案ノ趣旨辯明ヲ省略シテ議決シ若ハ前議會ニ議決セル決議案ト内容同一ナルノ故ヲ以テ議長趣旨辯明ノ必要ナシト認メ決議案ノ趣旨辯明ヲ省略シテ即決シタルコトアリ

第三十七回議會 大正四年十二月十八日議事日程第二大場茂馬君提出決議案ニ對シ小山松壽君

ハ大場君ノ決議案ノ主旨ハ議事日程第一原敬君外八名提出決議案ト内容同一ナルヲ以テ説明ヲ聽カス討論ヲ用ヒスシテ採決セラレムコトヲ望ムトノ動議ヲ提出シ院議本動議ヲ可決シ引續キ決議案ニ付採決ノ結果之ヲ否決セリ(速記録一六二、一六三頁)

第六十四回議會 昭和八年一月二十五日開議劈頭議事日程ヲ變更シテ久原房之助君外五十四名提出陸海派遣軍ニ對スル感謝決議案ヲ議題ト爲シタル際議長(秋田清君)ハ本案ハ既ニ第六十

一回(臨時)及第六十三回(臨時)議會ニ於テ全會一致ヲ以テ可決セラレタルモノト全然同一趣旨ナルニ依リ特ニ趣旨辯明ヲ要セサルモノト認メ直ニ採決ヲ爲ス旨ヲ宣告シ起立ヲ以テ採決ノ結果全會一致之ヲ可決セリ(速記録八〇頁)

第八節 質疑

衆第九三條

二七三 質疑ハ議案ノ趣旨辯明後之ヲ許スヲ例トス

質疑ハ議案ノ趣旨辯明アリタル後之ヲ許スヲ例トスルモ趣旨辯明前之ヲ許シタルコトナシトセス

第三回(特別)議會 明治二十五年六月四日政府提出貴族院送付小包郵便法案第一讀會ニ於テ其ノ趣旨辯明ニ先チ議長(星亨君)ハ加藤政之助君ノ本案ニ關スル質疑ヲ許可シ其ノ發言ヲ終リタルトキ加藤君ニ對シ政府ハ後刻應答スル由ナル旨ヲ告ケ後藤遞信大臣ノ該案趣旨辯明ニ次テ河津遞信次官ハ質疑ニ對シ應答セリ(速記録三九八乃至四〇二頁)

第三十六回(特別)議會 大正四年六月七日原敬君外八名提出決議案(大浦内務大臣彈劾ノ件)ノ會議ニ於テ議長(島田三郎君)ハ提出者元田肇君ニ對シ趣旨辯明ヲ許可セムトセル際横田千之助君ヨリ司法大臣ニ對スル質疑ノ發言ヲ求メタルニ直ニ其ノ發言ヲ許可セリ(速記録二二三頁)

第二編 會議 第二章 議事通則 第八節 質疑 (二七二、二七三)

二七四 會期ノ始ニ於ケル國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ハ演說終了後通告順ニ依リ之ヲ許可ス

每會期ノ始ニ於テ內閣總理大臣、外務大臣、大藏大臣ノ演說ニ對シ議員ヨリ質疑ノ通告ヲ爲スヲ例トス而シテ通告者多數ニ上ルヲ常トシ從テ之カ發言ノ順序ハ通告順ニ依ルヘキモノナルモ實際ノ慣行ハ各派ノ協定ニ依リ其ノ所屬員數ニ比例シテ發言ノ順序ヲ定メ發言通告表ヲ作成シ其ノ順序ニ依リ發言ヲ許可スルヲ例トス

參看 三〇〇號、三〇四號

二七五 國務大臣ノ演說ニ對シ數日ニ互リ質疑ス

每會期ノ始ニ於ケル內閣總理大臣、外務大臣、大藏大臣ノ演說ニ對スル質疑ハ第三十五回議會以來數日ニ互リテ之ヲ爲スヲ例トス而シテ第四十五回議會以來質疑數日ニ互リ未タ了ラサルトキハ他

ノ議事日程ヲ議了シタル後殘餘ノ質疑ヲ繼續シタルコト尠カラス

二日間

第三十七回議會、第四十回議會、第四十一回議會、第五十五回(特別)議會

三日間

第三十五回議會、第四十二回議會、第四十七回(臨時)議會、第四十九回(特別)議會、第五十二回議會、第六十六回(臨時)議會

四日間

第四十三回(特別)議會、第五十一回議會(四日間ニ互リ質疑ヲ爲シタル際內閣更迭シ更ニ四日間ニ互リ質疑ヲ繼續セリ)、第六十四回議會、第六十五回議會

五日間

第四十四回議會、第四十五回議會、第四十六回議會、第五十回議會、第五十八回(特別)議會、第五十九回議會

六日間

第六十七回議會

七日間

第五十六回議會

參看 六〇二號

二七六 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑繼續中内閣更迭シ前内閣ノ政策ヲ踏襲セシモ質疑ノ通告ハ之ヲ更新ス

第五十一回議會 大正十五年一月二十一日以後加藤内閣ニ於ケル國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ハ四日間ニ互リ繼續シタルニ同月二十八日加藤内閣總理大臣薨去シ一月三十日内閣更迭シ二月一日若槻内閣總理大臣、濱口大藏大臣ハ施政方針財政計畫ニ何等變更ナキ旨ヲ述ヘタル際議長(粕谷義三君)ハ「國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ノ通告ハ前會議マデニマダ多數殘ツテ居ルノデアリマス併ナガラ只今モ御聞及ビノ如ク既ニ内閣ガ更リマシタ以上ハ前ノ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ノ通告ハ自然消滅シタモノト認メマス更メテ質疑ノ通告順ニ依ツテ發言ヲ許スコトニ致シマス」ト宣告シ更メテ通告順ニ依リ質疑ヲ許可セリ(速記録二三〇頁)

二七七 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑者ハ先ツ質疑事項ノ全部ヲ述フルヲ例トス

會期ノ始ニ於ケル國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ニシテ數項ニ渉ル場合一問一答ヲ許シタル例ナキニ非サルモ通告者毎ニ質疑事項ノ全部ヲ述ヘシメ然ル後國務大臣之ニ答辯スルヲ例トス

第二十八回議會 明治四十五年一月二十三日西園寺内閣總理大臣、山本大藏大臣及内田外務大臣ノ演說ノ後議長(大岡育造君)ハ通告順ニ從ヒ片岡直温君ニ質疑ヲ許シ同君ノ質疑ニ對シ山本大藏大臣ノ答辯アリタル際同君ハ引續キ質疑セムトセルニ議長ハ「先ツ大體ノ質問ヲ許シマス通告モ非常ニ多ウゴザイマスカラ次ギノ竹内君ニ許シマス」ト告ケ順次大體ノ質疑ヲ爲サシメタリ(速記録一一頁)

第四十回議會 大正七年一月二十二日國務大臣ノ演說ニ對シ尾崎行雄君ハ「極メテ簡單ナル質疑ヲ十餘リ致シテ更ニ進ンデ其御答辯ニ依ツテ疑ヲ質シタイノデアリマスガ……十餘リアルモノヲ悉ク一回ニ其處ニ登ツテ述ベマシテハ、答ヘル人モ定メテ御迷惑スルデアラウト思ヒマスカラ、若シ議長ガ御許シニナルナラバ一項宛此處デ答辯ヲ得タイト思ヒマスガ」ト問ヒタルニ議長(大岡育造君)ハ「先刻豫メ議長ガ議場整理ノ方針ヲ宣明致シテ置キマシタ、即チ順序ニ從ツテ發言ヲ許ス、而シテ極メテ簡單ナルモノニ付テハ、自席ヨリ發言スルコトヲ求メラレレバ、ソレモ許シマスルガ、議場ノ形勢ニ依リ徹底ノ必要アリト思フ時ニハ何時デモ登壇ヲ促ス、豫メ十アル二十アル、ソレヲ皆許シヲ得タイト云フ如キ事ノ御約束ハ致シマセヌ」ト答ヘ更ニ「大體ノ質問ノ御趣旨ヲ登壇ノ上御宣明ニナツテ、尙遺漏ノアル事デ簡單ニ御尋ネノ場合ダケヲ自席デヤラレタ方ガ洵ニ整理上宜カラウト思フ」ト告ケタルニ尾崎君ハ「ソレハ不便ナ

遣方ト思ヒマスルガ、議長及議場ノ諸君ガ、ソレガ宜カニツト云フコトデアルナレバ登壇致シマス」トテ登壇ノ上數項ニ涉リ質疑セリ(速記録一七頁)

參看 二八二號

二七八 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ハ政務ノ全般ニ涉リ之ヲ爲スコトヲ得
會期ノ始ニ於テ内閣總理大臣、外務大臣、大藏大臣ノ演說アルヲ例トシ之ニ對スル質疑ハ必スシモ上記國務大臣ノミニ限ラス他ノ國務大臣ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得而シテ第四十四回議會ノ始ニ於ケル各派協議會ニ於テ「開會ノ始ニ於ケル國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ハ政務全般ニ涉リ之ヲ爲スコトヲ得ルモ自己ノ意見ノ主張ハ成ルヘク之ヲ避クルコト」ノ申合ヲ爲シ爾來之ニ依ル

參看 二八八號

二七九 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ニ付口頭答辯ノ後更ニ書面ヲ以テ答辯
ヲ爲ス

國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ノ答辯ハ口頭ヲ以テ爲スヲ例トスルモ左ノ場合ニ於テハ口頭答辯ノ後更ニ書面ヲ以テ答辯セリ

第四十五回議會 大正十一年一月二十六日荒川五郎君ハ國務大臣ノ演說ニ對シ教育問題、思想問題、朝鮮ノ統治ニ付質疑ヲ爲シ高橋内閣總理大臣及齋藤朝鮮總督答辯ヲ爲シタルカ(速記録九二乃至九七頁)超エテ三月二十四日齋藤朝鮮總督ハ書面ヲ以テ答辯ヲ補足セリ(速記録八七一頁)

第五十八回(特別)議會 昭和五年五月三日加藤知正君ハ國務大臣ノ演說ニ對シ絲價安定融資補償法ト絲價慘落ノ關係ニ付質疑ヲ爲シ井上大藏大臣ノ答辯後同君ハ最後ニ應急策竝恒久策ニ對スル質問ト題スル要旨各數項ヲ舉ケテ答辯ヲ促シタルニ(速記録一三五乃至一三七頁)同月十二日町田農林大臣ヨリ書面ヲ以テ答辯ヲ爲セリ(速記録二五六頁)

又質疑ヲ受ケタル國務大臣出席ナカリシ爲後日其ノ國務大臣ヨリ書面ヲ以テ答辯ヲ爲シタルコトアリ

第五十六回議會 昭和四年一月三十一日國務大臣ノ演說ニ對スル質疑中山崎延吉君ハ特ニ遞信大臣ニ對シ農村電化ニ關スル質疑ヲ爲シタルニ(速記録一四七頁)當時久原遞信大臣ノ出席ナク之ニ對シ他ノ國務大臣ヨリモ答辯ナク超エテ三月十三日同大臣ヨリ書面ヲ以テ答辯ヲ爲セリ

二八〇 國務大臣ニ對スル質疑ニ付他ノ國務大臣又ハ政府委員答辯ヲ爲ス

國務大臣ノ演說又ハ議案ノ趣旨辯明ニ對シ質疑ヲ爲セル場合ニ政府委員之カ答辯ヲ爲スコト尠カ
ラス又或ル國務大臣ニ對シテ爲セル質疑ニ付他ノ國務大臣ヨリ答辯ヲ爲セルコトアリ

第五十回議會 大正十四年一月二十九日政府提出一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法廢止法

律案第一讀會ニ於テ牧野良三君ハ加藤內閣總理大臣ニ質疑ヲ爲シ岡田文部大臣答辯ヲ爲サム
トスルヤ議場騷擾シ松田源治君及成田榮信君ハ執レモ議事進行ニ關スル發言ヲ爲シ牧野君ノ
質疑ニ對シテハ加藤首相ノ答辯ヲ爲スヘキモノナル旨ヲ主張シ且牧野君ハ加藤首相ノ答辯ヲ
爲ササル心事ニ付文相ハ如何ニ之ヲ解スルヤト質シタルニ岡田文部大臣ハ內閣總理大臣ハ議
場ニ出席遅カリシ爲牧野君ノ演說ヲ聽取セサリシニ依リ答辯セサリシハ當然ニシテ內閣總理
大臣差支アルトキ他ノ國務大臣之ニ代リテ答辯ヲ爲スコト亦當然ノコトナリト答辯セリ(速記
錄九五頁)

第五十二回議會 昭和二年二月二十四日政府提出出版物法案第一讀會ニ於テ原惣兵衛君ハ內務

大臣ニ質疑ヲ爲シ鈴木政府委員代リテ答辯セムトスルヤ原君ハ安達內務大臣ニ質疑セルモノ
ニシテ參與官ニ質疑セルニ非サル旨ヲ述ヘタルニ之ニ對シ鈴木政府委員ハ政府委員ノ權能ヲ

以テ爲ス旨ヲ述ヘ質疑事項ニ付答辯セリ(速記録三三三頁)

二八一 當該問題ニ關係アルモノハ質問ノ語ヲ以テスルモ之ヲ質疑ト看做ス

議案若ハ委員長報告等ニ對シ疑義ヲ質ス爲發言ヲ求ムルニ際シ往々質問ノ語ヲ用フルコトアリ固
ヨリ質問ハ規則ニ依リ一定ノ様式ヲ要スルモノナルヲ以テ其ノ手續ヲ經ルニ非サレハ許可スヘキ
モノニ非ス然レトモ質問ノ語ヲ以テ發言ヲ求メラレタル場合ト雖當該問題ニ關シ疑義ヲ質スノ意
ナルトキハ議長ハ之ヲ質疑ト解シ許可スルヲ例トス

第二十七回議會 明治四十四年二月十四日明治四十四年度本豫算案ノ會議ニ於テ守屋此助君ハ

豫算全體ニ涉リ五段ニ分チ大體ノ質問ヲ爲サムトスル旨ヲ述ヘタル際長晴登君ハ「守屋君ノ
發言ハ議院法第四十八條ニ依リ提出スヘキモノニシテ此場合ニ於テ許可スヘキモノニアラ
ス」トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決セルニ依リ議長(長谷場純孝君)ハ其ノ發言ヲ止メ守屋君
ハ同日更ニ「豫算ニ付テ説明ヲ政府ニ求ムルタメニ演說ヲ致シマス」ト述ヘ質疑ヲ爲セリ(速記
錄一四六、一五二頁)然ルニ同月二十八日三士忠造君外三名提出砂糖消費稅法中改正法律案第一
讀會ノ續會ニ於テ中川虎之助君ハ「政府委員ニ質問致シマス」ト述ヘタルニ議長之ヲ許可セル

ニ依リ三月二日日野國明君ハ右ニ關シ「過日ノ會議ニ於テハ議案ニ付テ質問ヲスルト云フコトハ出來ナイト云フ意味ヲ決議ニナツテ居ルガ、ソレハ不當デアルト云フコトヲ御認メニナツテ議長ハ此院議ニ反對ヲスルト云フ方針ヲ御執リニナル意味デアリマスカ」ト問ヒ（速記録三〇八、三〇九頁）議長ハ「明白ニ御答致シマス、去ル十四日ノ速記録ノ總テヲ御熟讀ヲ請ヒ置キマス……即チ長君ハ成文ノモノガアルカラト云フノデ議長ハ之ニ依テ採決ヲシタ……尙中川君ノハ議長ハ質疑ト云フコトニ了解シテ許シマシタ」日野君「質問ト云フコトデハ議題ニナツテ居ルコトニ付テ問ヲ發スルコトガ出來ナイト云フノガ長君ノ動議ノ趣旨デアルソレヲ多數デ決セラレテ居ルノデ……議長モ此院議ヲ重ンゼナケレバナラヌ」議長「議長ハ斯ウ心得マス所謂質疑ト云フコトハ議院法ニモ書イテアル、ソレデ其ノ名ヲ質問ニ藉リテ、ソウシテ議論ヲ濫リニスルト云フコトハ宜シクナイト思フノデゴザイマス、其ノ場合ニ於テ極ク簡明ナル疑ヲ質スコトハ差支ナイト思フノデゴザイマス、併ナガラ御承知ノ通り十四日ノ日ハ議場モアノ通りノ混雜デアリマシタカラシテ尙取調ベテ御答ヲスルコトニ致シマセウ」ト告ケ同月七日議長ハ「先月十四日長晴登君ノ提出セラレタル動議ハ當日ノ議場デ本職ノ朗讀シタル通り……デアリマス即チ成文ノ動議ヲ見マスレバ其爭フトコロノモノハ名稱デナクシテ演說ノ實質ニアリト認メネバナリマセヌ之ヲ要スルニ議長ハ當該問題ニ直接ノ關係アルモノハ其何等ノ言

葉ヲ用フルヲ問ハズ從來ノ慣例ニ依リテ之ヲ許可スルコトニ致シ而シテ其當該問題ニ直接ニ關聯セザルモノハ何等ノ言葉ヲ用フルニ拘ラズ議院法第四十八條ニ依ルベキモノトスル考デアリマス過日中川君ノ質問ト云ハレタニモ拘ラズ之ニ發言ヲ許可シマシタノハ右ノ理由ニ基キ衆議院規則ノ所謂質疑ト認メタカラデアリマス」ト答辯セリ（速記録三五七頁）

二八二 質疑ハ其ノ答辯ニ對スル質疑ト通シテ三回ヲ超ユルコトヲ得ス

會期ノ始ニ於ケル國務大臣ノ演說ニ對スル質疑タルト又ハ議案ニ對スル質疑タルトヲ問ハス第四十四回議會以來質疑ハ其ノ答辯ニ對スル質疑ト通シテ三回迄爲シ得ヘキコトトナリ而モ其ノ質疑應答ハ繼續スルコトヲ要スルモノトス

第四十五回議會 大正十一年一月二十六日荒川五郎君ハ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ヲ爲シ高橋内閣總理大臣ノ答辯アリ荒川君之ニ對シ質疑ヲ爲シ高橋内閣總理大臣、加藤海軍大臣ノ答辯アリタル際同君ヨリ重ネテ發言ヲ求メタルニ議長（奥繁三郎君）ハ質疑ハ成ルヘク二回ニ止ムル申合ナルモ三回迄之ヲ許シタル先例アルニ依リ敢テ許可セサルニ非サルモ極メテ簡單ニ發言セラレムコトヲ望ム旨ヲ告ケ其ノ發言ヲ許可セリ（速記録九七頁）

第五十回議會 大正十四年三月十七日議事日程第二政府提出藥劑師法案外一件ノ第一讀會ニ於テ土屋清三郎君ハ二回ニ渉ル質疑ヲ爲シ次テ森田茂君外一名ノ質疑ヲ終リ議長(粕谷義三君)質疑終局ノ宣告ヲ爲シタル際土屋君ハ片岡政府委員ノ答辯ニ對シ重ネテ質疑ノ許可ヲ求メタルモ議長之ヲ許ササリシヲ以テ議事日程第六ヲ終リタル際同君ハ議事進行ニ關スル發言ヲ求メ議長カ發言ヲ許可セサリシ理由如何ト述ヘタルニ議長(粕谷義三君)ハ質疑ハ既往ノ先例ニ依レハ二回ニ限レリ其ノ後或ル場合ニ於テハ三回迄之ヲ許シタルコトアルモ孰レモ繼續的ニ質疑ヲ爲セルモノナリ土屋君ハ既ニ二回ノ質疑ヲ爲シ而シテ中斷シテ更ニ發言ヲ求メラレタルモノナルニ依リ議長ハ之ヲ許可セサリシモノナリト答辯セリ(速記録六八四頁)

第五十六回議會 昭和四年二月二日鑛業法中改正法律案第一讀會ニ於テ田淵豐吉君ノ議案ニ對スル質疑第三回ニ對シ中橋商工大臣ノ應答アリタル際田淵君重ネテ質疑ヲ爲サムトシタルニ副議長(清瀬一郎君)ハ議案ニ對スル質疑ハ三回ヲ以テ限リト爲ス此ノ場合特ニ從來ノ慣例ヲ破ル必要ヲ認メスト告ケ之ヲ許ササリキ(速記録一六二頁)

參看 五一六號

二八三 質疑其ノ範圍ヲ超ユルトキハ中止セララル

質疑其ノ範圍ヲ超エ議題外ニ涉リ或ハ討論ニ渉ルモノト認メララルトキハ議長ハ注意ヲ爲シ其ノ發言ヲ中止ス

第四十回議會 大正七年三月二十日藤澤幾之輔君外四名提出衆議院議員選舉法中改正法律案外一件第一讀會ノ續會ニ於テ委員長報告ヲ終リタル際齋藤隆夫君ハ政府提出衆議院議員選舉法中改正法律案ノ撤回ノ件ニ付質疑ヲ許サレムコトヲ求メ院議之ヲ許可シタルニ同君ハ昨日ノ本員ノ質疑ニ對スル内務大臣ノ答辯ハ要領ヲ得サリシ旨ヲ述ヘ次テ政府ハ工業動員法案ノ通過ヲ圖ルカ爲選舉法ノ改正案ヲ犧牲ニ供シタリト云フ果シテ眞ナリヤト述ヘタルトキ議長(大岡育造君)ハ齋藤君ハ質疑ニ對スル答辯徹底セサルノ故ヲ以テ發言ヲ求メラレタリ然ルニ其ノ點ヲ放棄シテ更ニ新ナル質疑ヲ爲サムトスルモノト認ムルニ依リ同君ノ發言ヲ中止スル旨ヲ宣告セリ(速記録五三三頁)

第五十八回(特別)議會 昭和五年五月八日長尾半平君外十八名提出未成年者飲酒禁止法中改正法律案第一讀會ニ於テ山崎傳之助君ノ質疑中議長(藤澤幾之輔君)ハ再三質疑ノ範圍ヲ超エサル様注意ヲ爲シタル後同君ニ對シ其ノ發言ヲ中止シ降壇ヲ命スル旨宣告セリ(速記録二〇七頁)

第六十五回議會 昭和九年二月十五日谷原公君提出議員岡本一巳君ノ發言ニ關シ議長指名十八

名ノ調査委員ヲ設ケ事實ノ真相ヲ明ニスヘシトノ動議外一件ノ會議ニ於テ岡本一巳君ノ質疑中議長(秋田清君)ハ同君ニ對シ三度發言ノ範圍ニ付注意ヲ爲シタル後同君ノ發言ハ質疑ノ範圍ヲ超エタルモノト認メ中止ヲ命スル旨ヲ宣告セリ(速記録二七八頁)

同 昭和九年三月八日安達謙藏君外二名提出決議案(内閣不信任ノ件)ノ會議ニ於テ龜井貫一郎君ノ質疑中議長(秋田清君)ハ同君ニ對シ發言ノ範圍ニ關シ警告ヲ爲シタル後同君ノ發言ハ討論ニ渉ルモノト認メ中止ヲ命スル旨ヲ宣告セリ(速記録四七一頁)

參看 三〇四號、五六四號

二八四 質疑中其ノ發言ヲ中止セラレタルトキハ同一議題ニ對シ更ニ質疑ヲ

爲スコトヲ許サス

議案ニ對スル質疑中其ノ發言中止ヲ命セラレタルトキハ同一議題ニ付更ニ質疑ノ通告アルモ之ヲ許可セス

第六十五回議會 昭和九年二月二十二日政府提出非訟事件手續法中改正法律案外一件第一讀會

ニ於テ清瀬一郎君ハ質疑中其ノ發言質疑ノ範圍ヲ超ユルノ故ヲ以テ中止ヲ命セラレタルカ同

君ノ質疑ニ對シ小山司法大臣ノ應答アリタル際清瀬君ハ再質疑ノ發言ヲ求メタルニ議長(秋田清君)ハ清瀬君ニ對シテハ發言ヲ中止セルモノナルヲ以テ繼續セル再質疑ハ條理上之ヲ許可スルヲ得サル旨宣告セリ(速記録三三八、三三九頁)

參看 二八二號

二八五 議案ニ對スル質疑ハ委員付託ノ動議又ハ討論終局ノ動議成立後ハ之ヲ許サス

議案ニ對スル質疑ハ委員付託ノ動議提出前ハ之ヲ爲スコトヲ得ルモ動議成立後ハ之ヲ許サス又討論中質疑ヲ許可シタルコトアルモ討論終局ノ動議成立後ハ之ヲ許サス

第四十九回(特別)議會 大正十三年七月十一日政府提出贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案第一讀會ノ續會ニ於テ作間耕逸君ヨリ質疑竝討論終局ノ動議ヲ提出シ賛成者アリタル際田淵豐吉君ハ質疑ノ通告ヲ爲シアル旨ヲ述ヘタルニ議長(粕谷義三君)ハ通告アルモ作間君ノ質疑竝討論終局ノ動議成立シタル後ハ質疑ハ之ヲ許スヲ得サル旨ヲ告ケ右動議ノ採決ヲ爲セリ(速記録一六七頁)

第六十四回議會 昭和八年二月十四日昭和八年度本豫算案ノ討論中加藤鯛一君其ノ議題ニ關シ政府ニ對シ質疑ノ爲發言ヲ求メタルトキ議長(秋田清君)ハ討論中質疑ヲ許可スルハ議事整理上惡例ヲ開クノ虞アルモ極メテ簡單ナルモノナルニ於テハ之ヲ許可スル旨ヲ告ケ同君ニ其ノ發言ヲ許可セリ(速記録一九九頁)

參看 三八九號

二八六 討論ニ對スル質疑ハ之ヲ許ス但シ討論終局ノ動議成立後ハ之ヲ許サ

ス

討論ニ對スル質疑ヲ爲サムトスル者アルトキ之ヲ許シタルコトアルモ討論終局ノ動議成立後ハ直ニ其ノ動議ヲ採決スルノ外ナキヲ以テ之ヲ許サス

第三十七回議會 大正五年二月二十六日高木益太郎君外二名提出人權保護ニ關スル法律案外一件第一讀會ノ續會ニ於ケル討論中關和知君ノ反對演說ヲ終リタル際望月長夫君ハ關君ニ對シ質疑シタキ旨ヲ述ヘ議長(島田三郎君)ハ之ヲ許可シ望月君ハ質疑ヲ爲シ關君之ニ應答セリ(速記録七九三頁)

第五十八回(特別)議會 昭和五年五月十三日尾崎行雄君提出決議案(文部大臣奏薦ノ責任ニ關スル件)ノ會議ニ於ケル討論中議長(藤澤幾之輔君)ハ東、津雲兩君ノ討論ニ對シ工藤鐵男君ヨリ質疑ノ通告アルニ依リ之ヲ許可スル旨ヲ告ケ工藤君ノ發言ヲ許可セリ(速記録二九九、三〇〇頁)

參看 三八九號

二八七 議題トナリタル議案ニ關聯アル爲委員付託中ノ議案若ハ未タ議題ト

ナラサル議案ニ付質疑ヲ爲ス

第四十五回議會 大正十一年二月七日犬養毅君提出軍備縮少ニ關スル決議案ノ會議ニ於テ小山松壽君ハ犬養毅君ニ質疑スルト同時ニ曩ニ委員付託トナリタル大岡育造君外十名提出陸軍ノ整理縮少ニ關スル建議案ニ關シ山梨陸軍大臣ニ對シ質疑ヲ爲シ同大臣ハ之ニ應答セリ(速記録二〇〇頁)

同 大正十一年三月十八日議事日程第四ヲ終リタル際議事日程ヲ變更シテ政府提出貴族院送付取引所法中改正法律案ヲ議題ト爲シ山本農商務大臣趣旨辯明ノ後山邊常重君ハ同案ニ付質疑ヲ爲スニ當リ未タ議題ニ上ラサル議事日程第五取引所稅法中改正法律案(政府提出)ニ關聯セ

ル故ヲ以テ同案ニ付テモ質疑ヲ爲セリ(速記録七八頁)

二八八 質疑ニ對スル質疑ハ之ヲ許ササルヲ例トス

質疑ニ對スル質疑ハ之ヲ許ササルヲ例トスルモ左ノ場合ハ特ニ院議ヲ經テ之ヲ許可セリ

第四十三回(特別)議會 大正九年七月五日佐々木安五郎君ハ前日ノ島田三郎君ノ國務大臣ノ演

說ニ對スル質疑ニ對シ質疑ヲ爲サムトシタルニ議長(奥繁三郎君)ハ質疑ニ對スル質疑ハ院議

ニ諮ヒ之ヲ許スノ例ナル旨ヲ告ケ同君ノ質疑ヲ許可スルヤ否ニ付院議ニ諮ヒタルニ院議異議

ナク之ヲ許可スルニ決セリ(速記録二八頁)

參看 二八六號

第九節 發言及發言通告

二八九 發言ハ開議宣告ノ後ニ非サレハ之ヲ許可セス

議長開議ヲ宣告セサル以前ハ議事ニ付テハ勿論何人ヨリ何等ノ發言ヲ求ムルモ之ヲ許サス

第二十五回議會 明治四十二年二月六日議長ノ開議宣告前發言ヲ求ムル者アリタルトキ議長

(長谷場純孝君)ハ規則ニ依リ議長カ開會ノ宣告ヲセヌ以上ハ何人ニモ發言ハ許可セサル旨ヲ

告ケ之ヲ許ササリキ(速記録五七頁)

參看 七一號

二九〇 議事進行ニ關スル發言又ハ議員ノ身上ニ關スル辯明ハ議事日程ノ變更ヲ要セス之ヲ許可スルヲ例トス

議事進行、議場整理ニ關スル發言又ハ議員ノ身上ニ關シ辯明ヲ求ムルトキハ議事日程ノ變更ヲ要セス之ヲ許可スルヲ例トス而シテ第四十四回及第四十五回議會ノ始各派協議會ニ於テ議事進行又ハ議場整理ニ關スル發言ト雖他人ノ發言中ハ之ヲ爲ササルコトノ申合ヲ爲セリ

第十四回議會 明治三十三年一月三十一日工藤行幹君提出「曩ニ審査ノ爲付託シタル議員瀆職

ニ關スル法律案ハ速ニ委員會ノ審査ヲ終了シテ來ル二月五日迄ニ其ノ結果ヲ報告スヘシ」ト

ノ動議ニ對シ議長(片岡健吉君)ハ議事ノ進行ニ關スルコトハ議事日程ヲ變更セスシテ差支ナ

第二編 會議 第二章 議事通則 第九節 發言及發言通告 (二八八—二九〇)

シト思料ス是ニ異議ナケレハ將來議事進行ニ關スルコトハ議事日程ヲ變更セサルコトト爲シ
度旨ヲ述ヘタルニ院議異議ナカリキ(連記録二九五頁)

第四十六回議會 大正十二年三月六日田中善立君ハ議事進行ニ關シ發言ヲ求メ昨日本員ハ三輪
市太郎君ノ演說中再三再四議事進行ニ關シ發言ヲ求メ遂ニ書面ヲモ差出シテ之ヲ要求シタル
ニ拘ラス議長ハ幾多ノ前例ヲ無視シテ之ヲ顧ミサリシ理由如何ト問ヒ議長(粕谷義三君)ハ昨
日田中君ヨリ議事進行ノ發言ヲ求メラレタルモ當時三輪君ノ發言中ナリシヲ以テ他人ノ發言
中ニ於テ更ニ他ノ發言ヲ許スハ議事ノ進行上宜シカラスト考ヘ三輪君ノ演說ヲ終リ政府ノ答
辯アリタル後田中君ノ發言ヲ許可スル考ヘナリシ旨ヲ述ヘ尙他人ノ發言中議事進行ニ關スル
發言ヲ許可シタル先例アルモ多クハ懲罰ノ場合ナル旨ヲ答辯セリ(連記録五六一頁)

第五十一回議會 大正十五年三月二日濱田國松君ヨリ松島遊廓移轉問題ニ付政務官及議員ノ行
動ニ關シ調査スヘシトノ動議ヲ提出シ其ノ趣旨辯明後之ニ對スル質疑應答アリタル際岩崎勳
君、田中善立君、三木武吉君及箕浦勝人君ハ執レモ一身上ノ辯明ニ付發言ヲ求メ議長(粕谷義
三君)ハ之ヲ許可セリ(連記録六三四頁)

第五十九回議會 昭和六年二月五日作田高太郎君ヨリ議事日程ヲ變更シテ議員深澤豐太郎君及
藤井達也君懲罰事犯ノ件ヲ上程シ委員長ノ報告ヲ求メ其ノ審議ヲ進ムヘシトノ動議提出セラ

レタル際濱田國松君ハ此ノ動議ニ關聯セル議事進行ノ發言ヲ求メタルニ議長(藤澤幾之輔君)
ハ先ツ濱田君ノ議事進行ノ發言ヲ聽キ然ル後作田君ノ動議ヲ採決スル旨ヲ告ケ濱田君ノ懲罰
事犯ノ審査ニ關スル發言ヲ許可セリ(連記録二一五頁)

尙議事進行ニ關スル發言ハ一回ヲ原則トシ二回ニ互ルコトヲ得ス

第六十四回議會 昭和八年一月二十五日加藤鯛一君ハ前會ニ於ケル議員ノ質疑演說ノ趣旨ニ付
釋明ヲ求ムル爲議事進行ノ發言ヲ爲シ之ニ對シ菅田均君及松本忠雄君ノ釋明ヲ終リタル際加
藤君ハ重ネテ發言ヲ求メタルニ議長(秋田清君)ハ同一議事進行ノ發言ハ二回ニ渉ルヲ得サル
旨ヲ告ケ其ノ發言ヲ許可セサリキ(連記録九六頁)

同 昭和八年三月十八日多田滿長君ハ建議委員會ノ決議ニ付議事進行ノ發言ヲ爲シ之ニ對シ議
長(秋田清君)應答シタル際多田君ヨリ重ネテ發言ヲ求メタルニ議長ハ議事進行ノ發言ハ二回
ニ渉ルヲ得サル旨ヲ告ケ其ノ發言ヲ許可セサリキ(連記録六七七頁)

參看 二九一號

二九一 議事進行ニ關スル發言ト雖直接議題ト關係ヲ有スルモノ又ハ直ニ處理ヲ要スルモノノ外其ノ發言ノ時機ハ議長ノ決スル所ニ依ル

議事進行ニ關スル發言ハ議事日程ノ變更ヲ要セス直ニ之ヲ許可スルヲ例トスルモ第六十三回(臨時)議會昭和七年八月二十五日各派協議會ニ於テ今後議事進行ニ關スル發言ト雖直接議題ト關係ヲ有スルモノ又ハ直ニ處理セサルヘカラサルモノヲ除キテハ其ノ發言ヲ許可スルノ機會ハ之ヲ議長ノ裁量ニ委スルコトノ申合ヲ爲セリ而シテ議事進行ニ關スル發言ヲ求ムル者ハ豫メ其ノ要領ヲ記載シテ議長ニ提出スヘキモノトス

第六十三回(臨時)議會 昭和七年八月二十九日鈴木正吾君ハ議事進行ノ發言ヲ求メ今期議會ニ請願ノ爲上京セムトスル農民及商工業者ノ有志ヲ警察官カ壓迫牽制シテ其ノ上京ヲ阻止シ若ハ議會ノ通用門ニ於テ之ヲ遮斷シタル事實ニ對シ政府ノ所見ヲ質シタルニ對シ議長(秋田清君)ハ議場外ノ出來事ニ付政府當局ノ措置ニ關シ政府ニ警告シ質問スルカ如キハ議事進行ニ關スル發言トシテ取扱フコトハ相當ナラスト認ムル旨竝ニ之ヲ以テ將來議事進行ノ發言許可ノ先例ト爲ササル旨ヲ宣告セリ(速記録二一六、一一七頁)

同 昭和七年九月四日開議劈頭議長(秋田清君)ハ福田關次郎君ヨリ議事進行ニ關シ發言ヲ求メラレタルモ直ニ處理スルヲ要セサルモノト認メ後刻適當ノ機會ニ之ヲ許可スル旨ヲ告ケタリ

尙同日福田君發言ノ機會ナカリキ(速記録二八九頁)

第六十四回議會 昭和八年三月十八日開議劈頭議長(秋田清君)ハ多田滿長君ヨリ建議委員會ノ決議ニ付議事進行ニ關シ發言ヲ求メラレタルモ是ハ後刻適當ノ機會ニ之ヲ許可スル旨ヲ告ケ議事日程ノ議事ニ入り日程第一乃至第十一及日程ヲ變更シテ上程シタル政府提出法律案六件ヲ議了シタル際議長ハ曩ニ多田滿長君ヨリ通告ニ係ル議事進行ノ發言ヲ許可スル旨ヲ宣告セリ(速記録六七七頁)

第六十五回議會 昭和九年二月十三日議事日程ニ入ルニ先テ議長(秋田清君)ハ龜井貫一郎君ヨリ本院ノ品位ヲ毀損セル本會議速記録ノ一部ヲ議長ヨリ取消方取計フヘシトノ議事進行ニ關スル發言ヲ求メラレタルモ本件ハ後刻適當ノ機會ニ之ヲ許可スル旨ヲ告ケタルニ當日ノ議事日程全部ヲ議了シタル際青木雷三郎君ヨリ散會ノ動議出テ院議之ヲ可決シ散會セルニ依リ龜井君ハ發言ノ機會ナカリキ(速記録二四一頁)

參看 二九〇號

二九二 身上ニ關スル辯明ト雖場合ニ依リ之ヲ許サス

身上ニ關スル辯明ハ之ヲ許スヲ例トスルモ場合ニ依リ之ヲ許ササリシコトアリ而シテ懲罰ニ關スル場合ハ事犯アリト告ケラレタル議員懲罰動議ノ議決前辯明ノ爲數回ノ發言ヲ爲シ得ルモ議長ノ職權ヲ以テ懲罰委員ニ付セラレタル場合ハ議長ノ宣告ト同時ニ其ノ效力ヲ發生スルモノナルカ故ニ懲罰事犯ノ會議ニ於テ辯明ヲ爲スノ外ナキモノトス

第四十九回(特別)議會 大正十三年七月八日政府提出非常徵發令廢止ニ關スル法律案ノ第一讀會ニ入ルニ先チ田淵豐吉君ハ身上ニ關スル發言ヲ求メタルモ副議長(小泉又次郎君)ハ田淵君ハ既ニ懲罰委員ニ付セラレタル後ノ發言要求ナルノミナラス曩ニ懲罰委員ニ付スルノ動議出テタル際田淵君ノ或ル言辭ヲ取消スカ取消サヌカノ意思ヲ問フヘク發言ヲ許シタル際ニモ分身ノ辯明ハ盡サレ居ルモノト認ムル旨ヲ告ケ發言ヲ許ササリシカ(速記録一一〇頁)其ノ後政府提出復興貯蓄債券法案ノ第一讀會ニ入ルニ先チ更ニ田淵君ハ屢々身上ニ關シ發言ヲ求メタルヲ以テ副議長ハ懲罰事犯ニ關係ナキ身上ノ辯明ニ限り發言ヲ許可セリ(速記録一一一頁)尙同月十五日田淵豐吉君ハ謝辭朗讀ヲ命セラレタルニ拘ラス其ノ命ニ從ハサルニ依リ更ニ懲罰委員ニ付セラレ(速記録二〇五頁)同日其ノ懲罰事犯ノ會議ニ入ルニ先チ同君ハ一身上ノ辯明ヲ求メタルモ副議長(小泉又次郎君)ハ之ヲ許可セサル旨ヲ宣告セリ(速記録二一四頁)

第五十一回議會 大正十五年三月二十五日高橋熊次郎君ハ謝辭朗讀ヲ命セラレタルニ拘ラス其ノ命ニ從ハサルニ依リ更ニ懲罰委員ニ付スル旨ヲ宣告セラレタル際同君ハ一身上ノ辯明ノ爲發言ヲ求メタルモ副議長(小泉又次郎君)ハ之ヲ許可セサル旨ヲ宣告シ且同君ニ降壇ヲ命セリ

(速記録一〇八頁)

尙身上ニ關スル辯明ヲ交互ニ爲サシムルトキハ討論ニ涉ルノ虞アルヲ以テ之ヲ許可セサリシコトアリ

第六十五回議會 昭和九年二月十五日米田規矩馬君及林讓治君ハ二月八日ノ本會議ニ於ケル岡本一巳君ノ臺灣銀行ノ所有株式賣却ニ關スル質問演說中其ノ氏名ヲ指摘シテ爲セル言辭ニ關シ一身上ノ辯明ヲ爲シタルニ兩君ノ發言ヲ終リタル際岡本一巳君ヨリ兩君ノ辯明中自己ノ氏名ヲ指摘シテ爲セル言辭ニ關シ一身上ノ辯明ヲ求メタルニ議長(秋田清君)ハ岡本君ノ要求ヲ認容セムカ交互ニ身上ノ辯明ヲ繰返シ關係者ニ於テ討論ヲ重ヌルノ結果ト爲ルニ依リ之ヲ許可セサル旨ヲ宣告セリ(速記録二七三頁)

參考 二九〇號

二九三 議事進行ニ關スル發言並身上ニ關スル辯明ハ其ノ範圍ヲ超ユルコトヲ得ス

議事進行ニ關スル發言若ハ身上ニ關スル辯明ハ自ラ其ノ發言ノ範圍アリ然ルニ其ノ限界ヲ紊リ許可セラレタル發言ノ範圍ヲ超ユルトキハ其ノ發言ヲ中止セラル

第四十五回議會 大正十一年二月十四日大正十一年度本豫算案外一件ノ會議ニ於テ東武君ノ演說中ノ言辭ニ對シ濱口雄幸君ノ身上ノ辯明中議長(奥繁三郎君)ハ討論ニ涉ルモノトシテ其ノ發言ヲ中止セリ(速記録二三八頁)超エテ十六日小山松壽君ヨリ身上ニ關スル辯明ノ範圍ニ關シ議長ニ質シタルニ議長ハ「其方ノ把持サレル議論ニ付テハ許サス」ト答辯セリ(速記録二四四頁)

第五十回議會 大正十四年二月三日ノ會議ニ於テ猪野毛利榮君ノ議事進行ニ關スル發言中議長(粕谷義三君)ハ再三同君ニ對シ議事進行ノ範圍ヲ超エサル様注意ヲ爲シタル後同君ノ發言ハ議事進行ト認メラレサルニ依リ其ノ發言ヲ中止スル旨ヲ宣告セリ(速記録一五二頁)超エテ七日ノ本會議ニ於テ田淵豐吉君ハ之ニ關聯シテ議長ニ質シタルニ議長ハ「……從來此議事進行ノ名ニ於テ或ル問題ニ對シテ意見ヲ述ベラレ或ハ討論ニ涉ルガ如キ傾ノアリマスルコトハ議長ノ最モ遺憾トスル所デアリマス固ヨリ議員諸君ノ言論ハ自由デゴザイマス諸君ノ御意見ハ何等カノ方法ニ於テ之ヲ議場ニ御述ニナル機會ガアルノデアリマス必ズシモ議事進行ノ名ノミニ

依ツテ其意見ヲ御述ニナラヌデモ宜カラウト思フノデアリマス而シテ議事進行ノ名ニ於テ特色ナルコトヲ御述ニナリマスルコトハ決シテ議事ノ進行デハナイノデアリマス却テ議事ノ妨害ニナルノデアリマス故ニ議長ハ此議事進行ト云フモノハ力メテ之ヲ狹義ニ解釋ヲ致シタイト思フノデアリマス」ト答辯セリ(速記録一八二頁)

第六十五回議會 昭和九年二月二十日ノ會議ニ於テ清瀬一郎君ノ本日ノ議事ノ順序ニ關スル議事進行ノ發言中議長(秋田清君)ハ同君ニ對シ屢々發言ノ範圍ヲ超エサル様注意ヲ爲シタル後同君ノ言論ハ議長カ許可セル趣旨ヲ逸脱シタルモノト認メ其ノ發言ヲ中止スル旨ヲ宣告セリ(速記録三〇七頁)

參看 二八三號、五六四號

衆第二二〇條

二九四 自席ニ於ケル發言者ヲ登壇セシム

議員ノ發言ハ演壇ニ於テ爲スヘキモノナルモ自席ヨリ簡單ナル發言ヲ爲スコトヲ求ムルトキハ議長之ヲ許可スルヲ例トス然レトモ議長必要ト認ムルトキハ自席ニ於ケル發言者ヲ登壇セシム其ノ事例尠カラス

第二編 會議

第二章 議事通則

第九節 發言及發言通告

(二九三、二九四)

二百六十一

第四十二回議會 大正九年二月十日政府提出酒造税法中改正法律案第二讀會ニ於テ佐々木正藏君ハ議長ノ許可ヲ得テ自席ニ於テ修正意見ノ趣旨辯明中議長(大岡育造君)ハ「尙ホ御説明ニナルナラバ御登壇ヲ希望致シマス……徹底致シマセヌ」ト告ケ登壇ヲ促シ同君ハ登壇ノ上更ニ其ノ趣旨辯明ヲ繼續セリ(速記録一六五頁)

第五十九回議會 昭和六年二月二十一日政府提出治安警察法中改正法律案第一讀會ニ於テ安藤正純君ノ再度ノ質疑ニ對シ齋藤政府委員自席ヨリ答辯ヲ爲サムトシタルニ議長(藤澤幾之輔君)登壇ヲ促シタルニ依リ同政府委員ハ登壇ノ上應答セリ(速記録三九七頁)

參看 二六八號、三三九號

二九五 發言者ハ私話ニ應酬スルコトヲ得ス

發言中其ノ發言者ニ對シ不規則ナル言辭ヲ爲ス者アルモ發言者ハ之ニ應酬スルヲ得ス濫ニ應酬スルトキハ議長之ヲ注意シ若ハ禁止ス

第二十八回議會 明治四十五年二月二十二日小橋榮太郎君ハ其ノ提出ニ係ル北海道拓殖經營ニ關スル建議案ノ趣旨辯明中議席ニ於テ不規則ナル發言ヲ爲ス者ニ對シ應酬シタル爲議長(大

岡育造君)ハ同君ニ對シ私話ヲ禁スル旨ヲ宣告セリ(速記録一四七頁)

第五十二回議會 昭和二年三月三日高橋熊次郎君ハ議事進行ニ關スル發言中議席ニ於テ不規則ナル發言ヲ爲ス者ニ對シ應酬シタル爲議長(粕谷義三君)ハ同君ニ對シ私話ニ應酬セサル様注意セリ(速記録四二五頁)

第六十五回議會 昭和九年二月二十二日政府提出輸出組合法中改正法律案第一讀會ニ於テ鷲澤與四二君ノ質疑ニ對シ松本商工大臣應答中議席ニ於テ不規則ナル發言ヲ爲ス者ニ對シ應酬セタル爲議長(秋田清君)ハ同大臣ニ對シ私話ヲ爲ササル様注意セリ(速記録三三六頁)

二九六 外國語ハ慣用語又ハ已ムヲ得サル場合ノ外使用スルコトヲ得ス

外國語ハ已ムヲ得サル場合ノ外使用スルコトヲ得サルヲ原則トスルモ慣用語又ハ簡單ナルモノハ之ヲ認容スルヲ例トス但シ請願書ハ普通ノ邦文ヲ用ヒ若シ外國語ヲ用ヒサルヲ得サルトキハ註解ヲ附スヘキコトハ衆議院規則第一百五十三條ノ規定スル所ナリ

參看 五〇九號

二九七 同一議題中ト雖資格ヲ異ニスルトキハ再度發言ヲ爲スコトヲ得

同一議題ニ付テハ討論ノ爲ノ發言ハ二回ニ及フコトヲ得サルモ議案ノ提出者ハ趣旨辯明ノ爲、委員長ハ其ノ報告ノ爲數回ノ發言ヲ爲スコトヲ得ヘキヲ以テ同一議題中ト雖趣旨辯明若ハ委員長報告ノ補足トシテ再度ノ發言ヲ爲スコトヲ得ルハ勿論趣旨辯明又ハ委員長報告(少數意見ノ報告)後討論者ノ資格ヲ以テスルトキハ贊否ノ討論ヲモ爲スコトヲ得ルモノトス又質疑ヲ爲シタル後討論ニ加ハリタル事例尠カラス此等ノ場合ト雖其ノ發言ハ固ヨリ通告順ニ依ル

第二十五回議會 明治四十二年三月九日島田三郎君外五名提出非常特別稅法中改正法律案外二件ノ第一讀會ノ續會ニ於テ島田三郎君ハ本員ハ二箇ノ職分ヲ帶ヒテ登壇シ茲ニ本員ノ所思竝ニ委託セラレタル少數意見ノ報告ヲ爲ス旨ヲ述ヘ各案ニ對スル少數意見ノ趣旨ヲ辯明シ引續キ委員長報告ニ對スル反對ノ討論ヲ爲セリ(速記録三四五乃至三五六頁)

第四十二回議會 大正九年二月十七日政府提出議院法中改正法律案第一讀會ノ續會ニ於テ委員長小川寅六君委員長報告ヲ終リタル際議長(大岡育造君)ハ小川君ヨリ本案ニ付自己ノ意見ヲ述ヘ度シトノコトナルヲ以テ之ヲ許可スル旨ヲ告ケ同君ハ引續キ本案ニ對シ反對ノ討論ヲ爲セリ(速記録二五一、二五二頁)

第四十三回議會 大正九年七月十六日政府提出國債償還資金ノ繰入ヲ爲ササルコトニ關スル法

律案外十一件ノ第一讀會ノ續會ニ於テ委員長井上角五郎君ハ委員會ノ經過及結果ヲ報告シ次テ討論ニ入ルヤ同君ハ本案ニ贊成ノ討論ヲ爲セリ(速記録二五七乃至二六〇頁)

參看 二六四號、三四一號

二九八 發言中其ノ發言ノ一部ニ關シ懲罰委員ニ付セラルルモ尙發言權ヲ失ハス

發言中其ノ發言ノ一部ニ關シ懲罰委員ニ付スルノ動議提出セラレ必要已ムヲ得サル事情アルトキハ直ニ其ノ發言ヲ中止シ該動議ヲ採決スルコトアルモ採決ノ後其ノ發言ヲ繼續セシム又議長ノ職權ニ依リ發言中ノ一部ニ關シ懲罰委員ニ付セラレタルトキニ於テモ該宣告後其ノ發言ヲ繼續セシム

第四十九回(特別)議會 大正十三年七月十二日武藤山治君提出議院法中改正法律案第一讀會ニ於テ同君ノ趣旨辯明中不穩ノ言辭アリタル爲議場騷擾シタルニ依リ休憩ヲ爲シタルニ休憩後樋口秀雄君ヨリ武藤山治君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議提出セラレ該動議可決ノ後副議長(小泉又次郎君)ハ休憩前ニ引續キ武藤君ノ發言ヲ繼續セシムル旨ヲ告ケ同君ノ登壇ヲ許可セリ

(速記録一九〇頁)

第五十六回議會 昭和四年三月七日横山勝太郎君外二十一名提出決議案(遞相ノ處決ニ關スル件)ノ會議ニ於テ野田文一郎君ハ討論中其ノ發言ノ言辭ニ付議長(元田肇君)ヨリ取消ノ命ニ服セサルニ依リ懲罰委員ニ付セラレタルモ議長ノ宣告後尙討論ヲ繼續セリ(速記録六〇六頁)

參看 二八四號

案第一〇九條

二九九 發言中散會シタルトキハ次ノ會議日ニ於テ該事件ノ議題トナリタル際其ノ發言ヲ繼續セシム

發言中議場騷擾等ノ爲散會シタルトキハ次ノ會議日ニ於テ其ノ發言ニ係ル事件ノ議題トナリタル際前ノ發言ヲ繼續セシム

第五十二回議會 昭和二年三月二十四日大正十四年度決算外二件ノ會議ニ於テ清瀨一郎君ノ討論中議場騷擾ノ爲休憩シ休憩後會議ヲ開クヤ砂田重政君ヨリ議員清瀨一郎君ヲ懲罰議員ニ付スルノ動議提出セラレ提出者ノ趣旨辯明ニ次テ清瀨君ノ一身上ノ辯明中再ヒ議場騷擾シタル爲散會セリ而シテ翌二十五日假議長(森田茂君)ハ議事日程第一砂田重政君提出議員清瀨一郎

君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ヲ議題トスル旨ヲ宣告シ次テ清瀨君ノ一身上ノ辯明ヲ繼續セシメタル後該動議ヲ採決シ次テ議事日程第二大正十四年度決算ノ前會ノ續ヲ開ク旨ヲ宣告シ清瀨君ニ對シ討論繼續ノ爲ノ發言ヲ許可セリ(速記録八八二、八八三頁)

三〇〇 發言權ハ之ヲ拋棄スルコトヲ得

議員ハ發言ノ許可ニ依リ發言權ヲ得ルモ之ヲ拋棄スルハ自由ナルヲ以テ議事ノ都合ニ依リ又ハ議場喧騒ノ爲之ヲ拋棄シタルコト尠シトセス尙議長ニ於テ發言通告順ニ依リ發言ヲ許可シタルモ議員議席ニ在ラザリシ故ヲ以テ發言ヲ拋棄シタルモノト看做サレタルコト屢アリ

參看 三九一號

三〇一 議長ノ命ニ依リ書記官長及書記官演壇ニ於テ發言ス

第一回議會 明治二十四年一月二十日議長(中島信行君)ハ議場燒失ニ關スル始末書ヲ報告シ且書記官長ヨリ實地ヲ見分シ且彼是其ノ處置ヲ爲シタル所ノ模様ヲ報告セシムル旨ヲ告ケ會場

第二編 會議

第二章 議事通則

第九節

發言及發言通告

(二九九、三〇一)

二百六十七

書記官長ハ登壇ノ上其ノ見分シタル顛末ヲ詳述セリ(連記録四六四、四六五頁)
第十八回(特別)議會 明治三十六年五月二十七日犬養毅君外四名提出上奏案ノ無名投票ヲ行フ
ニ際シ副議長(杉田定一君)ハ此ノ投票ノコトニ付前ノ如キ間違ノ起ラサル様書記官ヲシテ説
明セシムルニ依リ靜聽セラレムコトヲ望ム旨ヲ告ケ寺田書記官ハ登壇ノ上其ノ構造及使用方
法ニ付説明セリ(連記録六一頁)

衆第一〇四條

三〇二 發言通告ハ其ノ事件ノ議事日程ニ掲載セラレタル後之ヲ受理ス但シ
議事日程ニ掲載ナキ事件ニ對シテハ議長會議ニ付スルノ宣告後之ヲ受理ス
第一回及第二回議會ニ於テハ議案ニ對スル發言ノ通告ハ其ノ議案ノ議事日程掲載前ニ於テモ之ヲ
爲ス者アリシモ第三回(特別)議會以來議事日程掲載後ニ非サレハ之ヲ受理セサルコトナレリ
議事日程ヲ變更シ若ハ追加シテ上程セル議案ニ對シ又ハ動議ニ對シテ爲ス發言ノ通告ハ議長之ヲ
會議ニ付スルノ宣告ヲ俟テ受理ス
發言通告者ハ別ニ定メタル用紙ニ氏名、件名、反對、賛成等ノ事項ヲ記入シ之ヲ書記官ニ交付シ書
記官ハ受理ノ日時ヲ記入シ通告ノ前後ヲ明ニシ發言表ヲ作製ス

參看 三〇四號

三〇三 政府又ハ貴族院提出議案ニ對スル討論ノ發言通告ハ委員會報告後其
ノ議案ノ議事日程ニ掲載セラレタル後之ヲ受理ス
政府又ハ貴族院提出ノ議案ハ委員ニ付託セラルルモノナルニ依リ討論ハ委員會ノ報告後ニ於テ爲
スヘキモノナリ從テ討論ノ通告ハ委員ノ審査ヲ省略セル場合ノ外委員會報告後其ノ議案ノ議事日
程ニ掲載セラレタル後之ヲ受理ス法律案ノ討論通告ニ付第十二回(特別)議會ノ始ニ於テ議長(片
岡健吉君)ハ政府及貴族院提出法律案ノ第一讀會ニ於テノ討論發言通告ハ必ス委員會報告後其ノ
議案ノ議事日程ニ掲載セラレタル後受理スルコトト定メタル旨各部ニ揭示セリ

三〇四 質疑又ハ討論ノ發言順位ハ各派ノ協議ニ依リ之ヲ定ム
前項ニ依リ定マリタル發言者ハ其ノ順位ヲ讓渡スルコトヲ得
發言ノ順位ハ通告ノ順序ニ依リ之ヲ許スヘキコトハ衆議院規則ニ規定スル所ナルモ通告同時ニシ

衆第一〇四條
衆第一〇五條

第二編 會議

第二章 議事通則

第九節 發言及發言通告

(三〇二—三〇四)

二百六十九

テ多數ニ上リタルトキハ通告者間ノ協議又ハ抽籤ニ依リ其ノ順位ヲ定メ或ハ通告者ノ屬スル黨派
幹部ノ會合ヲ求メ其ノ協議ニ依リ發言ノ順位ヲ定メタリシモ第五十一回議會大正十五年二月十日
ノ各派協議會ニ於テ將來ハ通告ノ前後ヲ問ハス質疑及討論ノ通告ニ限リ總テ所屬黨派議員數ノ按
分率ニ依リ發言ノ順位ヲ定ムルコトトナリ爾來每會期各派協議會ニ於テ此ノ例ニ依リ協定ス
尙右協定ニ依ル發言順位ハ同一黨派内ニ在リテハ勿論黨派ヲ異ニスル場合ニ於テモ發言通告者間
ノ協議ニ依リ之ヲ讓渡スルコトヲ得

參看 二七四號

三〇五 修正案ノ提出者ハ他ノ發言通告ニ先チ其ノ趣旨ヲ辯明スルコトヲ得
議案ニ對スル修正案ノ提出者其ノ趣旨ヲ辯明セムトスルトキハ他ノ發言通告者アルモ之ニ先チ趣
旨辯明ヲ許可セラルルヲ例トス

第一回議會 明治二十四年二月七日明治二十四年度歳入歳出總豫算案歳出經常部外務省所管ノ
會議ニ於テ佐々田懋君ヨリ發言ヲ求メタルトキ議長(中島信行君)ハ發言通告ノ順序アルモ佐
々田君ハ修正案ノ提出者ナルニ依リ先ツ其ノ發言ヲ許可スル旨ヲ告ケ修正案ノ趣旨辯明ヲ許

可セリ(速記録六一五頁)

第四回議會 明治二十六年二月七日河野廣中君外三名提出上奏案ノ會議ニ於テ森本藤吉君ノ發
言通告ハ第十番ナリシモ議長(星亨君)ハ森本君ノ發言通告ハ修正案趣旨辯明ノ爲ナルニ依リ
通告順ニ拘ラス先ツ同君ノ發言ヲ許可スル旨ヲ告ケ其ノ趣旨辯明ヲ許可セリ(速記録七四四頁)
第二十五回議會 明治四十二年三月九日森本駿君外四名提出會計法中改正法律案第二讀會ニ於
テ議長(長谷場純孝君)ハ討論第一通告者タル小川平吉君ニ對シ只今鳩山和夫君ヨリ成規ニ據
リ修正動議提出セラレタルヲ以テ小川君ノ發言前鳩山君ノ發言ヲ許可シ度旨ヲ告ケ鳩山君ノ
趣旨辯明ヲ許可シ次テ小川君ノ討論ヲ許可セリ(速記録三四二頁)

參看 二六一號、三五七號、三五八號

**三〇六 委員長報告ノ補足若ハ少數意見ノ補足ハ他ノ發言通告ニ先チ之ヲ述
フルコトヲ得**

委員長報告若ハ少數意見ノ報告ハ其ノ議案ノ議題トナリタルトキ之ヲ爲スヲ例トスルヲ以テ其ノ
補足ノ申出アルトキハ他ノ發言通告ニ先チ之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

第八回議會 明治二十八年三月二十二日喜多川孝經君外三名提出郡長任用法案ニ關スル建議案ノ會議中「討論終結」ト呼フ者アリタルモ議長(楠本正隆君)ハ喜多川孝經君ヨリ委員長報告補足ノ申出アル旨ヲ告ケ喜多川委員長ヲシテ其ノ報告ヲ補足セシメタリ(速記録九〇七頁)

第十回議會 明治三十三年三月十二日政府提出國有土地森林原野下戻法案第二讀會ニ於テ議長(鳩山和夫君)ハ工藤行幹君ニ少數意見補足ノ發言ヲ許可スル旨ヲ宣告セルニ中村彌六君ハ「通告ノ順序ニ御許シテ願ヒタイ」ト述ヘタルモ議長ハ工藤君ノ發言ハ少數意見ノ補足ナルニ依リ先ツ之ヲ許可シ然後通告順ニ依テ發言ヲ許可スル旨ヲ宣告セリ(速記録三七八頁)

第四十回議會 大正七年三月十六日村松恆一郎君提出物價調節ニ關スル建議案外二件ノ會議ニ於テ委員長田中隆三君ハ森田茂君ノ修正動議ノ趣旨辯明ヲ終リタル際委員長報告補足ノ爲發言ヲ求メタルニ議長(大岡育造君)ハ他ノ發言通告ニ先チ之ヲ許可セリ(速記録五〇四頁)

參看 三四一號、三五二號

三〇七 發言通告ハ同一讀會中其ノ效ヲ失ハサルモ次ノ讀會ニ繼續セス
法律案ニ對スル質疑討論ノ通告ヲ爲シタル者議事ノ都合ニ依リ發言スルコトヲ得サリシ場合ニ於

テハ其ノ議案ノ同一讀會中ハ通告ノ效ヲ失ハサルニ依リ該議案ノ前會ノ續ニ於テ發言スルコトヲ得然レトモ通告ノ效力ハ次ノ讀會ニ繼續セサルヲ以テ次ノ讀會ニ於テ質疑討論ヲ爲サムトスル者ハ更メテ發言ノ通告ヲ爲スヲ要ス

參看 三〇二號、三〇三號

第十節 發言ノ制止及取消

三〇八 議長ハ議員ノ發言議題外若ハ範圍外ニ涉リ又ハ不穩若ハ議事妨害ト認ムルトキハ之ヲ制止シ又ハ取消ヲ命ス

議長ハ議員ノ發言議題外ニ涉リ又ハ不穩ナリト認メ之ヲ制止シ又ハ取消ヲ命シタルコトアリ又發言其ノ範圍ヲ超エ若ハ議事妨害ト認ムルトキ其ノ發言ヲ制止シタルコトアリ其ノ事例尠カラス

(一) 議題外ニ涉リタルトキ

第五十九回議會 昭和六年二月十二日末松偕一郎君外三名提出治安警察法中改正法律案外二件

第二編 會議

第二章 議事通則

第十節 發言ノ制止及取消

(三〇七、三〇八)

二百七十三

第一讀會ニ於テ大山郁夫君ノ質疑中副議長(小山松壽君)ハ同君ノ發言ニ對シ再三注意ヲ爲シ且本案ニ關係ナシト認メ其ノ發言ヲ中止シ降壇ヲ命セリ(速記録二六四頁)

(二) 不穩ノ言語ヲ用ヒタルトキ

第五十八回(特別)議會 昭和五年五月十三日議長(藤澤幾之輔君)ハ去ル十一日尾崎行雄君提出決議案ノ會議ニ於ケル森本一雄君ノ質疑中最後ノ發言ハ之ヲ不穩當ト認ムルニ依リ同君自ラ取消スヘキコトヲ勸告セルニ森本君ハ取消ササリシヲ以テ議長ハ更ニ取消ヲ命スル旨ヲ宣告セリ(速記録二八四頁)

(三) 許可ノ範圍外ニ涉リタルトキ

第五十六回議會 昭和四年三月十二日床次竹二郎君外十九名提出衆議院議員選舉法中改正法律案第一讀會前會ノ續ニ於テ武富濟君ノ「本案ニ對スル質疑ハ來ル三月十四日ニ延期スヘシ」トノ動議ノ趣旨辯明中副議長(清瀬一郎君)ハ注意ヲ爲シタル後武富君ノ發言ハ動議ノ趣旨辯明ニ非スシテ一種ノ討論ニ類スルモノト認ム仍テ議長ハ武富君ノ趣旨辯明ハ此ノ程度ヲ以テ中止スル旨ヲ宣告セリ(速記録六八四頁)

第五十九回議會 昭和六年一月二十六日開議劈頭淺原健三君ノ議事進行ノ發言中議長(藤澤幾之輔君)ハ同君ニ對シ發言其ノ範圍ヲ超エサルヤウ再三注意ヲ爲シタル後同君ノ發言ヲ中止スル旨ヲ宣告セリ(速記録八四頁)

第六十五回議會 昭和九年二月十五日谷原公君提出議員岡本一巳君ノ發言ニ關シ議長指名十八名ノ調査委員ヲ設ケ事實ノ真相ヲ明ニスヘシトノ動議外一件ノ會議ニ於テ岡本一巳君ノ質疑中議長(秋田清君)ハ同君ニ對シ三度發言ノ範圍ニ付注意ヲ爲シタル後同君ノ發言ハ質疑ノ範圍ヲ超エタルモノト認メ其ノ發言ノ中止ヲ命スル旨ヲ宣告セリ(速記録二七七、二七八頁)

(四) 議事妨害ト認メタルトキ

第五十回議會 大正十四年三月二日政府提出衆議院議員選舉法改正法律案第二讀會ニ於テ倉元要一君ハ本案反對ノ討論中參考文書印刷物ヲ朗讀シテ容易ニ其ノ論旨ヲ進メサルニ依リ議長ハ屢々同君ニ注意ヲ爲シタル後參考文書ハ速記録ニ掲載ノ便宜アルニ依リ時間ヲ尊重シテ徳義上之カ朗讀ヲ止メラレムコトヲ望ム旨ヲ告ケタル際議場騷擾シテ一時休憩シ再開ト同時ニ議長(粕谷義三君)ハ倉元要一君ノ演說ニ對シ議長ハ再三注意シタルニ拘ラス同君ハ依然トシテ參考文書ヲ朗讀シ少シモ其ノ論旨ヲ進メス如キハ徒ニ議事ヲ妨害セルモノト認ム仍テ

議長ハ同君ノ發言ヲ中止スル旨ヲ宣告セリ(速記録四九八頁)

參看 二七八號、二八三號、五四五號、五六一號、五六四號

三〇九 院議ニ依リ不穩ノ言語ヲ取消サシメ又ハ速記録ニ記載セス

議員ノ發言中不穩ノ言語アリタルトキハ院議ニ依リ之ヲ取消サシメ又ハ其ノ言語ヲ速記録ニ記載セサリシコトアリ而シテ既ニ速記録記載後ニ於テ取消ト決シタル場合ハ取消サレタル言語ノ記載箇所ヲ示シ削除スル旨ヲ速記録ニ掲載ス

第一回議會 明治二十四年一月十二日西毅一君提出豫算委員ノ査定案ニ對スル動議ノ會議中南磯一郎君ノ發言ニ對シ犬養毅君ハ南君ハ佛蘭西革命時代ノコトヲ述ヘタルモ斯ル不祥ナル言語ヲ此ノ議場ニ於テ述フルハ議會ノ神聖ヲ瀆スモノナリ速ニ其ノ言語ヲ取消スヘシトノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決セリ(速記録三四一頁)

第四回議會 明治二十六年二月二十三日田中正造君其ノ提出ニ係ル犯罪者搜索ニ關スル口頭質問中引證セル文書ニ關シ議長(星亨君)ハ田中君ノ演說中引證トシテ朗讀シタル所謂檄文ハ議院法第九十一條及第九十二條ニ牴觸スルノ嫌アリ或ハ皇室ニ對シ或ハ他人ノ身上ニ涉ルノ

嫌アルニ依リ速記録ニ記載セサルコトトシ度旨ヲ諮リ質疑討論ノ後院議引證文書ノ全部ヲ速記録ニ掲載セサルコトニ決セリ(速記録九八三、九八四頁)

第三十九回(特別)議會 大正六年七月三日横田千之助君ハ六月三十日決議案ノ會議ニ於テ尾崎行雄君ノ爲シタル演說中國務大臣ノ身上ニ關スル部分ノ取消ヲ要求スルノ動議ヲ提出シ之ニ對シ尾崎行雄君ハ辯明ノ後取消スヘキ理由ナシトテ之ヲ拒絕シタルモ院議本動議ヲ可決セルヲ以テ尾崎君ハ登壇ノ上之カ取消ヲ爲セリ(速記録九五頁)

第四十七回(臨時)議會 大正十二年十二月二十二日松山常次郎君外二名提出燒失遊廓再興不許可ニ關スル建議案ノ會議ニ於テ鈴木錠藏君ヨリ中野寅吉君ノ該案ニ對スル質疑演說中用語卑猥ニ涉リ議會ノ品位ヲ傷クルモノアルニ依リ其ノ箇所ヲ速記録ヨリ削除セラレムコトヲ望ム旨ヲ述ヘタルニ議長(粕谷義三君)ハ調査ノ上適當ノ處置ヲ爲ス旨ヲ答ヘ(速記録二〇八頁)翌二十三日ノ會議ニ於テ昨日速記原稿ヲ調査セルニ如何ニモ不用意ノ言語アリト認メタルニ依リ其ノ箇所ハ速記録ヨリ之ヲ削除セル旨ヲ告ケ尙削除ノ箇所ニ關シテハ議長ノ執リタル處置ヲ承認セラレ度旨ヲ述ヘタルニ院議異議ナカリキ(速記録二一七頁)

第六十五回議會 昭和九年三月三日議員岡本一巳君ノ發言ニ關スル事實調査ノ件委員長報告ヲ可決シタル際砂田重政君ヨリ議員岡本一巳君ノ本會議及調査委員會ニ於ケル發言ニ關シ取消

ヲ求ムルノ動議又工藤鐵男君ヨリ議員岡本一巳君ノ本會議及調査委員會ニ於ケル發言中某大臣ノ金圓分配ニ關スル言辭ノ取消ヲ求ムルノ動議提出セラレ一括シテ起立採決ノ結果之ヲ可決セリ議長(秋田清君)ハ右動議採決ノ結果ヲ宣告シタル後岡本一巳君ニ對シ只今決定シタル院議ニ對シ承服ノ意思表示ヲ求ムル旨ヲ告ケ岡本君ハ某大臣ノ金圓分配ニ關スル件ハ之ヲ取消スモ爾餘ノ點ニ付テハ取消ヲ爲ササル旨ヲ述ヘ議長ハ岡本一巳君ハ院議ニ服從セサルニ依リ議院法第九十五條ニ依リ同君ヲ懲罰委員ニ付スル旨ヲ宣告セリ(速記録四二乃至四一四頁)尙既ニ速記録ニ記載セラレタル言辭ハ之ヲ削除スル旨三月四日附速記録ニ掲載セリ(速記録四一四頁)

三二〇 議員自ラ不穩ノ言語ヲ取消シ又ハ釋明ス

議員ノ發言中不穩ノ言語アリタルトキ議長ヨリ其ノ取消ヲ勸告セラレ又ハ他ノ議員ヨリ取消ヲ求メラレタル爲議員自ラ其ノ言語ノ取消ヲ爲シ又ハ釋明ヲ爲シタルコト尠カラス

第五十一回議會 大正十五年三月十日政府提出關稅定率法中改正法律案ノ第二讀會ニ於テ高橋熊次郎君ハ紫安新九郎君ノ討論中ノ言辭ニ對シ取消ヲ望ム旨ヲ述ヘタルニ紫安君ハ高橋君ニ對シテ或ハ失禮ニ涉ルカ如キ言辭アリタルヤモ圖ラレス茲ニ之ヲ取消ス旨ヲ述ヘタリ(速記

錄七四二頁)

第五十九回議會 昭和六年二月十二日開議劈頭議長(藤澤幾之輔君)ハ淺原健三君ニ對シ去ル一月二十四日同君ノ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑中ノ言辭ハ不穩當ト認ムルニ依リ取消ヲ勸告スル旨ヲ告ケタルニ同君ハ既ニ速記録ニ正誤(二月五日)セル旨ヲ述ヘタルモ議長ハ斯ノ如キ問題ハ暗々裡ニ文字ノミノ訂正ニ依リテ抹消シ得ヘキモノニ非サレハ此ノ議場ニ於テ明ニ取消ヲ爲スコトヲ勸告ス尙同君ニ於テ取消ヲ爲ササルトキハ議長ハ別ノ手段ヲ執ル旨ヲ告ケタルニ同君ハ取消ヲ爲ス旨ヲ述ヘタリ(速記録二四四頁)

第六十四回議會 昭和八年一月二十五日國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ノ際加藤鯛一君ハ議事進行ノ發言ヲ求メ昨二十四日ノ本會議ニ於ケル芦田均君ノ質疑ハ「ジエネヴァ」ニ誤傳セラレ帝國外交上不利影響ヲ及ホスノ虞アリト思料ス又同日松本忠雄君ノ質疑ハ帝國外交ニ對スル我カ國論ノ不一致ナルカ如キ言辭アリタリト思料ス依テ議長ハ兩君ニ對シ取消若ハ釋明ヲ爲サシムル意思アリヤヲ質シタルニ議長(秋田清君)ハ芦田、松本兩君ニ交渉シ兩君ハ各之カ釋明ヲ爲セリ(速記録九五、九六頁)

第六十五回議會 昭和九年三月八日安達謙藏君外二名提出決議案(內閣不信任ノ件)ノ會議ニ於テ鈴木正吾君ノ本案ニ對スル贊成討論中他人ノ身上ニ涉リタル際議長(秋田清君)ハ鈴木君ニ

對シ他人ノ身上ニ涉ル言論ハ法規ノ禁止スル所ナル旨ヲ注意シ鈴木君ハ議長ノ注意ニ從ヒ之ヲ取消ス旨ヲ述ヘタリ(速記録四七六頁)

三二一 速記録ニ掲載セラレタル不穩ノ言語ニ付議長取消ヲ命シ又ハ正誤ス議長ハ議員ノ發言ニシテ既ニ速記録ニ掲載セラレタル後不穩ノ言辭アリト認メタルトキハ其ノ言辭ニ付發言者ニ對シ注意ヲ爲シ其ノ結果或ハ之ヲ取消サシメ或ハ之ヲ正誤ス

第二十五回議會 明治四十二年二月二十五日坂本彌一郎君ハ前會ノ速記録ニ掲載セル不穩ノ言語ニ關シ議長ニ質セルニ議長(長谷場純孝君)ハ篤ト調査ヲ爲ス旨ヲ答辯シ(速記録二〇頁)超エテ二十七日ノ會議ニ於テ本月二十三日ノ本會議ニ於テ武藤金吉君ノ發言中佐々木君ハ少シ發狂ノ氣味アリ云々ノ發狂ノ文字ニ付當時ノ速記原稿ヲ調査セルニ二人ノ速記者中主任記者ノ原稿ニハ發狂トアリ補助記者ノ原稿ニハ病氣トアリ反文ノ際主任速記者ノ原稿ヲ採用シテ發狂ト記載セリ當時議場騷擾ノ爲ニ速記原稿モ一致セサリシモノト思ハルルカ故ニ孰レヲ正確トスルヤ判定スルニ苦シム然レトモ武藤金吉君ヨリ病氣ト發言セリトノ申出アリタル以上ハ是ヲ確實ト認ムルノ外ナシト告ケ(速記録二四六頁)當日ノ速記録ニ於テ之ヲ正誤セリ(速記録二四八頁)

第四十五回議會 大正十一年二月二十八日安達謙藏君外五名提出決議案ニ對スル關和知君ノ趣旨辯明中「不名譽ナル二百八十餘人ノ多數ヲ選出シタ云々」ノ語アリ之ニ對シ議員ヨリ取消スヘシトノ議アリ三月二日議長(奥繁三郎君)ハ關君ニ對シ右言辭ノ取消ヲ命シタルニ對シ同君ハ「不」ノ字ヲ削ル旨ヲ述ヘ訂正セリ(速記録四五三頁)

第十一節 參考文書ノ朗讀

三二二 文書ハ引證若ハ報告ノ外之ヲ朗讀スルコトヲ得ス
會議ニ於テハ自己ノ意見書又ハ理由書ヲ朗讀スルヲ得然レトモ演說ノ引證又ハ或事項ヲ報告スル爲簡單ナル文書ヲ朗讀スルコトヲ妨ケス而シテ其ノ朗讀ハ議員自ラ之ヲ爲スヲ例トスルモ書記官長若ハ書記官ヲシテ之ヲ爲サシメタルコトアリ

(一) 引證ノ爲朗讀シタル例

第十回議會 明治三十年二月二十六日政府提出新聞紙條例中改正法律案第一讀會ノ續會ニ於テ

工藤行幹君ハ本案賛成ノ演說中便宜ノ爲書記官或ハ其ノ他ノ者ニ本案ニ關スル參考書ヲ朗讀セシメタキ旨ヲ請求シタルニ議長(鳩山和夫君)ハ院議ニ諮ヒ書記官ヲシテ參考書ヲ朗讀セシメタリ(速記録二〇三頁)

第四十二回議會 大正九年一月二十四日國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ニ對シ高橋大藏大臣ノ答辯中「サー、チャールズ、ウキード」氏ノ物價問題ニ關スル說ヲ引用朗讀シタルニ議場騷然タリ依テ議長(大岡育造君)ハ引證ノ爲簡單ナル文書ヲ朗讀スルハ法規ノ認ムル所ナル旨ヲ告ケ靜肅ノ注意ヲ爲セリ(速記録四九頁)

第五十六回議會 昭和四年一月二十九日原夫次郎君ハ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑中佐藤實君ノ刑事事件ニ關スル「聽取書」ナルモノヲ朗讀セルニ議場騷然タリ依テ副議長(清瀬一郎君)ハ衆議院規則ニ依レハ演說ノ代リノ朗讀ハ許サレサルモ報告又ハ引證ノ爲文書ヲ朗讀スルハ許サレタル所ニシテ唯簡單ナルヲ要ス依テ原君ニ質シタル所簡單ナル趣ナレハ引續キ之ヲ許可スルモ尙長キニ渉ルニ於テハ適宜處置スル旨ヲ述ヘタリ(速記録一三五頁)

(二) 報告ノ爲朗讀シタル例

第八回議會 明治二十八年二月四日及二月六日政府委員林外務次官ハ清國講和使接見ニ關スル

帝國全權辦理大臣ノ報告書ヲ朗讀セリ(速記録三六一、四〇九頁)

第十六回議會 明治三十五年二月十二日小村外務大臣ハ帝國政府ト英國政府トノ間ニ成立シタル協約ノ顛末報告ノ演說中其ノ協約全文ヲ朗讀セリ(速記録二四四頁)

第二十回(臨時)議會 明治三十七年三月二十九日山本海軍大臣ハ第二回旅順口閉塞事業ニ關スル聯合艦隊司令長官ヨリノ報告書ヲ朗讀セリ(速記録五九頁)

然ルニ第四回議會ニ於テ意見書ナルニ拘ラス之ヲ他人ノ文書トシテ朗讀ヲ許可シタルコトアリ

第四回議會 明治二十五年十二月一日内閣總理大臣臨時代理井上内務大臣ハ伊藤内閣總理大臣ノ施政ノ方針ニ關スル筆記ヲ朗讀シタルトキ議長(星亨君)ハ高須峰造君ノ問ニ對シ「議長ハ衆議院規則ノ百十二條(改正百十六條)ハ意見書又ハ理由書ヲ朗讀スルコトハ出來ナイ或ハ之ヲ政府委員トカ大臣等ニ用フベキモノデアルカナイカト云フ様ナコトハ決スルノ必要ガナイ此百十二條ハ意見書ト理由書ヲ朗讀スルコトハ出來ナイト云フノハ其人ノ意見書理由書ヲ朗讀スルコトガ出來ナイト云フコトデアツテ決シテ他ノ人ニ係ル今日ノ如キ伊藤總理大臣ガ不慮ノ負傷ヲサレタ如キ有様ニ於テ其人ノ言フコトヲ此處ニ朗讀ハ出來ナイト云フ意味トハ議長ニ於テハ解釋致シマセヌソレデ今内務大臣井上君ガ總理大臣ノ意見ヲ朗讀スルコトニ於テハ此條ノ關係スル所デナイト議長ハ考ヘマス」ト答辯セリ(速記録七頁)

三一三 參考文書ハ議長ノ許可ヲ得テ之ヲ速記録ニ掲載スルコトヲ得但シ發賣頒布ヲ禁セラレタルモノ若ハ浩瀚ノモノハ此ノ限ニ在ラス

議案ノ趣旨辯明又ハ質問ニ際シ若ハ委員長報告ニ當リ簡單ナル參考文書ヲ速記録ニ掲載セムコトヲ請求スルトキハ議長ハ其ノ内容ヲ調査シ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ許可ス然レトモ發賣頒布ヲ禁セラレタルモノ若ハ浩瀚ノモノハ院議ニ依リ又ハ議長ニ於テ之ヲ許可セス

第三十七回議會 大正四年十二月十四日廣岡宇一郎君ハ大浦氏不起訴ニ關スル再質問ノ際參考書トシテ瀆職事件ニ關スル訴訟記録ノ朗讀ヲ省略シ速記録ニ掲載セムコトヲ求メタルニ(速記録九六頁)超エテ同月十七日議長(島田三郎君)ハ七百頁ノ大冊ニシテ印刷能力其ノ他ノ關係ヨリ實行極メテ至難且斯ノ如キ浩瀚ナル書冊ヲ掲載スルハ將來ノ例トナルニ依リ議場ニ諮ル旨ヲ告ケ採決ノ結果之ヲ掲載スヘカラスト決セリ(速記録一九乃至一二七頁)

同月十五日佐々木安五郎君ハ乃木問題ニ關スル質問中參考トシテ發賣ヲ禁止セラレタル大正四年十一月一日及同月十五日發行ノ雜誌「日本及日本人」中ノ記事ヲ速記録ニ掲載セムコトヲ求メ(速記録一〇三頁)超エテ翌年一月二十六日議長(島田三郎君)ハ其ノ許可ヲ院議ニ諮ヒタルトキ政府ヨリ秘密會ノ要求アリ議長ハ秘密會議ノ結果速記録ニ掲載スヘカラスト決シタル旨報告セリ(速記録三五頁)

第四十回議會 大正七年三月五日田中善立君ハ國民思想ニ關スル質問ノ際同年二月十一日發行ノ雜誌「日本及日本人」中ノ記事ノ一部ヲ參考トシテ掲載セムコトヲ要求シタルニ(速記録三七頁)掲載セラレサルヲ以テ同月二十三日同君ヨリ右ハ發賣ヲ公許セラレ居ルモノニシテ風教上國民思想上質サムトスルモノナルニ之ヲ掲載セサルハ如何ナル理由ニ基クヤヲ問ヒ副議長(濱田國松君)ハ演說材料タル新聞雜誌類ニシテ朗讀セラレサリシモノヲ速記録ニ掲載スルハ議長ニ於テ許可スルモノニ限り之ヲ掲載シ來レリ而シテ只今申出ノ分ハ議長ニ於テ掲載スルコト宜シカラサルモノト認メテ許可セサリシ旨答辯セリ(速記録五七三頁)

第四十四回議會 大正十年二月十七日小橋藻三衛君外二名提出決議案(阿片取扱ニ關スル件)ノ會議ニ於テ小橋藻三衛君ハ此ノ趣旨辯明ヲ終リタル際參考トシテ證據書類ヲ速記録ニ掲載セムコトヲ要求シタルニ議長(奥繁三郎君)ハ許可セサル旨答辯セリ(速記録三一三頁)

參看 三一二號

第十二節 委員付託

三二四 開院式勅語奉答文案ハ委員ヲ設ケテ起草セシム

開院式勅語ニ對スル奉答文案ハ議長ニ於テ起草シ又ハ委員ヲ設ケテ起草セシメタル等區々ナリシカ第二十回(臨時)議會明治三十七年三月二十日開院式勅語奉答文案ノ會議ニ際シ議長(松田正久君)ハ奉答文案ハ議長ニ於テ起草シタルモ今期議會ハ特ニ(第十九回議會ニ於テハ勅語奉答文案議決ノ翌日解散)委員ヲ設ケテ之ヲ審査セシメ其ノ報告ヲ俟テ議決スルコトトシ度旨ヲ告ケ其ノ起草ニ係ル文案ヲ朗讀シ委員ヲ設ケタルニ異議ナキヤヲ諮ヒタルニ元田肇君ハ贊意ヲ表シ且委員ノ設定ハ今回ニ限ルヤ或ハ將來奉答文案ニ關シテハ委員ヲ設ケタルノ趣旨ナルヤヲ議長ニ質シタルニ議長ハ之ヲ以テ先例ト爲シ鄭重ニ審議スル意向ナル旨ヲ答辯セリ斯テ議長指名九名ノ委員ヲ設ケ委員會ハ議長起草ノ文案ヲ修正シテ報告シ院議委員會ノ修正通之ヲ議決セリ(速記録一頁)而シテ第二十一回議會明治三十七年十一月三十日開院式勅語奉答文案ノ會議ニ於テ議長(松田正久君)ハ奉答文案ハ起草委員ヲ設ケテ之ヲ起草セシムルニ異議ナキヤヲ諮ヒタルニ院議異議ナク之ニ決セリ(速記録一頁)爾來奉答文案ハ委員ヲ設ケテ之ヲ起草セシメ其ノ報告ヲ俟テ會議ニ付スルコトトナレリ尙委員數ハ九名、十名若ハ十八名等區區ナリシカ第三十九回(特別)議會以來十八名ト爲スヲ例トス

參看 二三五號 附錄一

議第二八條

三二五 政府ヨリ委員ノ審査省略ノ要求アルトキハ之ヲ容ルルヲ例トス

政府ヨリ議院法第二十八條但書ニ依リ委員ノ審査省略ノ要求アルトキハ議長ハ其ノ要求ヲ容ルルヤ否ヲ院議ニ諮ヒタルモ第十二回(特別)議會明治三十一年五月二十七日議長(片岡健吉君)ハ自今政府ヨリ議院法第二十八條但書ニ依リ要求アリタルモノハ委員ニ付託セサルコトト爲ス旨ヲ宣告シ(速記録六九頁)爾來此ノ要求アルトキハ議員ヨリ委員付託ノ動議出テサル限リ委員ノ審査ヲ省略スルコトトナレリ即チ追加豫算案ニ在リテハ豫算委員ニ移スコトナク直ニ之ヲ議事日程ニ掲載シ若ハ議事日程ヲ變更シテ會議ニ付シテ之ヲ即決シ法律案ニ在リテハ通例議院法第二十七條但書ニ依ル要求ト併セテ要求セラレ成規ノ日時ヲ短縮シテ議事日程ニ掲載シ若ハ議事日程ヲ變更シテ會議ニ付シ委員ニ付託スルコトナク議決ヲ爲スヲ例トス

第一回議會以來議院法第二十八條但書ニ依リ委員ノ審査省略ノ要求アリタル法律案、追加豫算案等ノ總件數ハ四十三件ニ及ヒ内十四件ハ政府ノ要求ヲ容レスシテ委員ニ付託シ、一件ハ委員付託中ナリシヲ以テ委員ノ審査ニ期限ヲ附シ至急審査ヲ終了シテ會議ニ付シ、其ノ他ノ二十八件ハ執

レモ政府ノ要求ヲ容レ委員ノ審査ヲ省略セリ

第一回議會
(一) 委員ノ審査省略ノ要求ヲ容レタル場合

商法ニ關スル法律施行期限法律案(明治二十三年十二月二十五日貴族院ヨリ送付同日第二)
十七條但書及第二十八條但書要求同日議事日程變更)
海軍省所管軍艦及水雷艇並兵器製造費繰越ニ關スル法律案(明治二十四年二月十四日提出同日第二十七
條但書及第二十八條但書要求第二十一日議事
日程變更)

明治二十四年度歳入歳出總豫算追加案(假議院再築費)(明治二十四年二月二十一日提出二十三日第
二十八條但書要求二十四日議事日程掲載)

第四回議會

銀行條例及貯蓄銀行條例施行延期法律案(明治二十五年十二月二十一日提出同日第二十七條
但書及第二十八條但書要求二十二日議事日程掲載)
取引所稅法案(明治二十六年二月二十日提出同日第二十七條但
書及第二十八條但書要求第二十一日議事日程掲載)

第六回(特別)議會

越中國伏木後志國小樽兩港ニ於テ露領沿海州、薩哈噠島及朝鮮國貿易ニ關スル船舶出入及貨
物積卸許可法律案(明治二十七年五月十五日提出、同時ニ緊急事件ノ要
求十七日議事日程掲載、掲載後第二十八條但書要求)
膽振國室蘭港ヲ特別輸出港ニ追加法律案(明治二十七年五月十五日提出同日第二
十八條但書要求十七日議事日程掲載)

琉球國那霸港ニ於テ清國貿易ニ關スル船舶出入及貨物積卸許可法律案(明治二十七年五月十五日提
出(提出ト同時ニ緊急事件ノ
要求)十七日議事日程掲載、
掲載後第二十八條但書要求)

第七回(臨時)議會

明治二十七年勅令第四百四十四號(承諾ヲ求ムル件)(明治二十七年十月二十日提出二十一日)
第二十八條但書要求同日議事日程變更)

第八回議會

補充兵役國民兵役ニ在ル者及國民軍編入志願者ニ關スル法律案(明治二十八年三月十八日提出同日第
二十八條但書要求十九日議事日程
掲載)

第九回議會

會計検査院法中改正法律案(明治二十九年三月二十四日貴族院ヨリ送付二十五日第二
十七條但書及第二十八條但書要求二十六日議事日程掲載)
會計検査官退官ニ關スル法律案(同上)
臺灣ニ會計検査院支應ヲ設置スルノ法律案(明治二十九年三月二十六日貴族院ヨリ送付同日第二
十七條但書及第二十八條但書要求同日議事日程變更)
(子)明治二十九年歳入歳出總豫算追加案(明治二十九年三月二十五日提出二十六日)
第二十八條但書要求同日議事日程變更)

第十回議會

屯田兵土地給與規則中改正法律案(明治三十年三月二十二日貴族院ヨリ送付二十四日第二
十七條但書及第二十八條但書要求同日議事日程掲載)
明治二十八年法律第二十六號改正法律案(同上)

法典ノ施行延期ニ關スル法律案(明治二十九年十二月二十六日提出同日第二十七條但書及第二十八條但書要求同日議事日程追加)

第二十九回(臨時)議會

明治四十五年年度歳入歳出總豫算追加案(大正元年八月二十三日提出同日第二十八條但書要求二十四日議事日程掲載)

第三十二回(臨時)議會

大正三年度歳入歳出總豫算追加案(大正三年五月五日提出同日第二十條但書要求六日議事日程掲載)

第五十四回議會

(第一號)昭和二年度歳入歳出總豫算追加案(昭和二年十二月二十六日提出同日第二十八條但書要求二十七日議事日程追加)

第五十五回(特別)議會

大嘗祭齋田ノ土地免租ニ關スル法律案(昭和三年四月二十三日提出二十四日第二十七條但書及第二十八條但書要求二十五日議事日程掲載)

第六十一回(臨時)議會

(第一號)昭和六年度歳入歳出總豫算追加案(昭和七年三月二十日提出同日第二十八條但書要求二十二日議事日程掲載)

(第二號)昭和六年度歳入歳出總豫算追加案(同上)

(第一號)昭和七年度歳入歳出總豫算追加案(同上)

(特第一號)昭和七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(同上)

第六十二回(臨時)議會

造幣局資金拂出ニ關スル法律案(昭和七年六月十日提出同日第二十七條但書及第二十八條但書要求同日議事日程變更)

第六十四回議會

昭和八年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案(昭和八年三月二十二日提出同日第二十七條但書及第二十八條但書要求二十四日議事日程掲載)

第六十五回議會

函館市ノ火災被害者ニ對スル租稅ノ免除猶豫等ニ關スル法律案(昭和九年三月二十三日提出同日第二十七條但書及第二十八條但書要求同日議事日程變更)

(二) 委員ノ審査省略ノ要求ヲ容レスシテ委員ニ付託セル場合

第四回議會 明治二十六年二月十六日鐵道敷設法中改正法律案第一讀會ニ於テ鈴木萬次郎君ハ「此議院法ノ二十八條ノ但書ニ據リマシテ政府ノ得テ居ル所ノ權利ニ依ッテ即決ヲ求メラレタノデアリマスケレドモ之ニ同意スルトシナイトハ本院ノ權利デアリマスカラ本員ハ茲ニ二十八名ノ委員ヲ選舉致シマシテ之ニ熟考審査セシメンコトヲ望ム」トノ動議(速記録八一四頁)ヲ提出シタルニ議長(星亨君)ハ「今ノ貴方ノ議院法ノ但書ト云フモノハ……理由ハ衆議院ニ於テドチラニデモ決スルコトガ出來ルト云フノデ致スノデスカ或ハ緊急ト認メナイカラト云フ方デ

アルカ又ハ但書ニ於テハ政府ノ要求ガアツタ所ガ議院ハ勝手ニ極メル權ガ有ルト云フノデア
ルカドツチデスカ」ト問ヒ鈴木君ハ「要求ハ政府ノ權利ニ依テ要求セラレルケルドモ之ヲ決ス
ルノ委員ヲ置ク置カナイトハ衆議院ノ權利デアリマスカラ本員ハサウ考ヘテ居リマス必ズ政
府カラ此要求ガアツタカラ斯ウセネバナラヌト云フコトデハナイ」ト答ヘ院議此ノ動議ヲ可決
(速記録八一五頁)セリ又同日鐵道比較線路決定ニ關スル法律案第一讀會ニ於テ神鞭知常君ハ本案
モ同性質ノモノナルニ依リ前ノ委員ニ付託セラルルコトヲ希望ヌトノ動議ヲ提出シ院議之ヲ
可決セリ(速記録八一六頁)

第六回(特別)議會

(甲)(乙)(丙)(丁)(戊)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(明治二十七年五月十五日提出同日第二)
(十八條但書要求十七日議事日程掲載)

(己)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(明治二十七年五月十六日提出同日第二)
(十八條但書要求十八日議事日程掲載)

(甲)(乙)(丙)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(明治二十七年五月十五
日提出同日第二十八條
但書要求十七日
議事日程掲載)

鐵道敷設法中改正法律案(明治二十七年五月十六日提出同日第二)
(十八條但書要求十八日議事日程掲載)

實業教育費國庫補助法案(明治二十七年五月十五日提出同日第二)
(十八條但書要求十七日議事日程掲載)

第九回議會

臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案(明治二十九年三月二十五日提出同日第二十七條但
書及第二十八條但書要求二十六日議事日程掲載)

參看 二〇八號、二〇九號、三一六號、三一七號、三二八號、四三四號

議第二八條

三一六 委員付託中ノ議案ニ對シ政府ヨリ委員ノ審査省略ノ要求アリタルト
キ議院ハ其ノ議案ノ審査ニ期限ヲ附ス

第二十三回議會明治四十年三月二十一日委員審査中ノ公共團體課税ノ制限ニ關スル法律案(同月
十八日付託)ニ對シ政府ヨリ議院法第二十八條但書ノ要求アリタルトキ長谷場純孝君ハ「本案ハ既
ニ特別委員會ニ付託セラレタルモノナルニ依リ本日委員會ヲ開キ速ニ審査ヲ爲シ明後日ノ本會議
ニ付スヘシ」トノ動議ヲ提出シ委員長荒川五郎君其ノ期限ニ關シ異議ヲ唱ヘタルニ長谷場君ハ規
則ニ依リ政府ノ要求ヲ容レテ即決スルモ差支ナケレトモ折角委員ニ付託セルモノナルヲ以テ今日
委員會ヲ開キ審査ヲ了シ明後日ノ議事日程ニ上程スルヲ穩當ナリト述ヘ議長(杉田定一君)ハ長谷
場君提出ノ動議ヲ院議ニ諮ヒ院議異議ナク之ヲ可決セリ(速記録三〇七頁)

參看 二一一號、三二〇號、三二六號

三一七 政府ヨリ單ニ緊急事件トシテ議決ヲ要求シタル議案ト雖概ネ委員ニ付託ス

第一回議會以來政府ヨリ議院法第二十七條但書又ハ第二十八條但書ニ依ラス單ニ緊急事件トシテ議決セムコトノ要求アリタル議案ハ五十七件ニ及ヒ内十八件ハ委員ノ審査中要求アリタルモノナルニ依リ之ヲ除キ他ノ三十九件中左ノ三件ハ委員ノ審査ヲ省略シテ可決シ其ノ他ハ孰レモ委員ニ付託シ其ノ審査ヲ終リタル後會議ニ付セリ

第十回議會 (別號) 明治二十九年年度歲入歲出總豫算追加案

第十二回(特別)議會 生絲直輸出獎勵法廢止法律案

第五十二回議會 (第一號) 大正十五年 昭和元年 年度歲入歲出總豫算追加案

參看 二〇八號、二〇九號

三一八 議案ヲ委員ニ付託スルハ其ノ趣旨辯明ノ後ナルヲ例トス

豫算案、決算、建議案及貴族院提出ノ議案ヲ除キ其ノ他ノ議案ニ付テハ提出者ヨリ先ツ其ノ趣旨ヲ辯明シ然ル後委員ニ付託スルヲ例トス然レトモ會期切迫等ノ事由ニ依リ院議ヲ以テ趣旨辯明ヲ省

衆議院
第九三條
第九四條

略シ直ニ委員ニ付託シタルコトアリ

參看 二六六號、二七一號

三一九 委員付託ノ動議ハ討論終局前ニ之ヲ提出スルヲ要ス

政府又ハ貴族院提出議案ハ委員ニ付託セサルヘカラサルモ議員提出議案(建議案ハ常任委員ニ付託スルヲ以テ除ク)ハ動議ヲ俟テ之ヲ委員ニ付託ス而シテ委員付託ノ動議ハ議長ノ討論終局宣告前若ハ討論終局ノ動議採決前之ヲ提出セサルヘカラス蓋シ討論終局スルトキハ其ノ案ニ付採決ヲ爲スノ外ナキヲ以テナリ

尙委員付託ノ動議ト討論終局ノ動議ト同時ニ提出セラレタルトキハ先決問題トシテ委員付託ノ動議ヲ先ニ採決ス又討論終局ノ動議成立シ議長之ヲ採決スル旨ヲ宣告シタル後委員付託ノ動議出ツルモ討論終局ノ動議ヲ採決ス

第三回(特別)議會 明治二十五年五月二十四日佐々木正藏君提出衆議院規則追加ノ件ノ會議中討論終局ノ動議採決後委員付託ノ動議出テ之ニ賛成者アリ議論ヲ生シタルカ院議討論終局後ハ委員付託ノ動議ヲ提出スルコトヲ得スト決セリ(速記録一九一頁)

第二編 會議 第二章 議事通則 第十二節 委員付託 (三一七—三一九)

衆議院
第九四條
第九三條

第五十回議會 大正十四年二月五日鳩山一郎君ハ議事進行ノ發言ヲ求メ一昨三日市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案外一件ノ會議ニ於テ作間耕逸君ヨリ討論終局ノ動議提出セラレ續テ松田源治君外二名ヨリ委員付託ノ動議ヲ提出セリ而シテ委員付託ノ動議出ツレハ討論終局ノ動議提出後ト雖其ノ採決前ナルニ於テハ先決問題トシテ委員付託ノ動議ヲ議場ニ諮ハサルヘカラスト述ヘタルニ之ニ對シ議長(粕谷義三君)ハ固ヨリ委員付託ノ動議ト討論終局ノ動議トハ委員付託ノ動議ヲ以テ先決問題ト爲スヲ以テ若シ兩者同時ニ出ツレハ議長ハ先ツ委員付託ノ動議ヲ採決スヘカリシモ當日ハ討論終局ノ動議ニ付採決ヲ爲スノ宣告後委員付託ノ動議出テタルモノナルヲ以テ討論終局ノ動議ヲ採決セル旨ヲ答辯セリ(速記録一六二頁)

參看 三七九號

三三〇 委員付託ノ動議提出セラルルトキハ先決問題トシテ直ニ議題ト爲ス委員付託ノ動議提出セラルルトキハ先決問題トシテ直ニ之ヲ議題ト爲シ又ハ動議成立後通告者ニ發言ヲ許シ若ハ修正案ノ趣旨辯明ヲ爲サシムル等其ノ例區々ナリシモ第八回議會以來通告者ノ發言前ナルト討論ニ入りタルトヲ問ハス先決問題トシテ直ニ之ヲ議題ト爲スヲ例トス

第八回議會 明治二十八年一月十四日木村誓太郎君外一名提出地租條例第二十條改正法律案第一讀會ニ於テ提出者ノ趣旨辯明ニ次テ委員付託ノ動議出テタルモ議長(楠本正隆君)ハ通告者ニ發言ヲ許サストシタルニ先決問題ト呼フ者アリシヲ以テ議長ハ委員付託ノ動議出テタル以上ハ已ムコトヲ得ス委員說ニ付採決スルノ他ナキ旨ヲ告ケ委員付託ノ動議ヲ採決セリ(速記録八三頁)

第四十四回議會 大正十年二月二十六日井上角五郎君外十三名提出市町村教育費ノ整理ニ關スル建議案ノ會議ニ於テ質疑ヲ終リ尙討論ノ通告アリタルモ岩崎勳君ヨリ委員付託ノ動議出テタル爲議長(奥繁三郎君)ハ委員付託ノ動議ハ先決問題ナル旨ヲ告ケ該動議ヲ直ニ採決セリ(速記録四七一頁)

參看 三七九號乃至三八二號

三三二 委員付託ノ動議ノ趣旨辯明ハ之ヲ爲ササルヲ例トス委員付託ノ動議ハ其ノ趣旨辯明ヲ爲スコトナク單ニ何名ノ委員ニ付託スヘシト述フルヲ例トス然ルニ左ノ場合ニ於テハ趣旨辯明ヲ爲シ討論ノ後該動議ニ付採決ヲ爲セリ

第四十五回議會 大正十一年二月二十七日安達謙藏君外十名提出衆議院議員選舉法中改正法律案第一讀會ニ於テ濱田國松君ハ委員付託ノ動議ヲ提出シ其ノ趣旨辯明ヲ爲シ次テ野村嘉六君ノ賛成討論アリタル後該動議ヲ採決セリ(速記録三九八乃至四〇一頁)

第四十九回(特別)議會 大正十三年七月十八日箕浦勝人君外三十四名提出貴族院制度改正ニ關スル建議案ノ會議中松田源治君ハ委員付託ノ動議ヲ提出シ其ノ趣旨辯明ヲ爲シ次テ賛否ノ討論ヲ爲シタル後該動議ヲ採決セリ(速記録三〇一、三〇二頁)

案第六六條
案第六七條

三三二 委員ニ付託シタル議案ノ議決前ハ之ト同種又ハ關聯セル議案ヲ其ノ委員ニ併セ付託スルコトヲ得

委員ニ付託シタル議案ハ審査ノ經過及結果ニ付委員長議場ニ於テ報告ヲ爲スモ其ノ議案ノ議決セラルル迄ハ委員ノ任務ハ尙存續スルモノナルカ故ニ其ノ議案ト同種又ハ關聯セル議案ハ其ノ委員ニ併セ付託スルコトヲ得ルモノトス

參看 二二四號、三三七號

三三三 各別ノ委員ニ付託セラレタル議案關聯セル爲其ノ委員ヲ併合ス

各別ノ委員ニ付託セラレタル議案關聯セルニ依リ審査ノ便宜上兩委員ヲ併合シタルコトアリ

第二十一回議會 明治三十八年一月二十四日花井卓藏君外一名提出外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造ニ關スル法律案、鳩山和夫君外一名提出外國ニ於テノ流通スル硬貨紙幣銀行券及帝國官府發行ノ證券偽造變造及模造ニ關スル法律案及花井卓藏君外四名提出俘虜刑罰法案、元田肇君外一名提出俘虜處罰ニ關スル法律案ハ二案宛各別ノ委員ニ付託シタルモ翌々二十六日ノ會議ニ於テ議事日程ニ入ルニ先チ恆松隆慶君ハ「過日此俘虜トソレカラ貨幣云々ノ事ニ付イテ各案毎ニ委員ヲ設ケテゴザイマシタガ此問題ハヤハリ關聯致シテ居リマスカラ合併シテ調査セシメタイト云フ意見デアリマス而シテ此中デ鳩山君ハ兩方ニ關係シテ居リマスカラ其一人ダケハ更ニ補闕ニナリマシテ合併ニナランコトヲ望ミマス」トノ動議ヲ提出シ議長(松田正久君)ハ之ヲ院議ニ諮ヒ兩委員ヲ併合シ且其ノ補闕委員ヲ指名スル旨ヲ宣告シ同日森田卓爾君ヲ指名セリ(速記録一三六、一四五頁)

三二四 特別委員ノ員數ハ後ニ之ヲ増加スルコトヲ得

議案ノ審査ヲ特別委員ニ付託シタル後其ノ委員ノ數ヲ増加スルコトハ第八回議會(明治二十八年一月十八日速記録一六二頁)、第十二回(特別)議會(明治三十一年六月四日速記録二二八頁)ニ於テハ議院ノ容ルル所トナラサリシモ第二十一回議會明治三十七年十二月三日院議ヲ以テ政府提出相續税法案ノ委員十八名ヲ二十七名ニ増加シ(速記録二六、二七頁)タル以來之ヲ認ムルコトトナレリ而シテ増加員數ハ九ノ倍數ニ依ル

參看 一四四號

三二五 委員會ノ審査ニ期限ヲ附スルハ付託ノ際ナルヲ要セス

議院ハ期限ヲ定メ委員會ヲシテ議案審査ノ報告ヲ爲サシムルコトヲ得ルハ衆議院規則ノ規定スル所ナリ而シテ其ノ期限ヲ附スルノ時期ハ委員付託ノ際ナルヲ例トスルモ委員會ノ審査遲滯セルトキ若ハ急ヲ要スル場合付託後ニ於テ之ヲ附シタルコトアリ
又審査ノ期限ヲ附シタル後其ノ期限ヲ猶豫シタルコトアリ即チ第九回議會明治二十九年二月二十八日政府提出移民保護法案ノ委員付託ニ際シ一週間ノ期限ヲ附シタリシモ(速記録三九八頁)三月六日

委員長ヨリ審査上種々困難ヲ生シタルノ故ヲ以テ審査期限猶豫ノ要求アリ院議之ヲ許可スルニ決シ(速記録四五〇頁)同月十一日ヲ以テ報告書ヲ議長ニ提出セリ

參看 三一六號、五七四號

三二六 議員提出法律案ハ概ネ委員ニ付託ス

政府又ハ貴族院提出法律案ハ委員ニ付託シテ審査セシムルヲ原則トシ議員提出法律案ハ別段ノ規定ナキヲ以テ委員ニ付託シテ審査セシムルヲ要セサルモノナルモ概ネ委員ニ付託スルヲ例トス

參看 三三三號

三二七 請願委員長提出ノ法律案ハ委員ニ付託セサルヲ例トス

請願委員長提出ノ法律案ハ委員ニ付託スルコトナクシテ議決スルヲ例トス即チ第二十三回議會以來請願委員長ヨリ提出セラレタル法律案ハ二十七件ニ及ヒ第二十三回、第三十一回議會ニ於ケル各一件及第三十七回議會ニ於ケル四件ヲ除外委員ニ付託セスシテ之ヲ議決セリ

三二八 豫算案ハ會議ニ付スルノ前之ヲ委員ニ付託ス

追加豫算案ニシテ政府ノ要求アルトキハ委員ノ審査ヲ省略スルコトヲ得

豫算案ハ本豫算案タルト追加豫算案タルトヲ問ハス其ノ提出アリタルトキハ直ニ豫算委員ニ付託セラレ其ノ審査ヲ終リタル後會議ニ付ス然レトモ追加豫算案ニシテ政府ヨリ議院法第二十八條但書ニ依ル要求アルトキハ議院ハ其ノ要求ヲ容レ委員ノ審査ヲ省略シテ直ニ之ヲ會議ニ付スルヲ例トス又追加豫算案ニ對シ政府ヨリ單ニ緊急事件トシテ議決セムコトノ要求ヲ爲セルコトアリ此ノ場合ニ於テハ必スシモ委員ノ審査ヲ省略セス即チ第二回議會以來單ニ緊急事件トシテ議決セムコトノ要求アリタル追加豫算案ハ二十一件ニ及ヒ内十件ハ委員ノ審査中ノ要求ニ係ルヲ以テ之ヲ除キ他ノ十一件中二件ハ委員ノ審査ヲ省略シ他ノ九件ハ孰レモ委員ノ審査ヲ終リタル後會議ニ付セリ

(一) 議院法第二十八條但書ノ要求アリタル場合

第一回議會

明治二十四年度歳入歳出總豫算追加案(明治二十四年二月二十三日要求翌日議決)

第九回議會

(子)明治二十九年度歳入歳出總豫算追加案(明治二十九年三月二十六日要求同日議決)

第二十九回(臨時)議會

明治四十五年 年度歳入歳出總豫算追加案(大正元年八月二十三日要求翌日議決)

第三十二回(臨時)議會

大正三年度歳入歳出總豫算追加案(大正三年五月五日要求翌日議決)

第五十四回議會

(第一號)昭和二年度歳入歳出總豫算追加案(昭和二年十二月二十日要求翌日議決)

第六十一回(臨時)議會

(第一號)昭和六年度歳入歳出總豫算追加案(昭和七年三月二十日要求二十二日議決)

(第二號)昭和六年度歳入歳出總豫算追加案(同上)

(第一號)昭和七年度歳入歳出總豫算追加案(同上)

(特第一號)昭和七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(同上)

第二編 會議 第二章 議事通則 第十二節 委員付託 (三二八)

(二) 單ニ緊急事件トシテノ要求アリ委員ノ審査ヲ省略シタル場合
第十回議會

(別號)明治二十九年度歳入歳出總豫算追加案(明治二十九年十二月二十六日提出同日要求同日議事日程變更)
第五十二回議會

(第一號)大正十五年度歳入歳出總豫算追加案(昭和元年十二月二十七日提出同日要求二十九日議事日程掲載)

(三) 單ニ緊急事件トシテノ要求アリ委員ノ審査ヲ省略セサリシ場合
第二回議會

明治二十四年度歳入歳出總豫算追加案(明治二十四年十一月二日提出同日要求)

明治二十四年度歳入歳出總豫算追加案(明治二十四年十二月九日提出同日要求)

明治二十四年度歳入歳出總豫算追加案(同上)

第四回議會

明治二十五年度歳入歳出總豫算追加案(明治二十五年十二月六日提出翌日要求)

第五回議會

明治二十六年度歳入歳出總豫算追加案(明治二十六年十二月一日提出同日要求)

第十回議會

(別號)明治二十九年度歳入歳出總豫算追加案(明治三十年一月二十三日提出同日要求)

第十二回(特別)議會

(第二號)明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案(明治三十一年五月三十日提出翌日要求)

第三十四回(臨時)議會

大正三年度歳入歳出總豫算追加案(大正三年九月四日提出同日要求)

臨時軍事費豫算案(同上)

參看 二〇九號、三一五號、三一七號、四四八號

三二九 決算ハ會議ニ付スルノ前之ヲ委員ニ付託ス

決算ハ第六回(特別)議會ニ於テ初テ提出セラレ之カ審査ノ爲院議ヲ以テ特ニ二十七人ノ常任委員ヲ設ケテ之ニ付託シ第七回(臨時)議會ハ委員ヲ設ケス第八回議會ニ至リ衆議院規則ヲ改正シテ常任委員ニ決算委員ヲ加ヘタル結果其ノ提出アリタルトキハ直ニ決算委員ニ付託セラレ其ノ審査ヲ終リタル後會議ニ付スルコトナレリ

三三〇 審査又ハ議決未了ノ決算ハ後ノ議會ニ於テ之ヲ審議ス

決算ノ審議ニ關シテハ第十三回(特別)議會明治三十二年三月八日ノ會議ニ於テ安川繁成君外二名提出決算審査ニ關スル決議案(本院ニ於テ解散其ノ他ノ事故ニ依リ歳入歳出決算ノ審査ヲ終了スル能ハサリシトキハ其ノ年度ノ如何ニ拘ラス其ノ未了ニ係ル決算ヲ審査スヘキモノトス)ヲ可決(速記録七四九頁)セル結果第十四回議會ニ於テ提出セラレタル明治三十年年度決算ト共ニ第十二回(特別)議會ニ於テ審査未了トナレル決算三件ヲ審査シ爾來委員會ノ審査未了ニ終レル決算ハ後ノ議會ニ於テ(議員改選後ト雖)再ヒ審査議決ス

尙第三十一回議會ニ提出セラレタル明治四十四年度決算ハ委員會ノ審査ヲ終リ報告書ノ提出アリタルモ停會ノ爲議決ヲ爲スニ至ラス次ノ常會タル第三十五回議會大正三年十二月十五日議長(奥繁三郎君)ハ第三十一回議會ニ於テ議決未了トナレル決算ハ先例ニ依リ決算委員ノ審査ヲ望ム旨ヲ宣告(速記録七四頁)セルモ解散ノ爲審査ニ入ルヲ得ス第三十六回(特別)議會ニ於テ之ヲ審査報告シ大正四年五月三十一日ノ會議ニ於テ委員會ノ報告ヲ是認スルニ決シ(速記録一一頁)爾來議決未了

ニ終レル決算モ亦後ノ議會ニ於テ審査議決ス
審議未了ノ決算ニ付テハ政府ハ更メテ其ノ提出ノ手續ヲ執ルコトナク委員會ハ前ノ議會ニ提出セラレタルモノニ付審査ヲ爲ス

(一) 審査未了ノ場合

- 第六回(特別)議會ニ於テ審査未了ノ明治二十四年度歳入歳出總決算、明治二十四年度各特別會計歳入歳出決算ヲ第十五回議會ニ於テ審査シ是認セリ
- 第十二回(特別)議會ニ於テ審査未了ノ明治二十八年年度歳入歳出總決算、明治二十八年年度各特別會計歳入歳出決算及臨時軍事費特別會計歳入歳出決算ヲ第十四回議會ニ於テ審査シ是認セリ
- 第十七回(解散)議會ニ於テ審査未了ノ明治三十三年度歳入歳出總決算、明治三十三年度各特別會計歳入歳出決算ヲ第十八回(特別)議會ニ於テ審査シ是認セリ
- 第三十五回(解散)議會ニ於テ審査未了ノ明治四十五年年度歳入歳出總決算、明治四十五年年度各特別會計歳入歳出決算ヲ第三十六回(特別)議會ニ於テ審査シ是認セリ
- 第四十二回(解散)議會ニ於テ審査未了ノ大正六年度歳入歳出總決算、大正六年度各特別會計歳入歳出決算ヲ第四十三回(特別)議會ニ於テ審査シ是認セリ

第五十五回(特別)議會ニ於テ審査未了ノ大正十五年度歳入歳出總決算、昭和元年度各特別會計歳

入歳出決算ヲ第五十六回議會ニ於テ審査シ是認セリ

第五十八回(特別)議會ニ於テ審査未了ノ昭和三年度歳入歳出總決算、昭和三年度各特別會計歳

入歳出決算ヲ第六十二回(臨時)議會ニ於テ審査シ是認セリ

第五十九回議會ニ於テ審査未了ノ昭和四年度歳入歳出總決算、昭和四年度各特別會計歳入歳出

決算ヲ第六十二回(臨時)議會ニ於テ審査シ是認セリ

(二) 議決未了ノ場合

第三十一回議會ニ於テ議決未了ノ明治四十四年度歳入歳出總決算、明治四十四年度各特別會計

歳入歳出決算ヲ第三十六回(特別)議會ニ於テ審査シ是認セリ

第三十九回(特別)議會ニ於テ議決未了ノ大正三年度歳入歳出總決算、大正三年度各特別會計歳

入歳出決算ヲ第四十回議會ニ於テ審査シ是認セリ

參看 一七三號、四六七號

三三一 豫備金支出又ハ豫備金外支出ニ關スル件ハ特別委員ニ付託ス

第二回議會ニ於テ提出セラレタル岐阜愛知二縣下震災救済及河川堤防工事費豫算外支出ノ件ハ十八名ノ特別委員ニ付託(速記録一〇頁)シテ審査セシメ第三回(特別)議會ニ於ケル明治二十四年度豫算外支出ノ件外一件及第四回議會ニ於ケル明治二十四年度豫備金支出ノ件外三件モ亦先例ニ依リ特別委員ニ其ノ審査ヲ付託セルニ第四回議會(明治二十六年二月二十一日)ニ於テ委員長石田貫之助君ハ左ノ如キ報告書ヲ議長ニ提出セリ

本委員會ニ於テ明治二十四年度豫備金支出ノ件外三件審査ヲ爲スニ先チ本件ハ特別委員ニ付スヘキモノナルヤ否ヤニ付審査ヲ遂ケタル後本件ハ豫算委員會ニ付スヘキモノト決議致候間本件ヲ返付シ此段及御報告候也

依テ同月二十二日右報告ヲ院議ニ付シタルニ橋本久太郎君ハ「二十四年度豫備金支出外三件ハ特別委員ニ於テ審査スヘキモノトス」トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決セリ(速記録九五九乃至九六一頁)

爾來豫備金支出又ハ豫備金外支出ニ關スル件ハ特別委員ニ付託スルヲ例トス